

Ⅲ 就学前児童調査結果

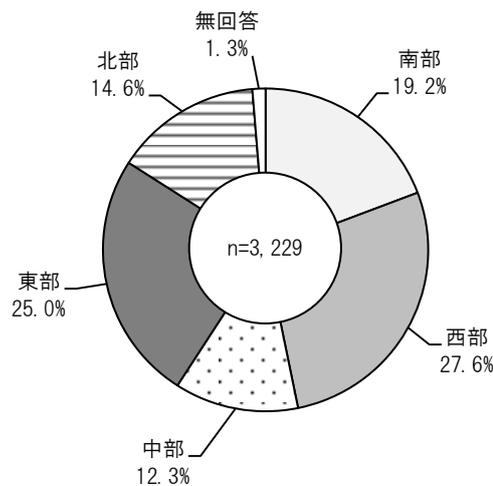
1. 回答者、家族の状況などについて

問1 お住まいの地区（町丁目）をお答えください。

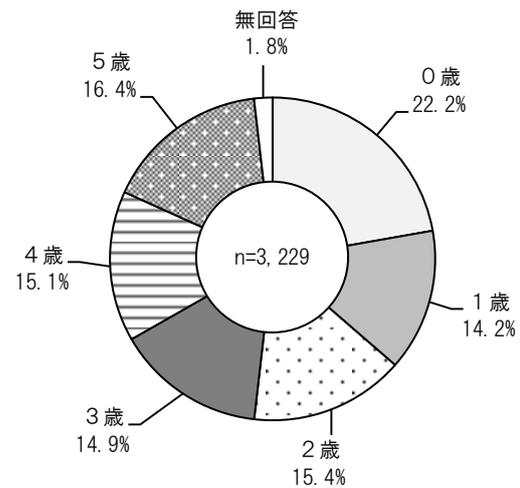
問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。

- ・居住地区は、「西部」が27.6%ともっとも高く、次いで「東部」が25.0%となっている。
- ・子どもの年齢は、「0歳」が22.2%ともっとも高く、次いで「5歳」が16.4%となっている。

図表 3-1 居住地区



図表 3-2 子どもの年齢

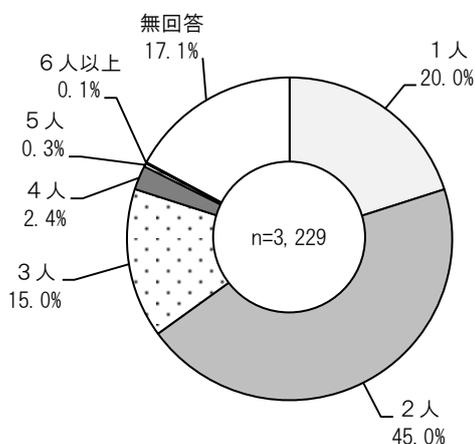


問3 お子さんの数をお答えください。なお、お子さんが2人以上いる場合は、あて名のお子さんを含め、末子の生年月を記入してください。

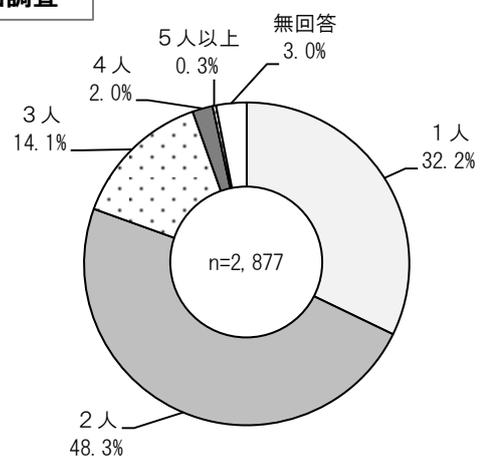
- ・子どもの数は、「2人」が45.0%ともっとも高く、次いで「1人」が20.0%となっている。

図表 3-3.1 子どもの数<経年比較>

今回調査



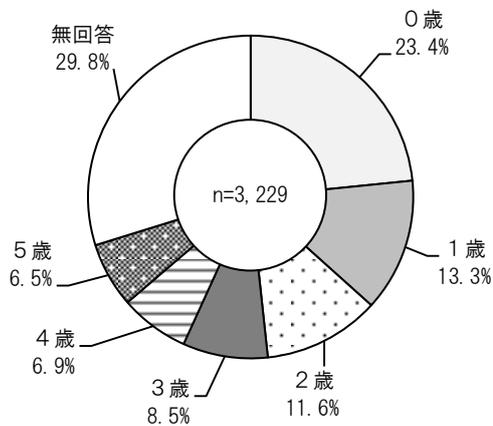
前回調査



Ⅲ 就学前児童調査結果

・末子の年齢は、「0歳」が23.4%ともっとも高く、次いで「1歳」が13.3%となっている。

図表 3-3.2 末子の年齢

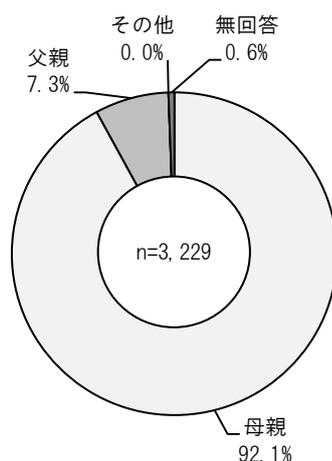


問4 このアンケートにご回答いただく方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。(1つに○)

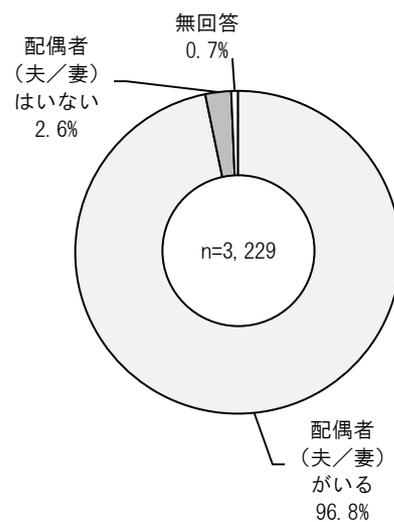
問5 このアンケートにご回答いただく方の配偶関係をお答えください。(1つに○)

・回答者は、「母親」が92.1%となっている。
 ・回答者の配偶関係は、「配偶者(夫/妻)がいる」が96.8%となっている。

図表 3-4 回答者の続柄



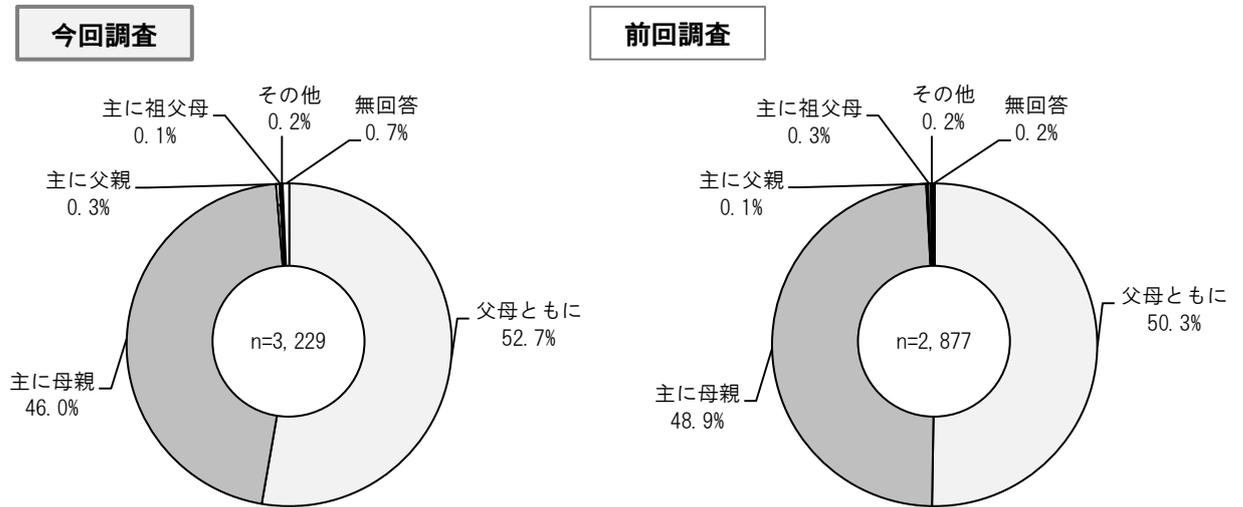
図表 3-5 回答者の配偶関係



問6 あて名のお子さんからみて、子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。
(1つに○)

・主な保育・教育者は、「父母ともに」が52.7%、「主に母親」が46.0%となっている。

図表 3-6 主な保育・教育者<経年比較>

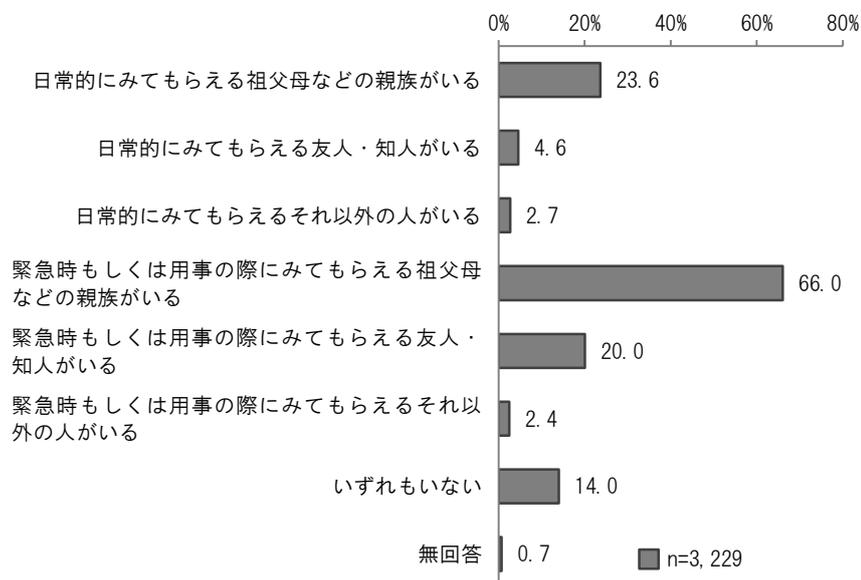


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人などはいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- ・日常的に子どもをみてもらえる状況は、「日常的にみてもらえる祖父母などの親族がいる」が23.6%となっている。
- ・緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる状況は、「緊急時もしくは用事の際にみてもらえる祖父母などの親族がいる」が66.0%、「緊急時もしくは用事の際にみてもらえる友人・知人がいる」が20.0%となっている。
- ・一方、「いずれもない」が14.0%となっている。

図表 3-7 子どもをみてもらえる状況（複数回答）

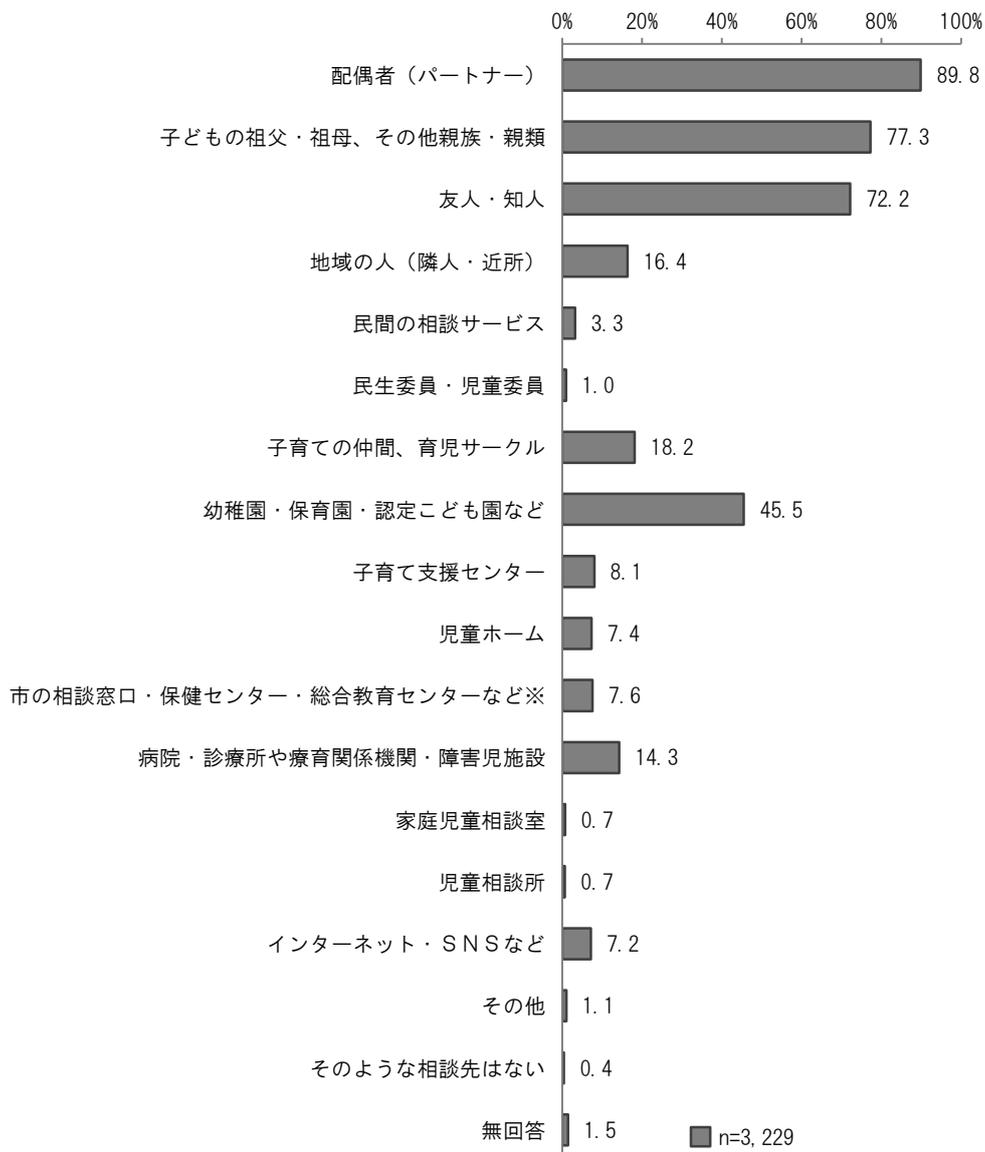


問8 あて名のお子さんの子育てや教育に関して、①気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。また、②情報は何かから得ていますか。
 (①・②それぞれあてはまる番号すべてに○)

①相談先

・子育てや教育に関する相談先は、「配偶者(パートナー)」が89.8%と最も高く、次いで「子どもの祖父・祖母、その他親族・親類」が77.3%、「友人・知人」が72.2%となっている。

図表 3-8.1 子どもの子育てや教育に関する相談先(複数回答)

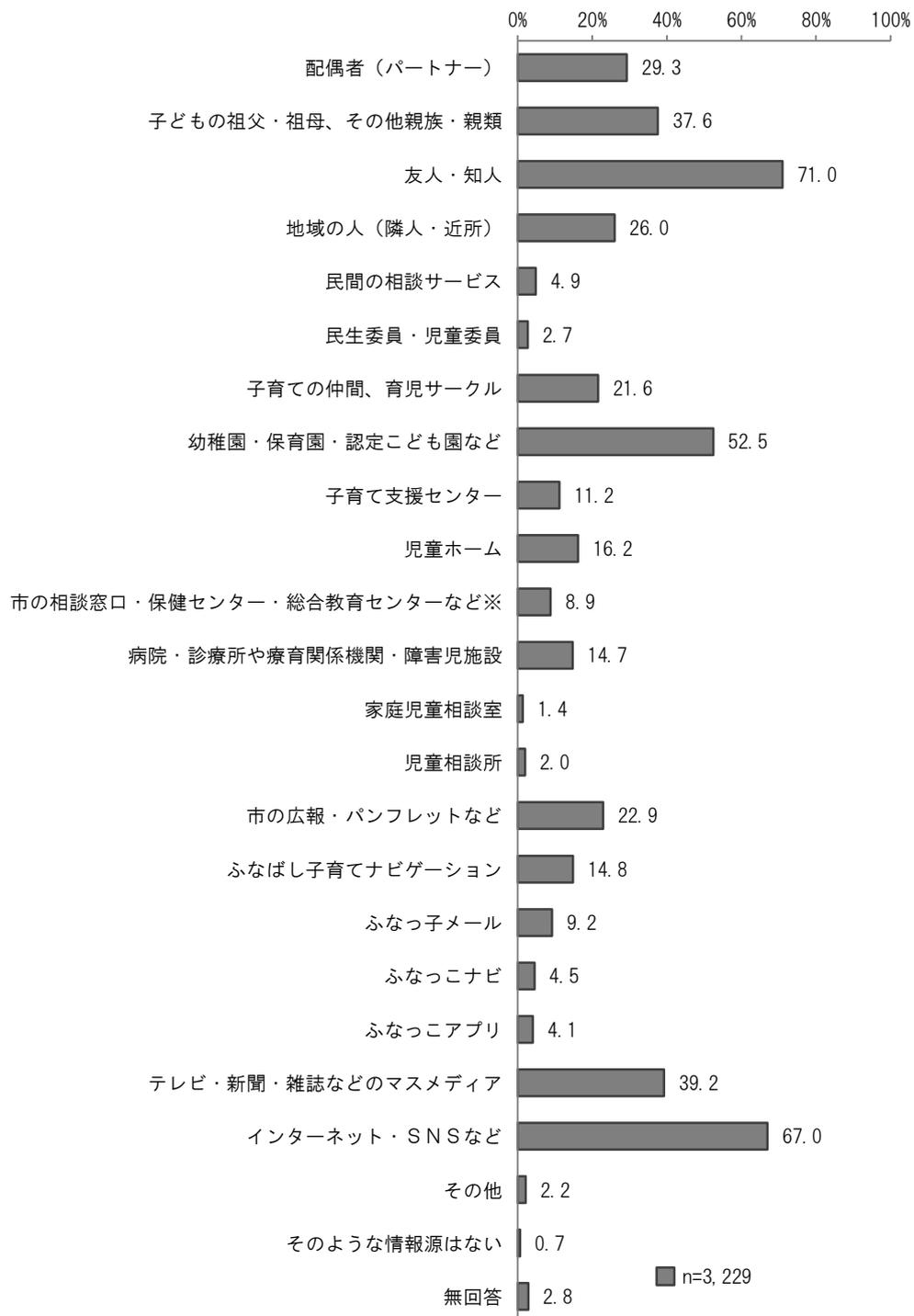


※市の相談窓口・保健センター・総合教育センター・青少年センター・男女共同参画センター・こども発達相談センターなど

②情報源

・子育てや教育に関する情報源は、「友人・知人」が71.0%ともっとも高く、次いで「インターネット・SNSなど」が67.0%、「幼稚園・保育園・認定こども園など」が52.5%となっている。

図表 3-8.2 子どもの子育てや教育に関する情報源（複数回答）

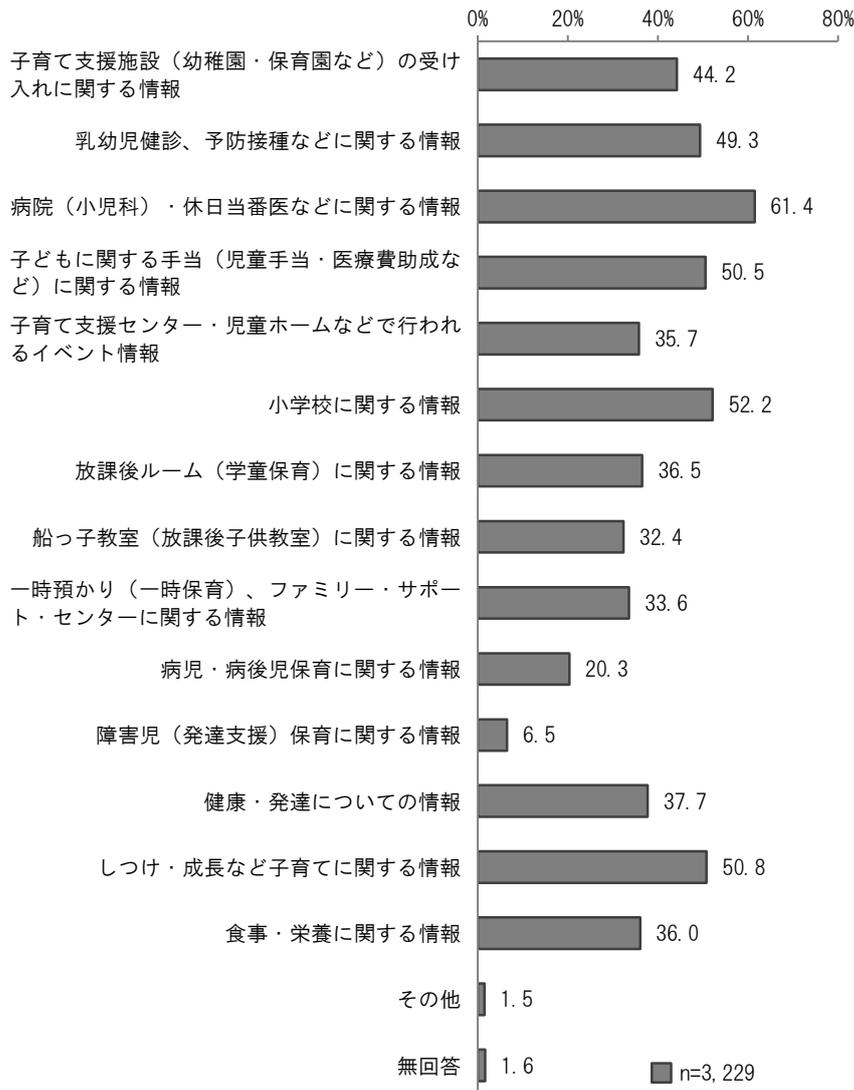


※市の相談窓口・保健センター・総合教育センター・青少年センター・男女共同参画センター・こども発達相談センターなど

問8-1 あなたは、どのような子育て情報を知りたいと考えていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

・知りたい子育て情報は、「病院（小児科）・休日当番医などに関する情報」が61.4%ともっとも高く、次いで「小学校に関する情報」が52.2%、「しつけ・成長など子育てに関する情報」が50.8%となっている。

図表 3-8-1 知りたい子育て情報（複数回答）



3. 保護者（父母）の就労状況について

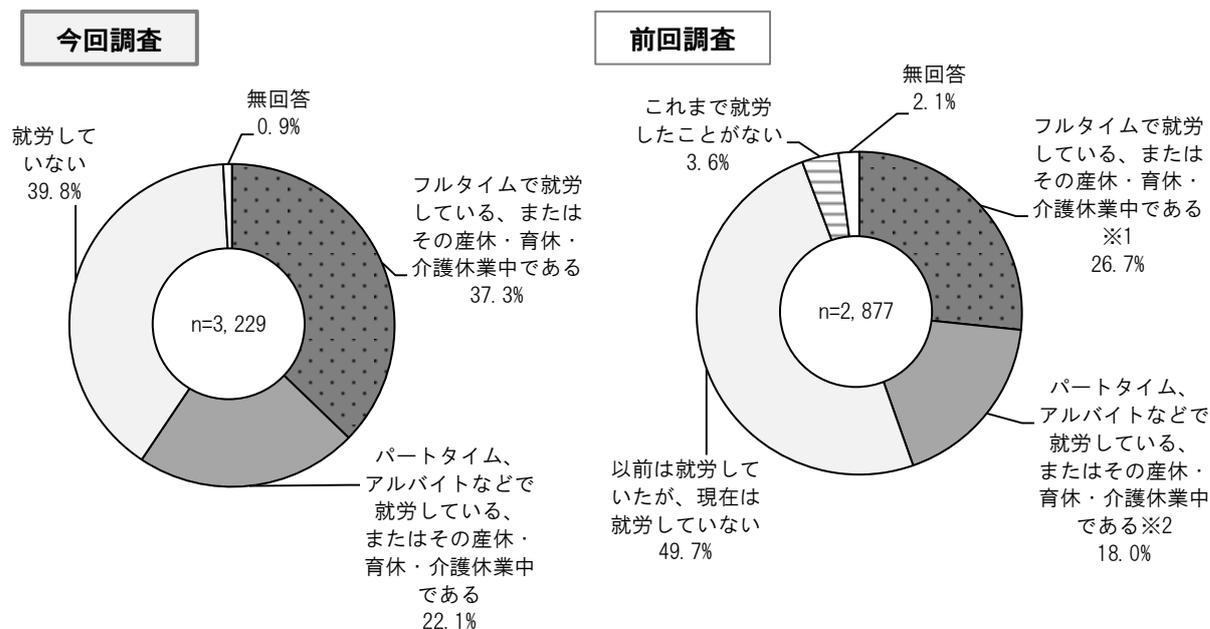
問 10 あて名のお子さんの保護者（父母）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（（1）・（2）それぞれ1つに○）

（1）お母さん

- ・母親の就労状況は、「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」が37.3%となっており、「パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」を含めた就労割合は59.4%となっている。
- ・前回調査では、フルタイムとパートタイム等を合わせた就労割合は44.7%となっており、10ポイント以上増加している。

※以下、コメント中の「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」は「フルタイム」と表記、「パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」は「パート等」と表記、「就労していない」は「無業」と表記している。

図表 3-10.1 【母親】 就労状況＜経年比較＞

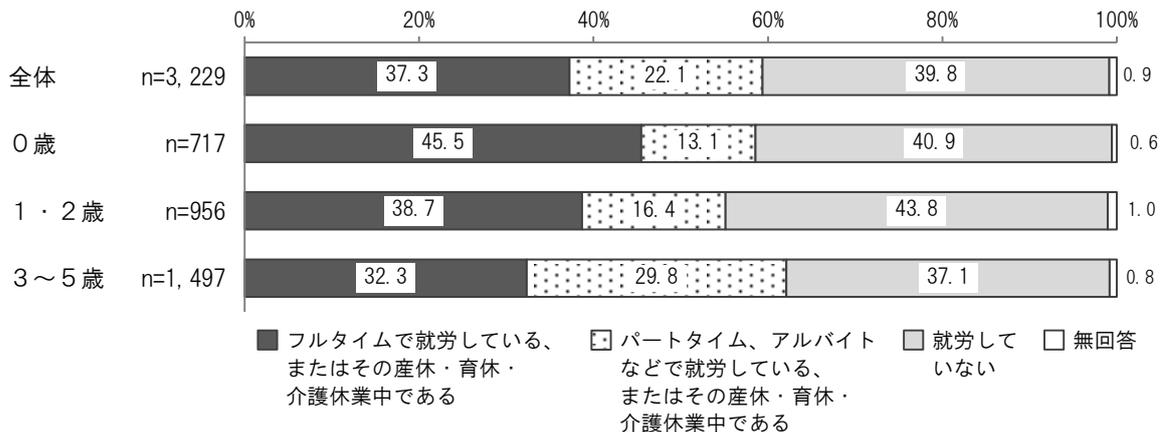


※1：前回調査の選択肢「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」の合計

※2：前回調査の選択肢「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」の合計

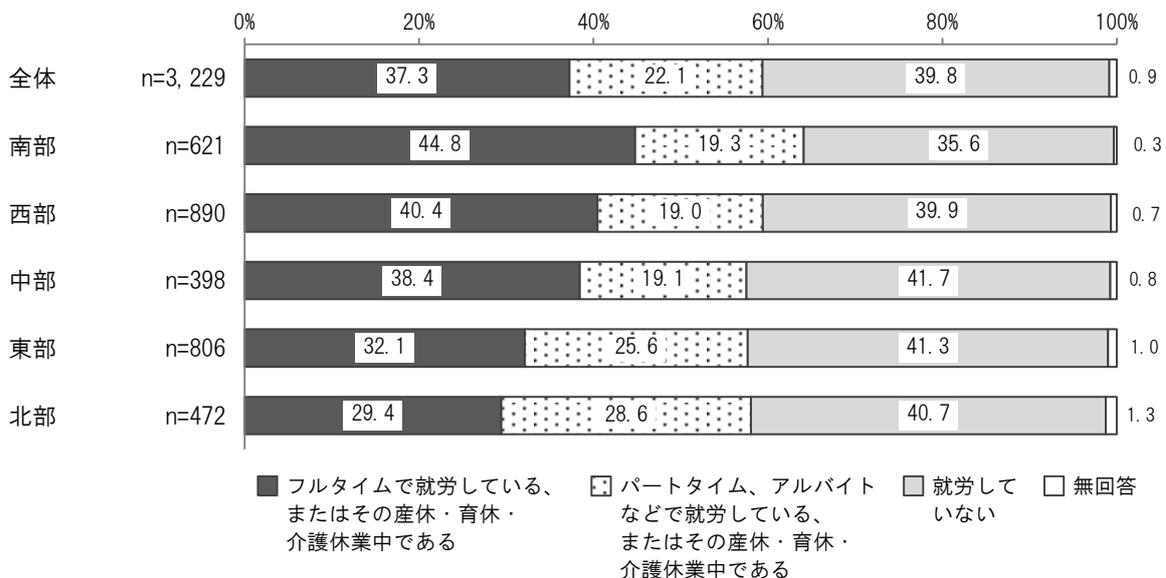
・母親の就労状況を年齢3区別にみると、「フルタイム」は「0歳」が45.5%と最も高くなっており、次に「1～2歳」が38.7%、「3～5歳」が32.3%となっている。
 ・「3～5歳」は、「フルタイム」の割合はもっとも低いが、「パート等」を含めた就労割合は62.1%と最も高くなっている。

図表 3-10.2 【母親】 就労状況<年齢3区分別>



・母親の就労状況を地区別にみると、「フルタイム」の割合は「南部」が44.8%と最も高く、もっとも低い「北部」の29.4%とは15.4ポイントの差がある。

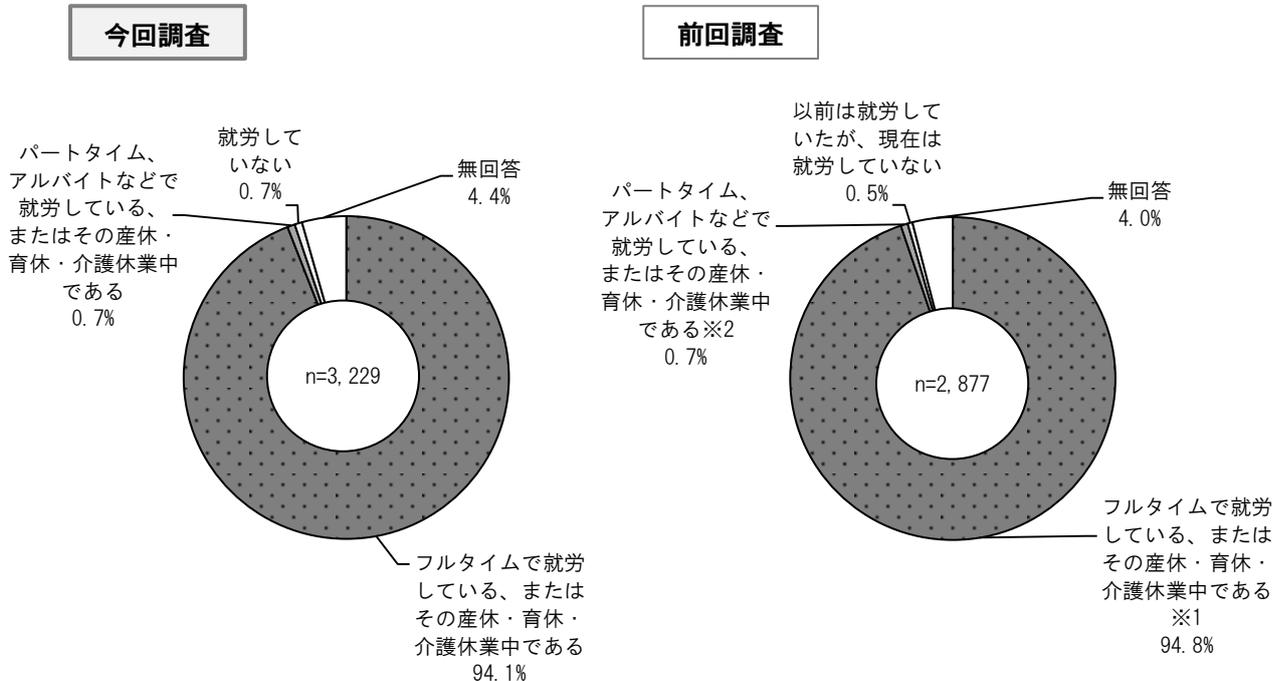
図表 3-10.3 【母親】 就労状況<地区別>



(2) お父さん

・父親の就労状況は「フルタイム」が90%以上を占めており、前回調査と大きな差はみられない。

図表 3-10.4 【父親】 就労状況<経年比較>



※1：前回調査の選択肢「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」の合計

※2：前回調査の選択肢「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」の合計

※「これまで就労したことがない」(0.0%)は省略

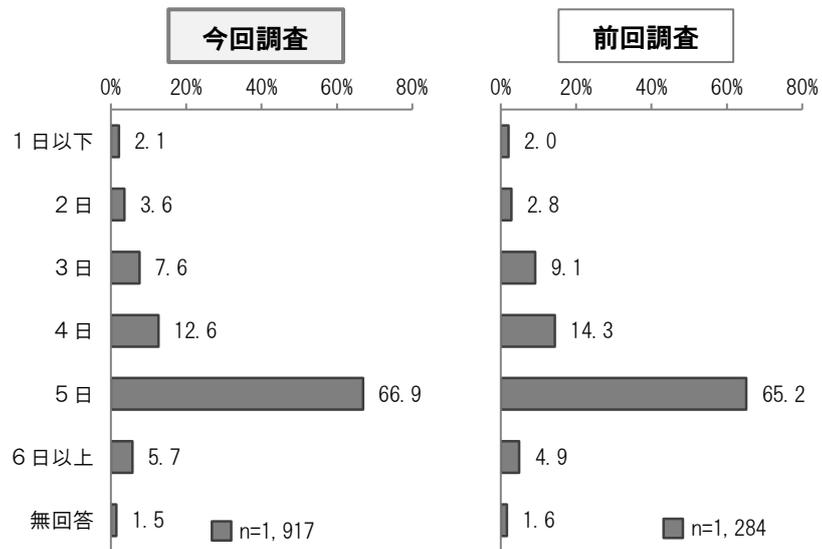
【問 10-1 は、問 10 で「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」「パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかがいます。】

問 10-1 就労日数や就労時間、また家を出る時刻、家に帰る時刻をお答えください。

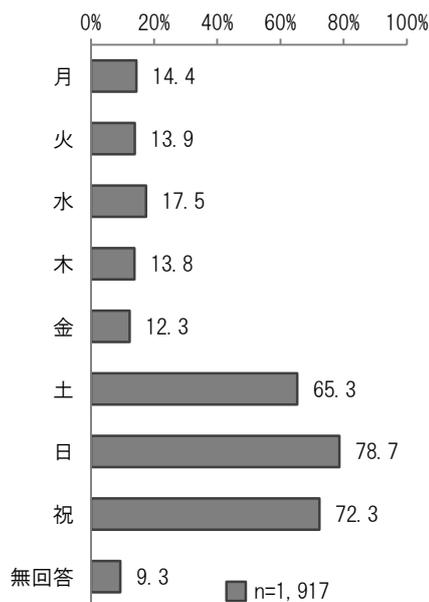
(1) お母さん ① 1 週あたりの就労日数と休日

- 母親の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」が 66.9%となっており、前回調査と大きな差はみられない。
- 母親の休日は「日」「祝」が 70%を超え、「土」が 65.3%となっている。

図表 3-10-1.1 【母親】 就労日数<経年比較>



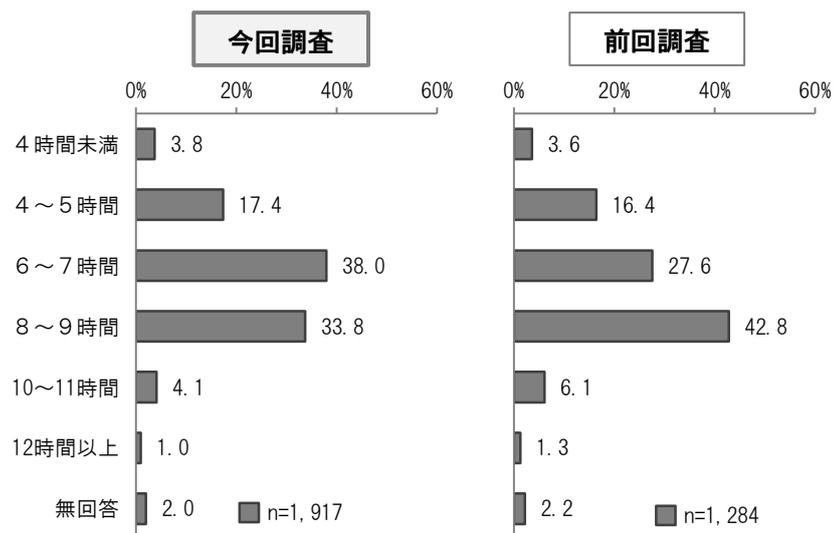
図表 3-10-1.2 【母親】 休日 (複数回答)



(1) お母さん ② 1日あたりの就労時間（残業時間含む）

- 母親の1日あたりの就労時間は、「6～7時間」が38.0%と最も高く、次いで「8～9時間」が33.8%となっている。
- 前回調査と比べると、「6～7時間」が10.4ポイント増加している一方、「8～9時間」が9.0ポイント減少している。

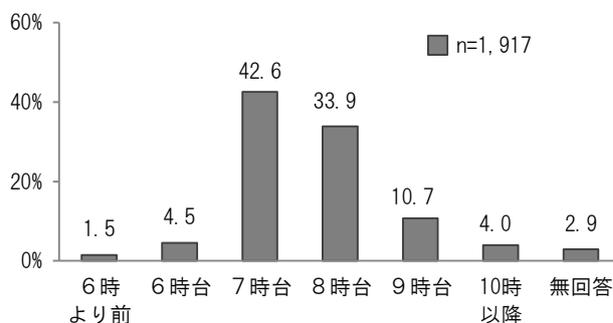
図表 3-10-1.3 【母親】 就労時間<経年比較>



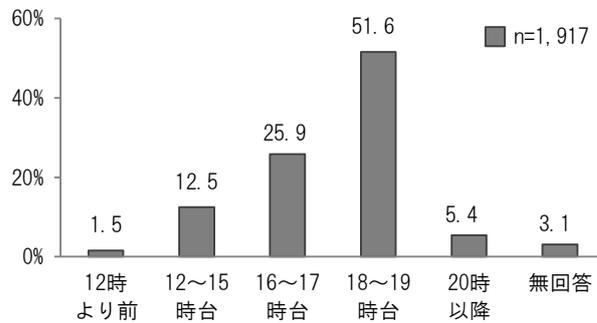
(1) お母さん ③ 家を出る時刻 ④ 家に帰る時刻

- 母親の家を出る時刻は、「7時台」が42.6%と最も高く、次いで「8時台」が33.9%となっている。
- 母親の家に帰る時刻は、「18～19時台」が51.6%と最も高く、次いで「16～17時台」が25.9%となっている。

図表 3-10-1.4 【母親】 家を出る時刻



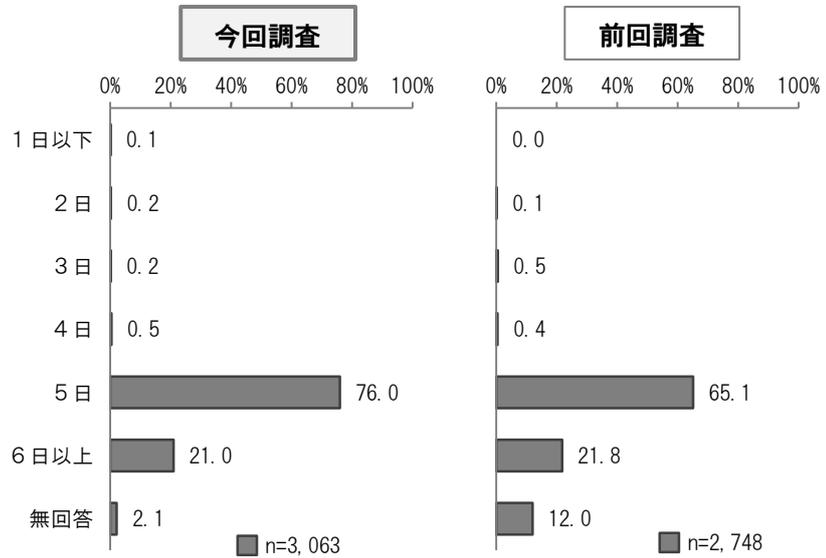
図表 3-10-1.5 【母親】 家に帰る時刻



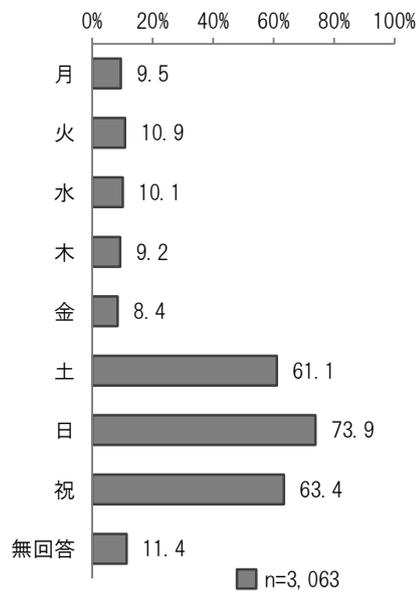
(2) お父さん ① 1週あたりの就労日数と休日

- ・父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が76.0%となっている。
- ・父親の休日は「日」が73.9%であり、「土」「祝」が60%台となっている。

図表 3-10-1.6 【父親】 就労日数<経年比較>



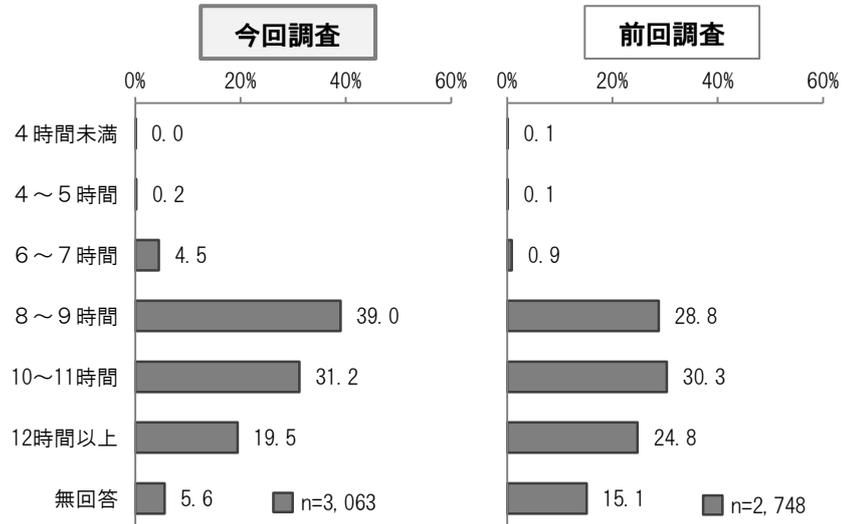
図表 3-10-1.7 【父親】 休日 (複数回答)



(2) お父さん ② 1日あたりの就労時間 (残業時間含む)

・父親の1日あたりの就労時間は、「8～9時間」が39.0%と最も高く、次いで「10～11時間」が31.2%となっている。

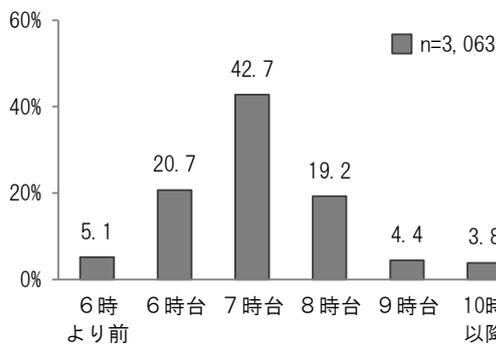
図表 3-10-1.8 【父親】 就労時間<経年比較>



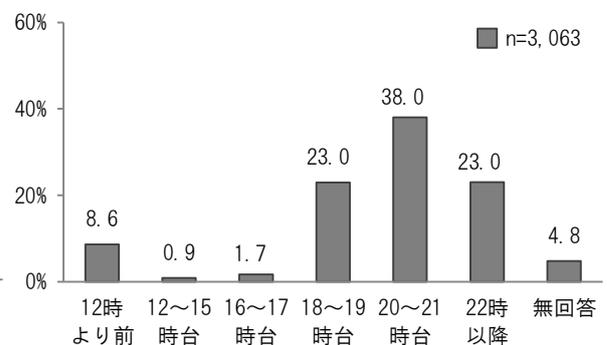
(2) お父さん ③ 家を出る時刻 ④ 家に帰る時刻

・父親の家を出る時刻は、「7時台」が42.7%と最も高く、次いで「6時台」が20.7%となっている。
 ・父親の家に帰る時刻は、「20～21時台」が38.0%と最も高く、次いで「18～19時台」「22時以降」がともに23.0%となっている。

図表 3-10-1.9 【父親】 家を出る時刻



図表 3-10-1.10 【父親】 家に帰る時刻



【すべての方にうかがいます。】

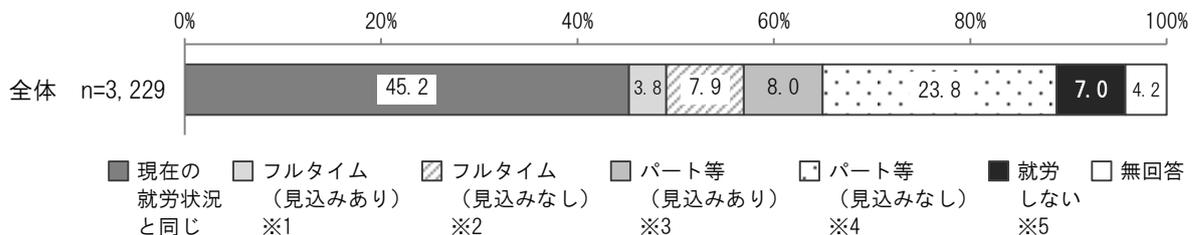
問 10-2 今後、希望する働き方（就労形態）についてうかがいます。

（（1）・（2）それぞれ1つに○）

（1）お母さん

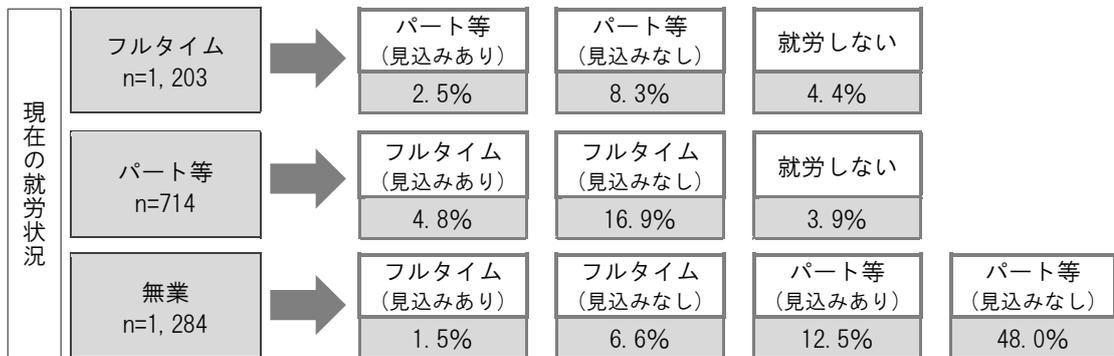
- ・母親の希望する就労形態は、「現在の就労状況と同じ」が45.2%と最も高く、次いで「パート等（見込みなし）」が23.8%となっている。
- ・現在「フルタイム」から「パート等」への転換希望が10.8%、現在「パート等」から「フルタイム」への転換希望が21.7%、現在「無業」から「フルタイム」「パート等」への転換希望が68.6%となっている。
- ・母親が1年以内の実現見込みの有無にかかわらず、希望通りの就労形態に転換した場合、「フルタイム」が39.0%、「パート等」が44.0%、「無業」が12.5%となり、現在の就労状況と比べると、「パート等」が21.9ポイント増加する。

図表 3-10-2.1 【母親】 今後希望する就労形態

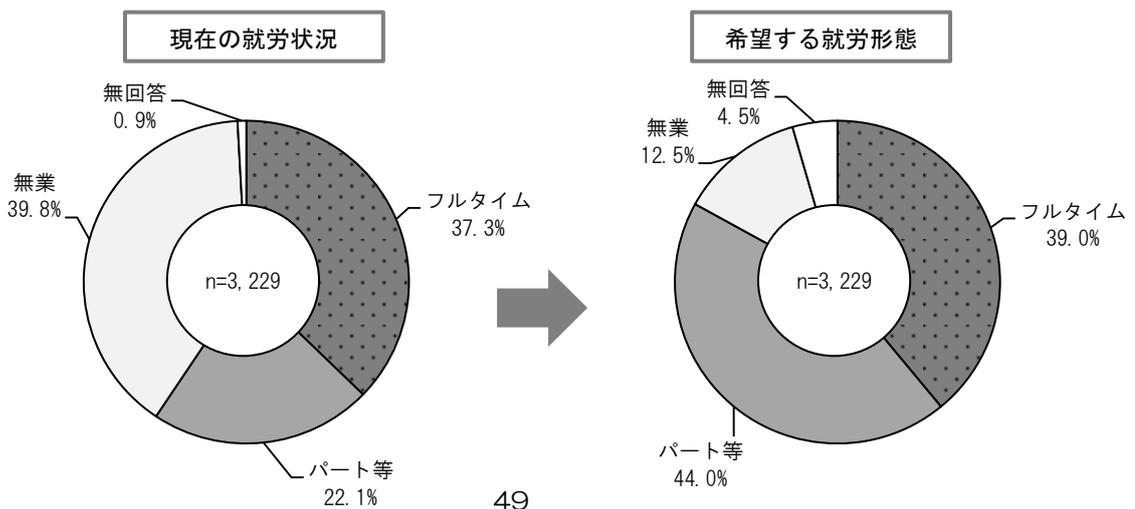


※1：フルタイム（1年以内を実現見込みあり） ※2：フルタイム（1年以内を実現見込みなし）
 ※3：パート・アルバイトなど（1年以内を実現見込みあり） ※4：パート・アルバイトなど（1年以内を実現見込みなし）
 ※5：就労しないで子育て・家事に専念したい（以降同様）

図表 3-10-2.2 【母親】 現在の就労状況からの転換希望



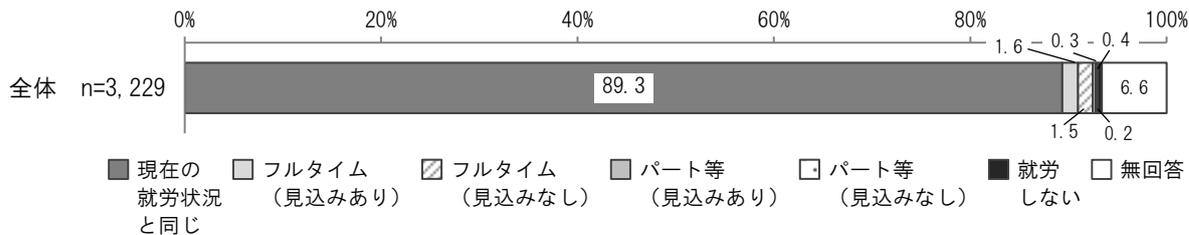
図表 3-10-2.3 【母親】 現在の就労状況と希望する就労形態



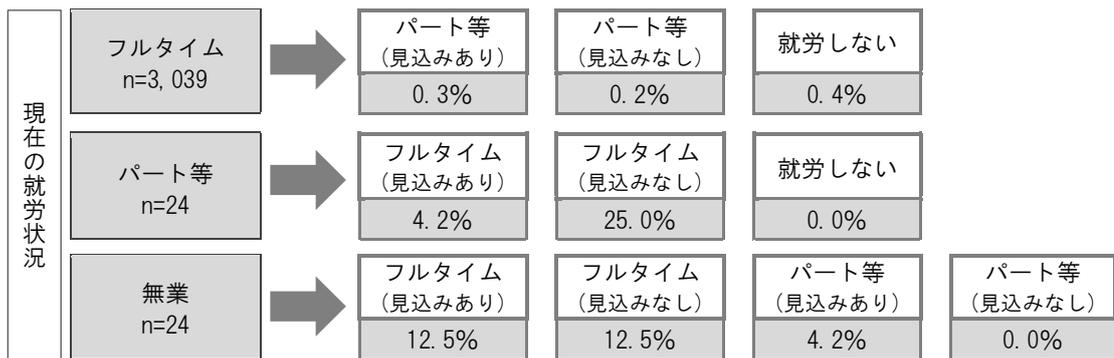
(2) お父さん

- 父親の希望する就労形態は、「現在の就労状況と同じ」が89.3%となっている。
- 現在「フルタイム」から「パート等」への転換希望が0.5%、現在「パート等」から「フルタイム」への転換希望が29.2%、現在「無業」から「フルタイム」「パート等」への転換希望が29.2%となっている。

図表 3-10-2.4 【父親】 今後希望する就労形態



図表 3-10-2.5 【父親】 現在の就労状況からの転換希望



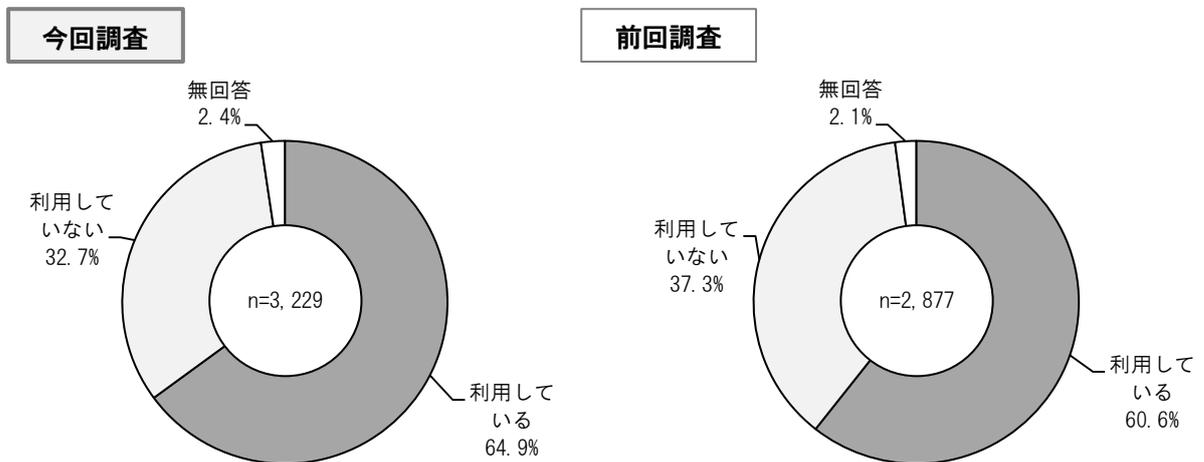
4. 平日の日常的な施設等の利用について

施設等の種類
1. 幼稚園（通常の就園時間のみの利用）
2. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間＋在園児を対象とした延長保育の利用）
3. 認可保育所（保育園）（法令による認可を受けたもので定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育事業 （0～2歳児を預かる施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭などで、5人以下の0～2歳児の保育を行うもの）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 認証保育所（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）（保育者がその子どもの家庭で保育を行うもの）
11. ファミリー・サポート・センター（地域の住民が子どもを預かるもの）

問11 あて名のお子さんは現在、上の表にある施設等を日常的に利用していますか。
（1つに○）

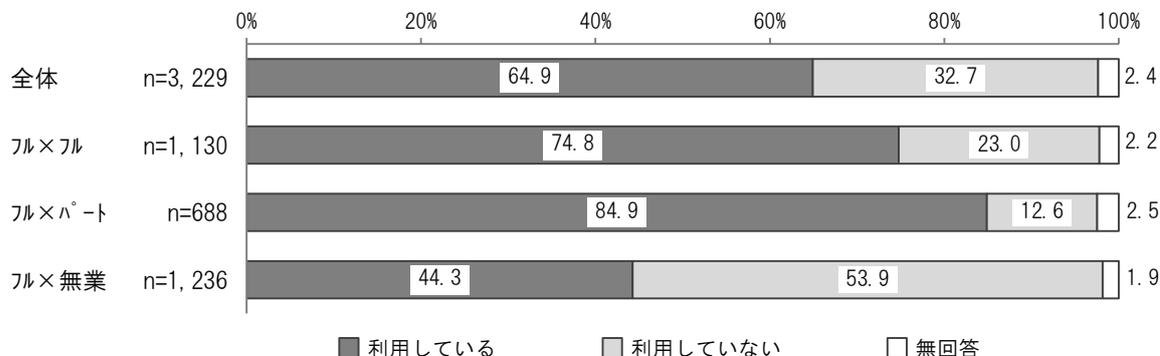
- ・日常的な施設等の現在の利用状況は、「利用している」が64.9%、「利用していない」が32.7%となっている。
- ・前回調査と比べると、「利用している」が4.3ポイント増加している。

図表 3-11.1 日常的な施設等の利用状況<経年比較>



・日常的な施設等の現在の利用状況を家庭類型別にみると、「利用している」が「フル×フル」では74.8%、「フル×パート」では84.9%、「フル×無業」では44.3%となっている。

図表 3-11.2 日常的な施設等の利用状況<家庭類型別>

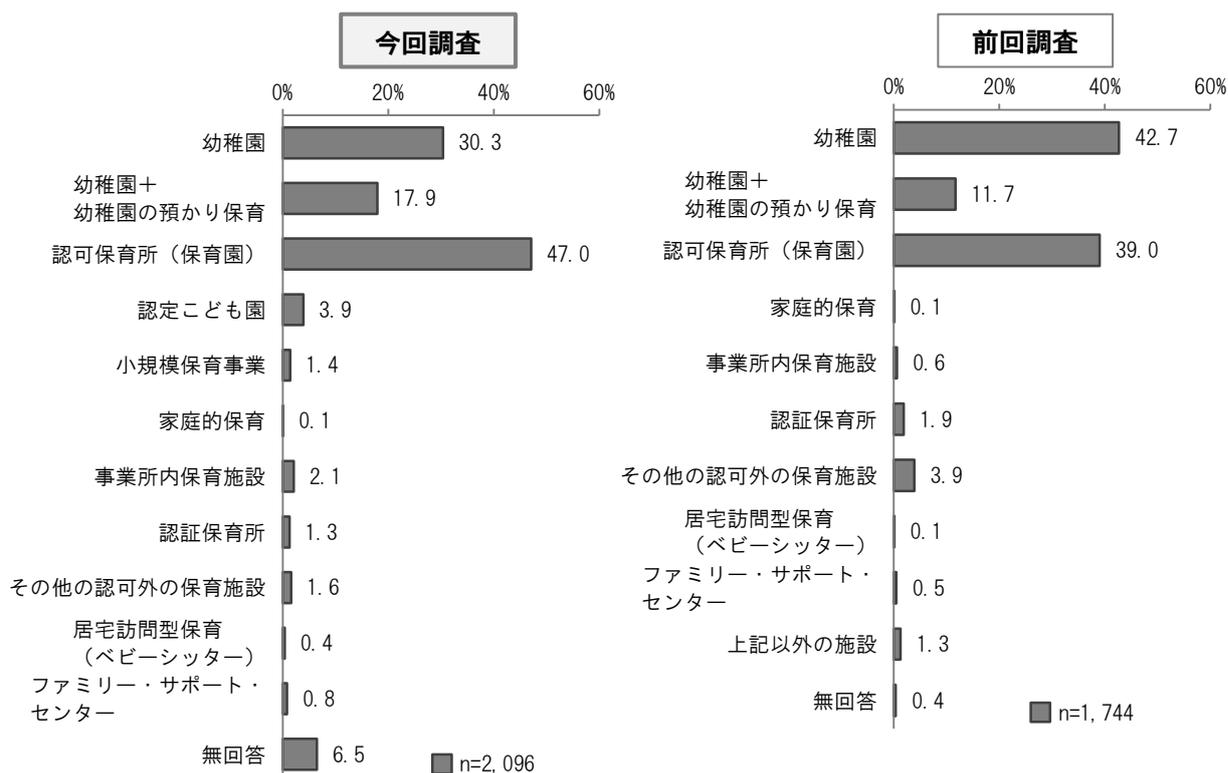


【問 11-1～問 11-2 は、問 11 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問 11-1 あて名のお子さんが、日常的に利用している施設等はどれですか。
(P51 の表の中のあてはまる番号をすべて記入)

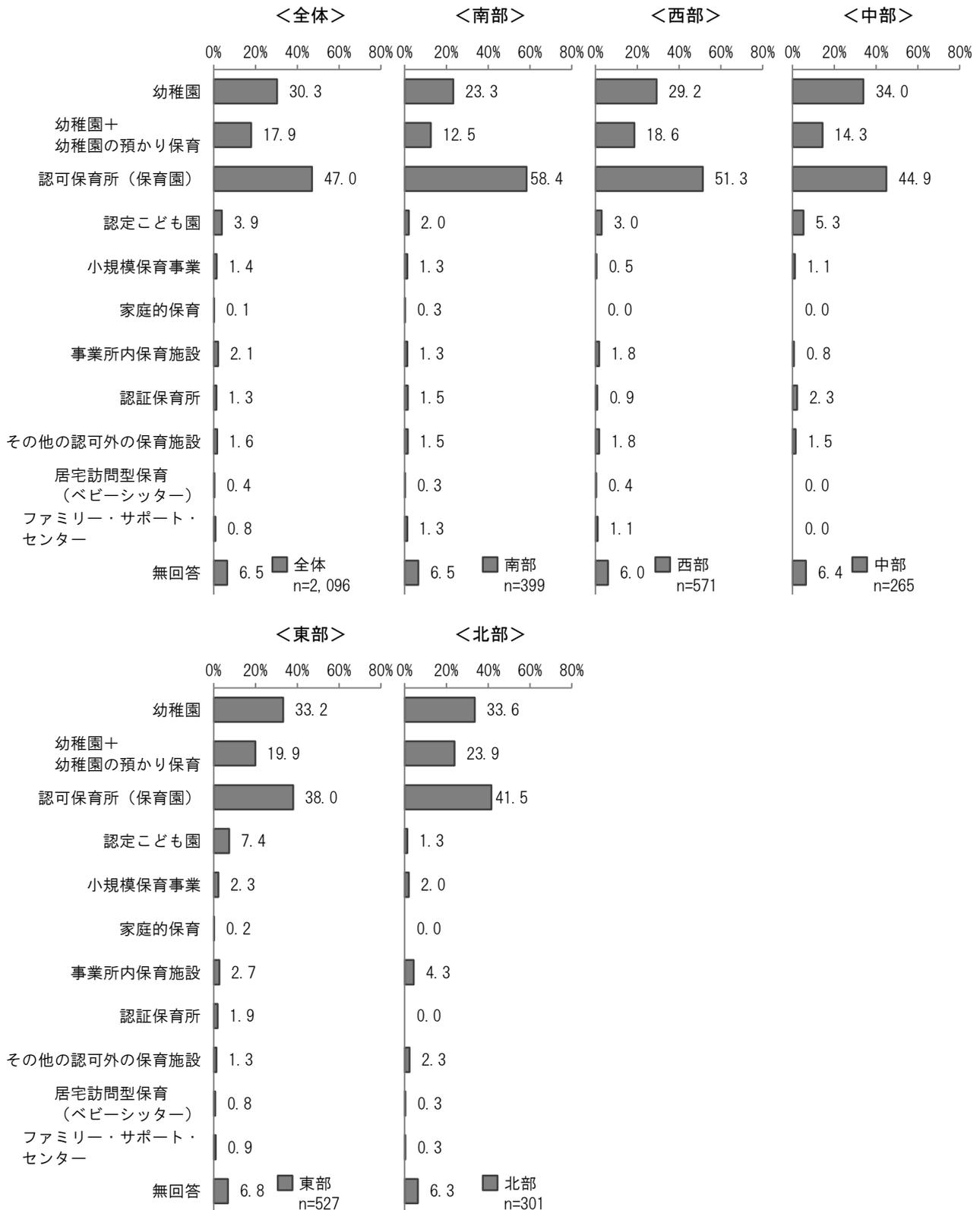
・現在、日常的に利用している施設等は、「認可保育所（保育園）」が 47.0%と最も高く、次いで「幼稚園」が 30.3%、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が 17.9%となっている。
・前回調査と比べると、「認可保育所（保育園）」が 8.0 ポイント増加し、「幼稚園」が 12.4 ポイント減少している。一方、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が 6.2 ポイント増加している。

図表 3-11-1.1 日常的に利用している施設等（複数回答）<経年比較>



- ・現在、日常的に利用している施設等を地区別にみると、「南部」「西部」では「認可保育所（保育園）」が50%を超えている。
- ・一方、「東部」では「認可保育所（保育園）」が38.0%となっており、南部の58.4%より20ポイント以上低くなっている。

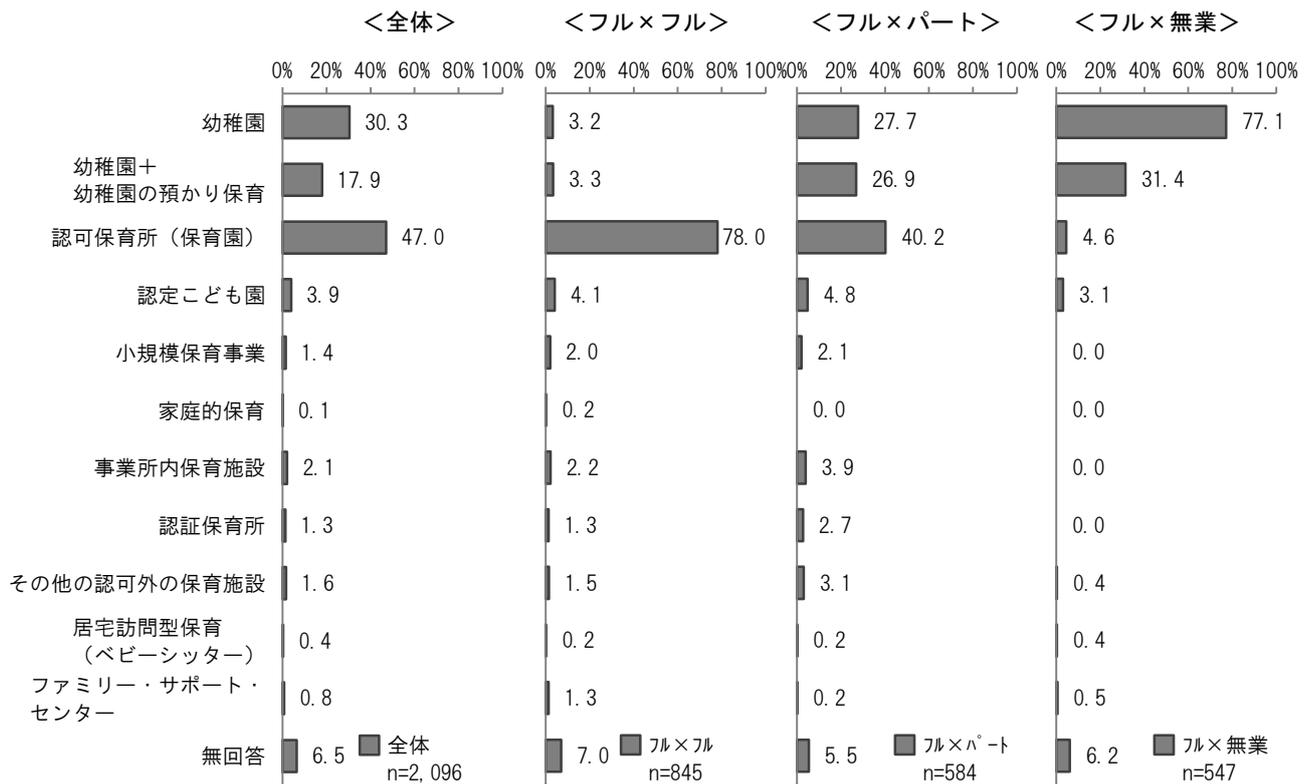
図表 3-11-1.2 日常的に利用している施設等（複数回答）＜地区別＞



Ⅲ 就学前児童調査結果

- ・現在、日常的に利用している施設等を家庭類型別にみると、「フル×フル」では「認可保育所（保育園）」が78.0%となっている。
- ・「フル×パート」では「認可保育所（保育園）」が40.2%、「幼稚園」が27.7%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が26.9%となっている。
- ・「フル×無業」では「幼稚園」が77.1%となっている。

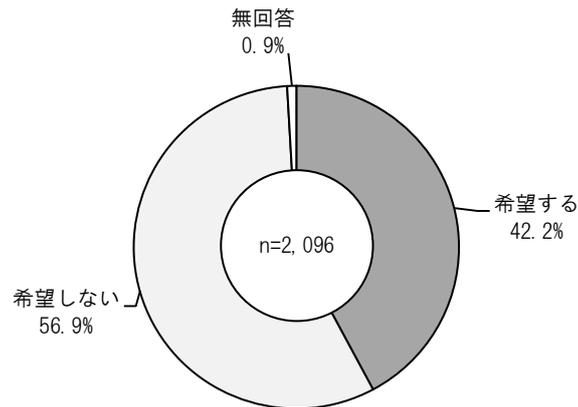
図表 3-11-1.3 日常的に利用している施設等（複数回答）＜家庭類型別＞



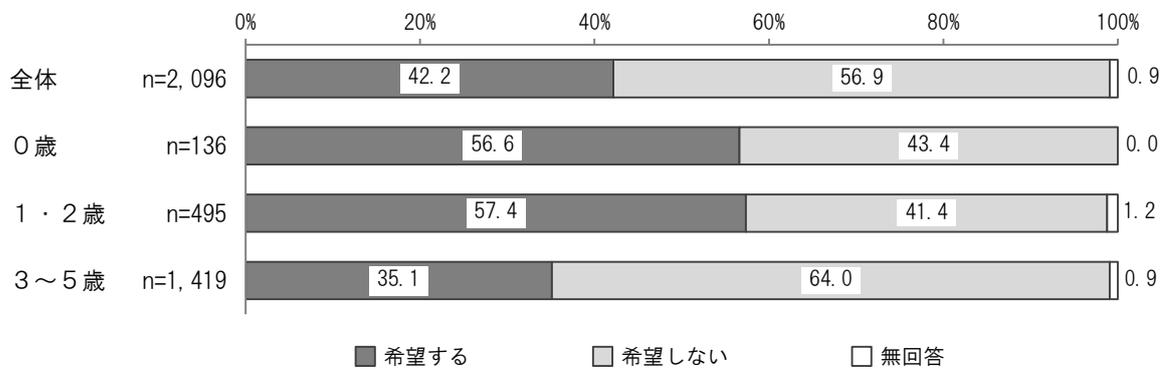
問 11-2 問 11-1 で選んだ施設等について、18 時以降の利用希望はありますか。
(1 つに〇)

- 18 時以降の利用希望は、「希望する」が 42.2%となっている。
- 年齢 3 区分別にみると、「希望する」が「0 歳」「1・2 歳」では 50%を超えており、「3～5 歳」では 35.1%となっている。

図表 3-11-2.1 18 時以降の施設等利用希望



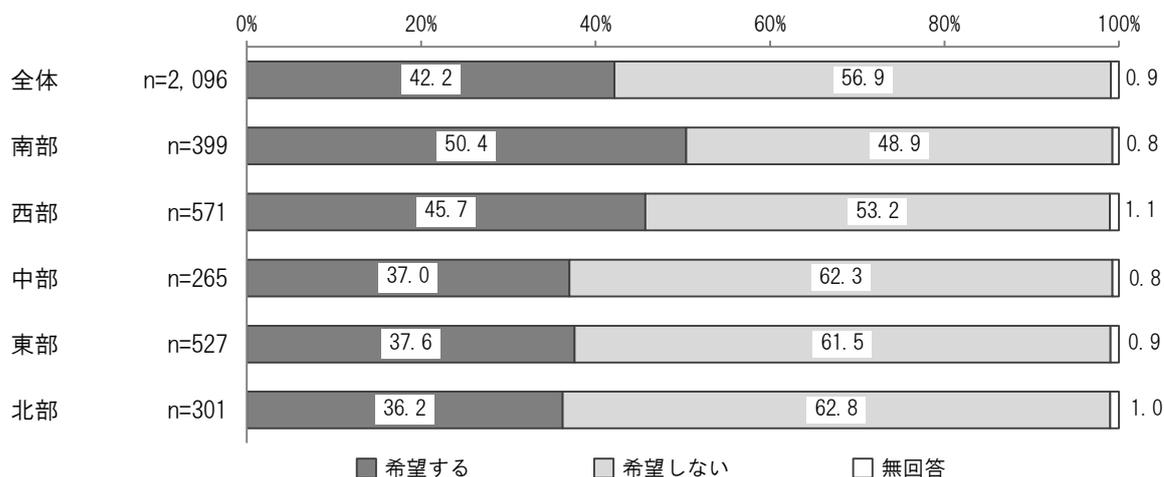
図表 3-11-2.2 18 時以降の施設等利用希望<年齢 3 区分別>



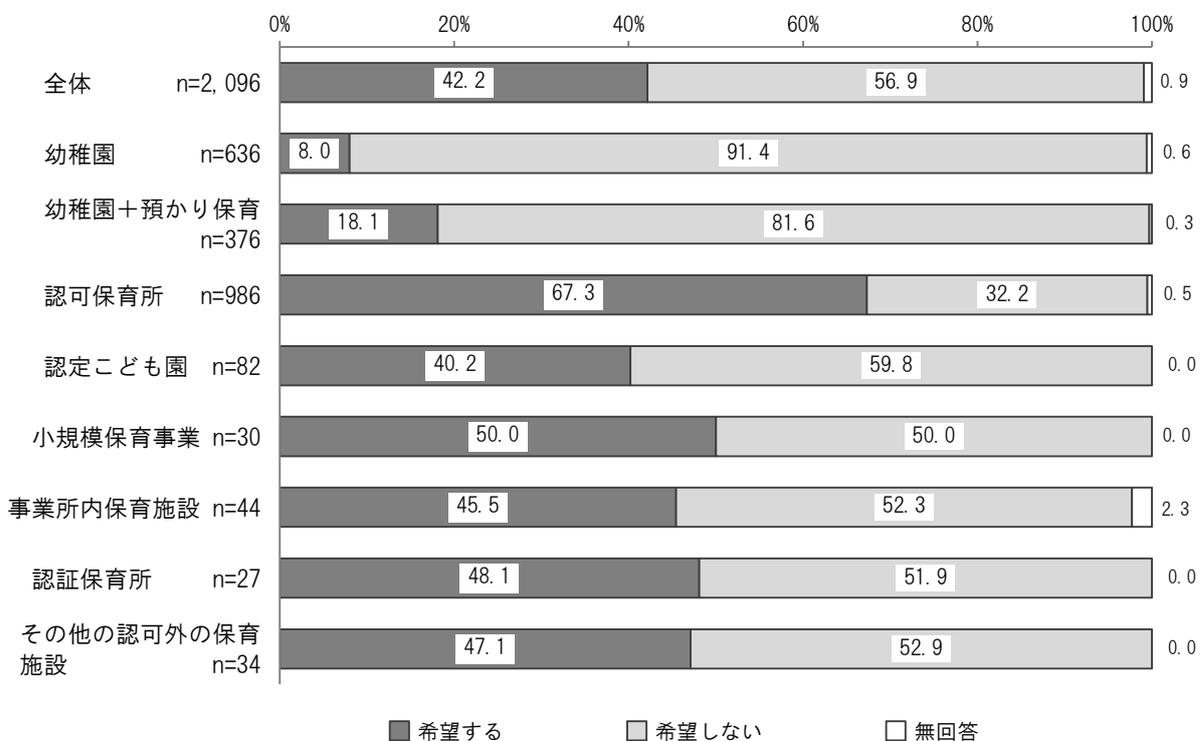
Ⅲ 就学前児童調査結果

- 18時以降の利用希望を地区別にみると、「希望する」が「南部」では50.4%、「西部」では45.7%、「中部」「東部」「北部」では30%台となっている。
- 施設等別にみると、「希望する」が「認可保育所（保育園）」では67.3%、「認定こども園」では40.2%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」では18.1%となっている。

図表 3-11-2.3 18時以降の施設等利用希望<地区別>



図表 3-11-2.4 18時以降の施設等利用希望<施設等別>



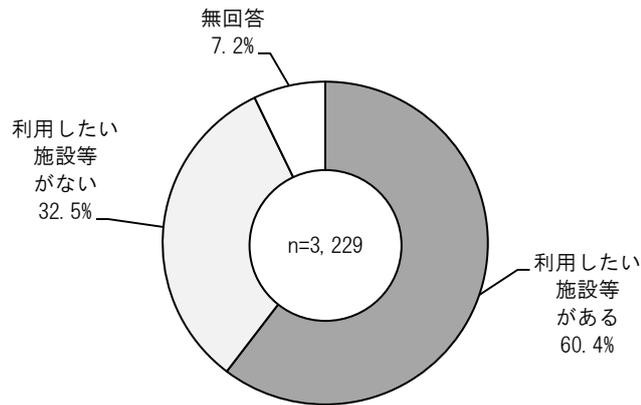
※「家庭的保育」「居宅訪問型保育」「ファミリー・サポート・センター」は対象者が少ないため省略

【すべての方にうかがいます。】

問 12 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、P51の表の中にある施設等で、日常的に利用したいものはありますか。（1つに○）

・利用したい施設等の有無は、「利用したい施設等がある」が60.4%となっている。

図表 3-12 利用したい施設等の有無



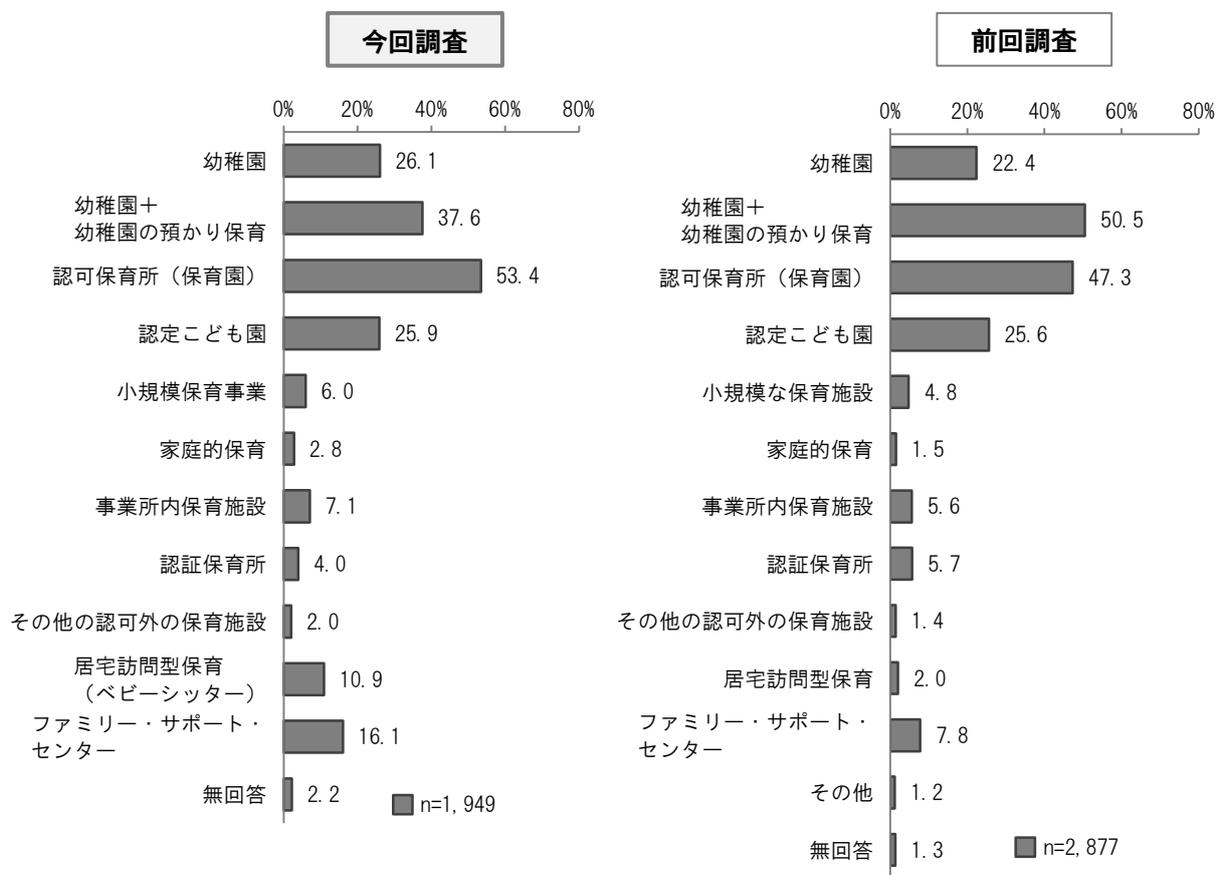
【問 12-1～問 12-2 は、問 12 で「利用したい施設等がある」に○をつけた方にうかがいます。】

問 12-1 利用したいと考える施設等はどれですか。

(P51 の表の中のあてはまる番号をすべて記入)

- ・利用したい施設等は、「認可保育所（保育園）」が 53.4%と最も高く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 37.6%、「幼稚園」が 26.1%となっている。
- ・設問内容が異なるため参考比較とするが、前回調査では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 50.5%と最も高く、次いで「認可保育所（保育園）」が 47.3%、「認定こども園」が 25.6%となっている。

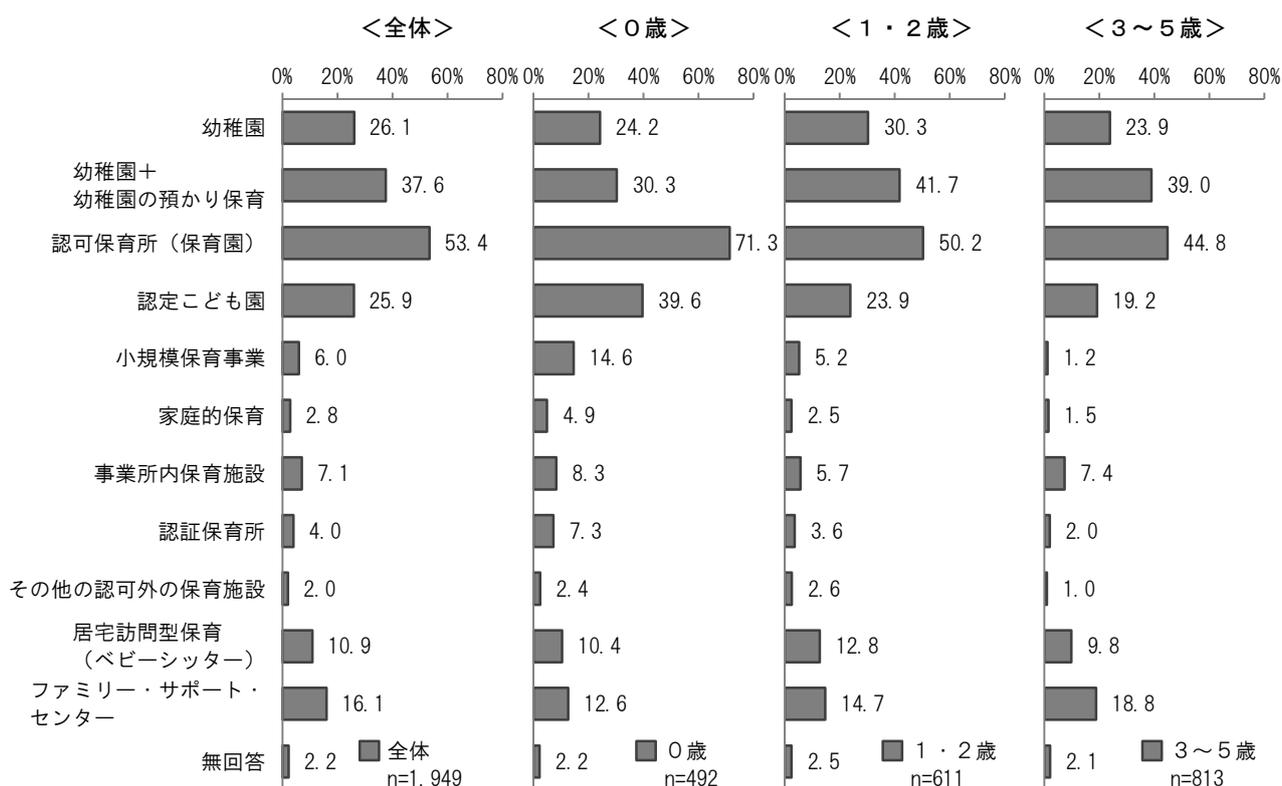
図表 3-12-1.1 利用したい施設等（複数回答）＜経年比較＞



※前回調査はすべての方への設問

- ・利用したい施設等を年齢3区分別にみると、「0歳」では「認可保育所（保育園）」が71.3%ともっとも高く、次いで「認定こども園」が39.6%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が30.3%となっている。
- ・「1・2歳」では「認可保育所（保育園）」が50.2%ともっとも高く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が41.7%、「幼稚園」が30.3%となっている。
- ・「3～5歳」では「認可保育所（保育園）」が44.8%ともっとも高く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が39.0%、「幼稚園」が23.9%となっている。

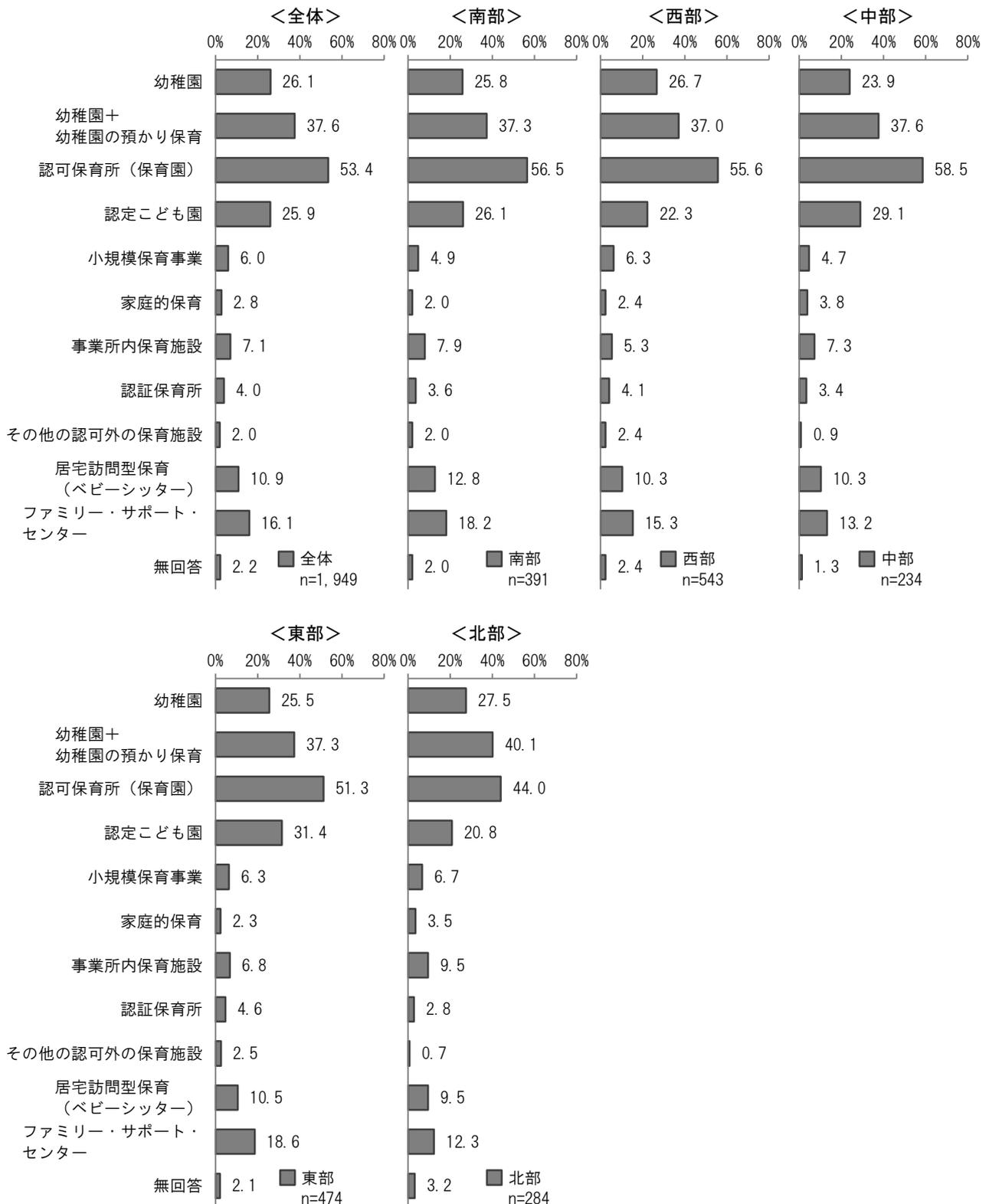
図表 3-12-1.2 利用したい施設等（複数回答）＜年齢3区分別＞



Ⅲ 就学前児童調査結果

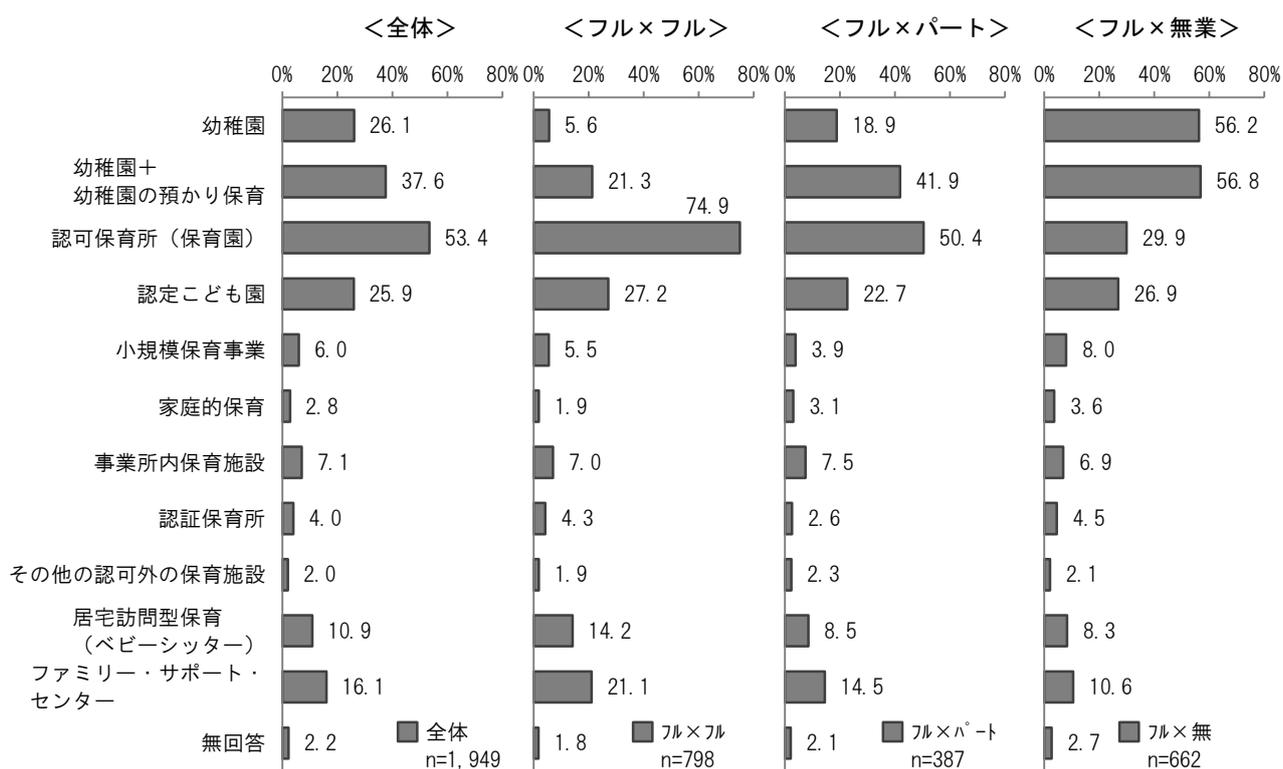
- ・利用したい施設等を地区別にみると、いずれの地区も「認可保育所（保育園）」がもっとも高く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」となっている。
- ・「南部」「西部」「中部」では「認可保育所（保育園）」が「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」より 20 ポイント程度高くなっているのに対し、「東部」では 14.0 ポイント、「北部」では 3.9 ポイントの差となっている。

図表 3-12-1.3 利用したい施設等（複数回答）＜地区別＞



- 利用したい施設等を家庭類型別にみると、「フル×フル」では「認可保育所（保育園）」が74.9%ともっとも高く、次いで「認定こども園」が27.2%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が21.3%となっている。
- 「フル×パート」では「認可保育所（保育園）」が50.4%ともっとも高く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が41.9%、「認定こども園」が22.7%となっている。
- 「フル×無業」では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が56.8%ともっとも高く、次いで「幼稚園」が56.2%、「認可保育所（保育園）」が29.9%となっている。

図表 3-12-1.4 利用したい施設等（複数回答）＜家庭類型別＞

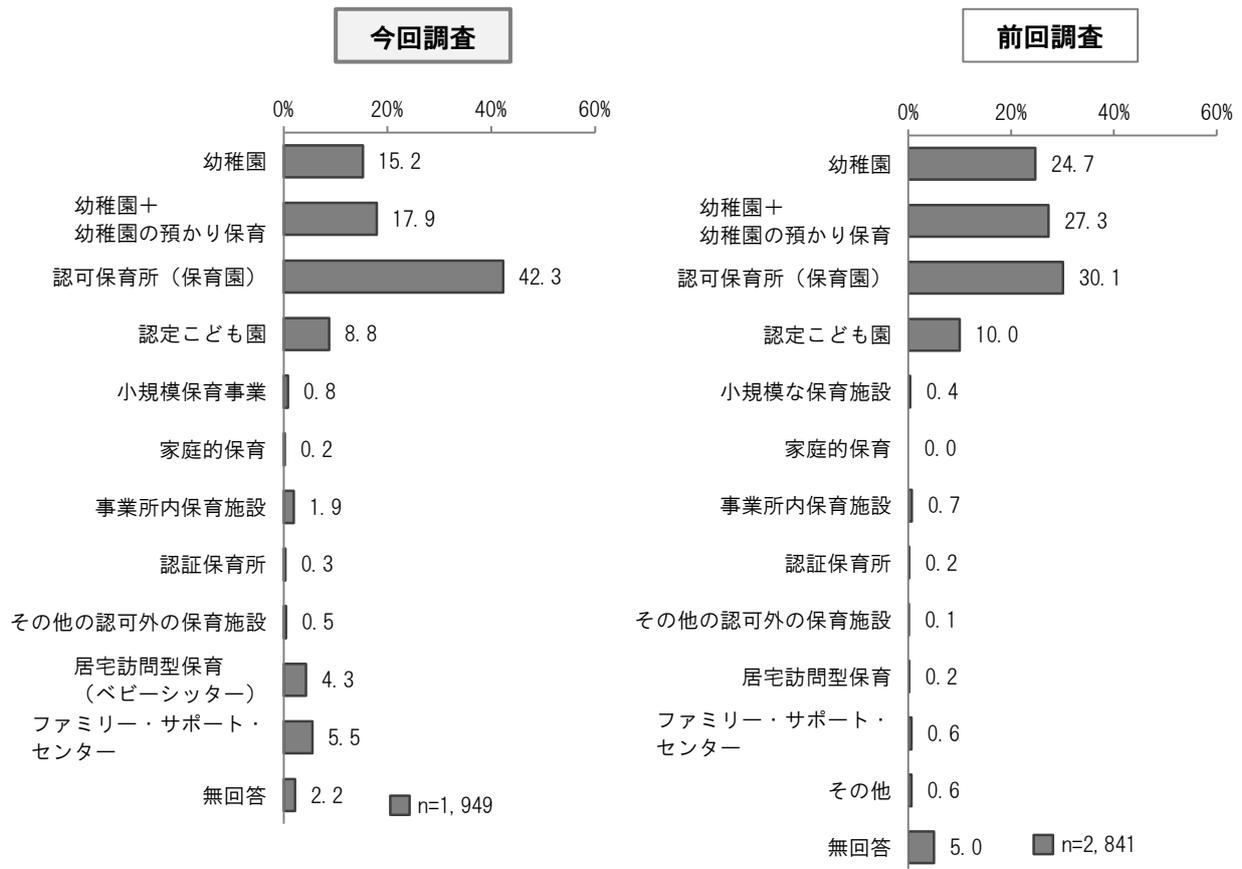


Ⅲ 就学前児童調査結果

問 12-2 問 12-1 で選んだ施設等で、もっとも利用したいものはどれですか。
(1つ選んで番号を記入)

- もっとも利用したい施設等は、「認可保育所（保育園）」が 42.3%と最も高く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 17.9%、「幼稚園」が 15.2%となっている。
- 設問内容が異なるため参考比較とするが、前回調査より「幼稚園」「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が約 10 ポイント減少し、「認可保育所（保育園）」が 12.2 ポイント増加している。

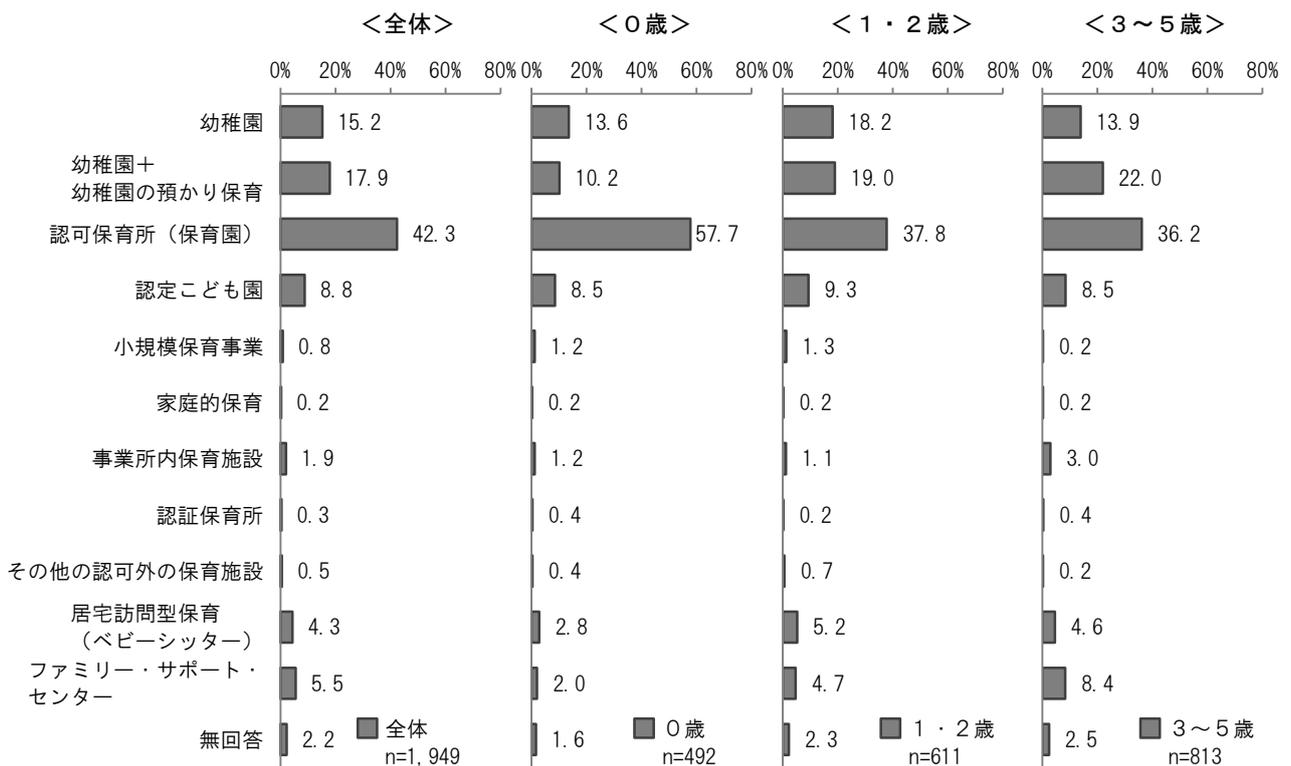
図表 3-12-2.1 もっとも利用したい施設等＜経年比較＞



※前回調査はすべての方への設問

- もっとも利用したい施設等を年齢3区分別にみると、「0歳」では「認可保育所（保育園）」が57.7%と最も高く、次いで「幼稚園」が13.6%、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が10.2%となっている。
- 「1・2歳」では「認可保育所（保育園）」が37.8%と最も高く、次いで「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が19.0%、「幼稚園」が18.2%となっている。
- 「3～5歳」では「認可保育所（保育園）」が36.2%と最も高く、次いで「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が22.0%、「幼稚園」が13.9%となっている。

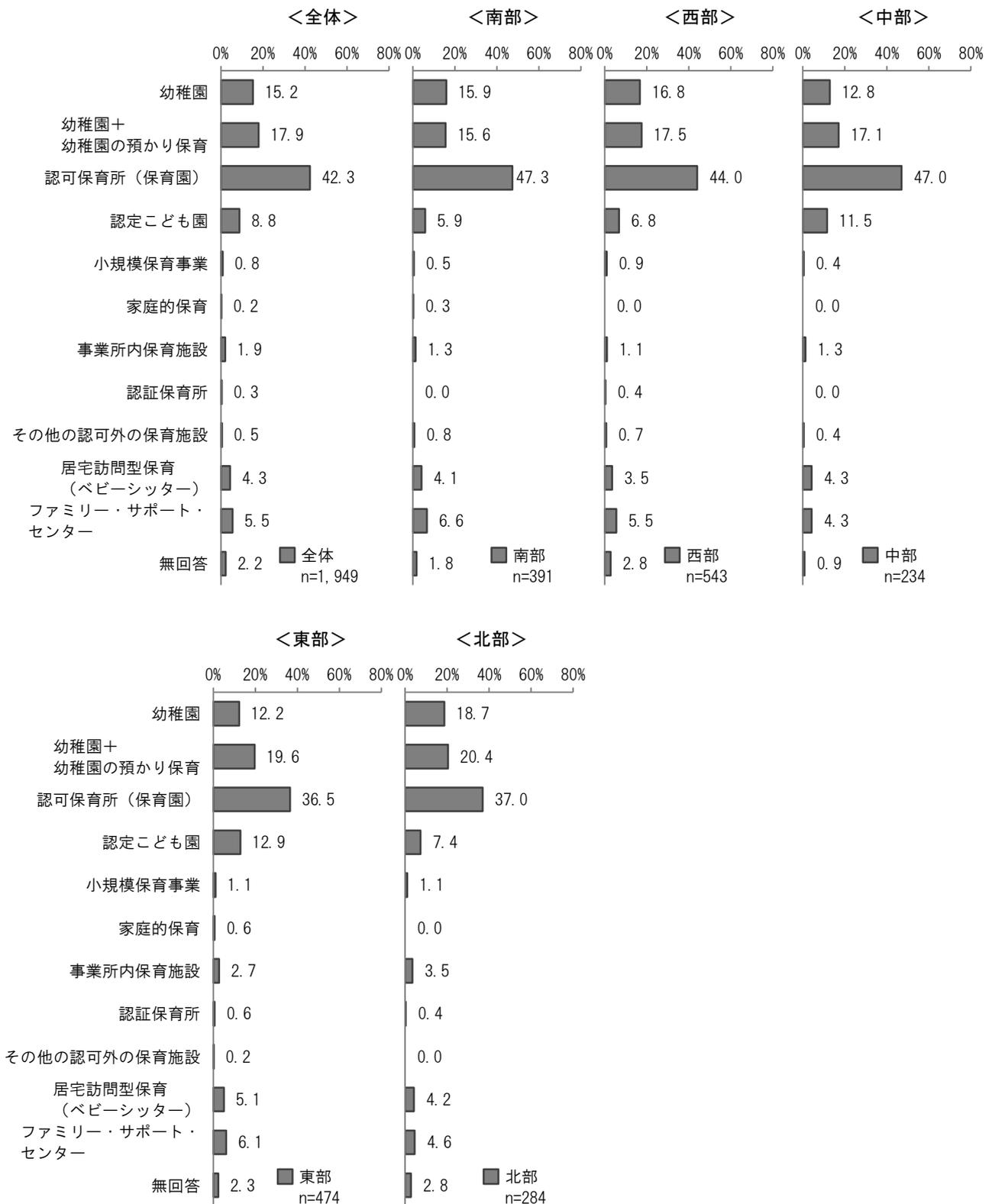
図表 3-12-2.2 もっとも利用したい施設等＜年齢3区分別＞



Ⅲ 就学前児童調査結果

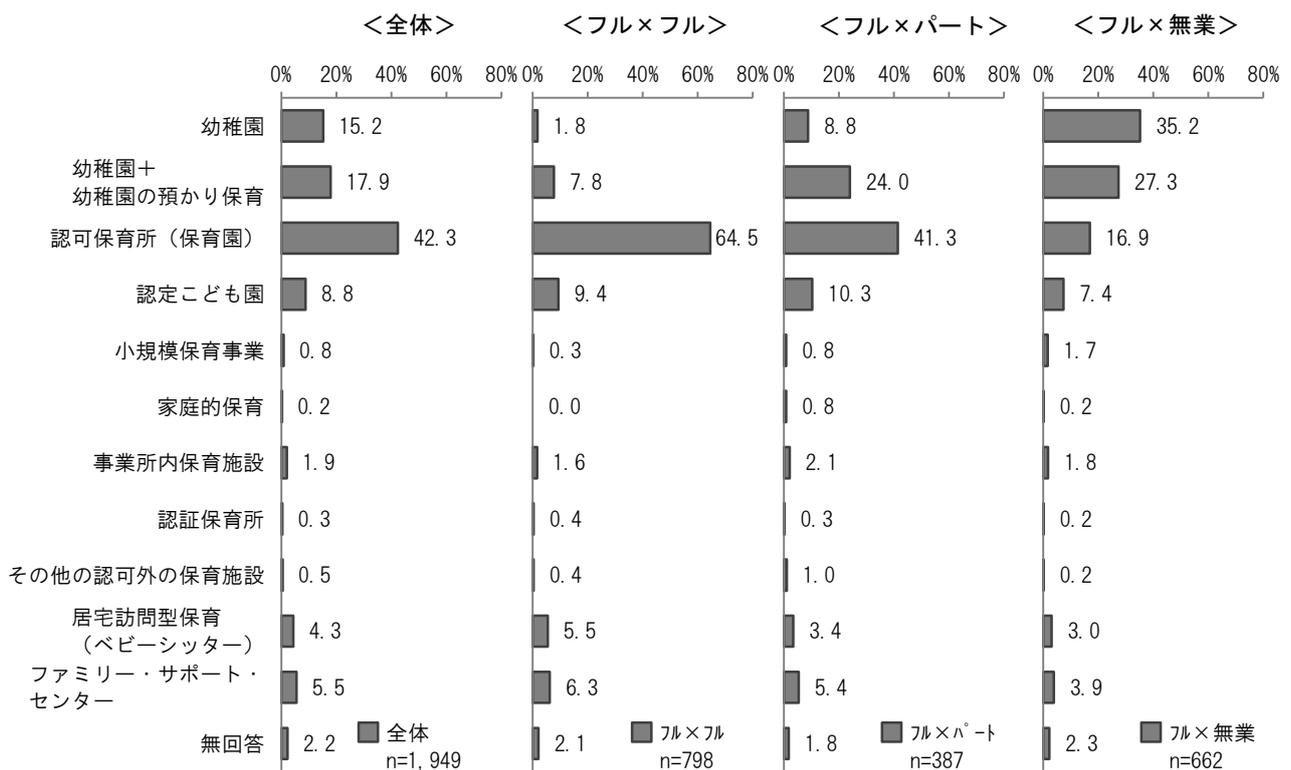
・もっとも利用したい施設等を地区別にみると、いずれの地区も「認可保育所（保育園）」がもっとも高くなっているが、「南部」「中部」では約 47%となっているのに対し、「東部」「北部」では約 37%と、約 10 ポイントの差がある。

図表 3-12-2.3 もっとも利用したい施設等<地区別>



- もっとも利用したい施設等を家庭類型別にみると、「フル×フル」では「認可保育所（保育園）」が64.5%、「認定こども園」が9.4%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が7.8%となっている。
- 「フル×パート」では「認可保育所（保育園）」が41.3%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が24.0%、「認定こども園」が10.3%となっている。
- 「フル×無業」では「幼稚園」が35.2%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が27.3%、「認可保育所（保育園）」が16.9%となっている。

図表 3-12-2.4 もっとも利用したい施設等<家庭類型別>



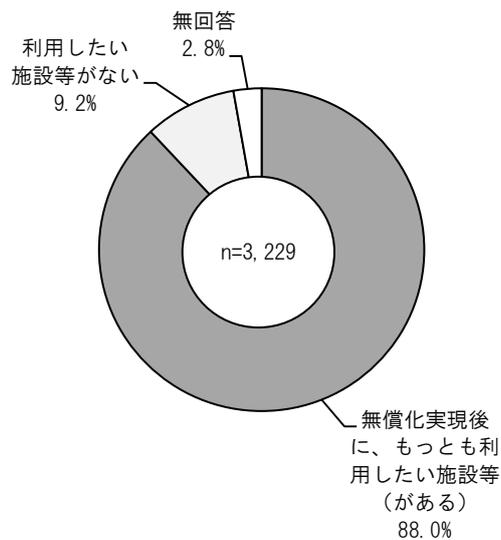
【すべての方にうかがいます。】

問 13 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、幼児教育・保育の無償化が実現した場合に、P51 の表の中にある施設等で、もっとも利用したいものはどれですか。

(1つに○。「無償化実現後に、もっとも利用したい施設等」の場合、あてはまる番号を1つ選んで記入)

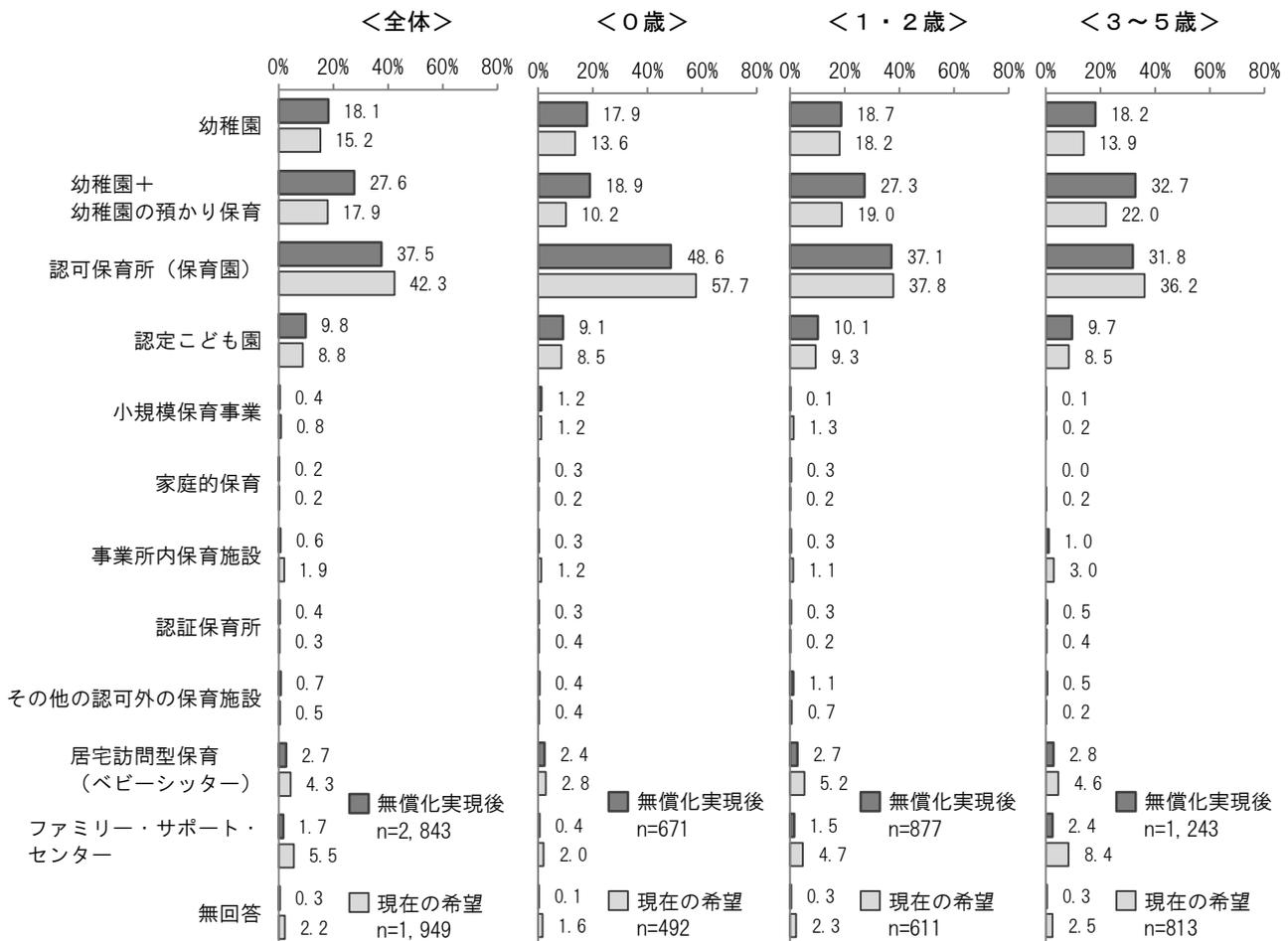
・「無償化実現後に、もっとも利用したい施設等 (がある)」割合は 88.0%となっている。

図表 3-13.1 無償化実現後に利用したい施設等の有無



- ・無償化実現後にもっとも利用したい施設等を年齢3区分別にみると、「0歳」では「認可保育所（保育園）」が48.6%ともっとも高く、次いで「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が18.9%、「幼稚園」が17.9%となっている。
- ・「1・2歳」では「認可保育所（保育園）」が37.1%ともっとも高く、次いで「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が27.3%、「幼稚園」が18.7%となっている。
- ・「3～5歳」では「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が32.7%ともっとも高く、次いで「認可保育所（保育園）」が31.8%、「幼稚園」が18.2%となっている。
- ・無償化実現後にもっとも利用したい施設等を、現在もっとも利用したい施設等と比べると、実現後は、全体では「認可保育所（保育園）」が4.8ポイント減少し、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が9.7ポイント増加している。
- ・年齢3区分別にみると、「0歳」では「認可保育所（保育園）」が9.1ポイント減少し、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が8.7ポイント増加、「幼稚園」が4.3ポイント増加している。
- ・「1・2歳」では「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が8.3ポイント増加している。
- ・「3～5歳」では「認可保育所（保育園）」が4.4ポイント減少し、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が10.7ポイント増加、「幼稚園」が4.3ポイント増加している。

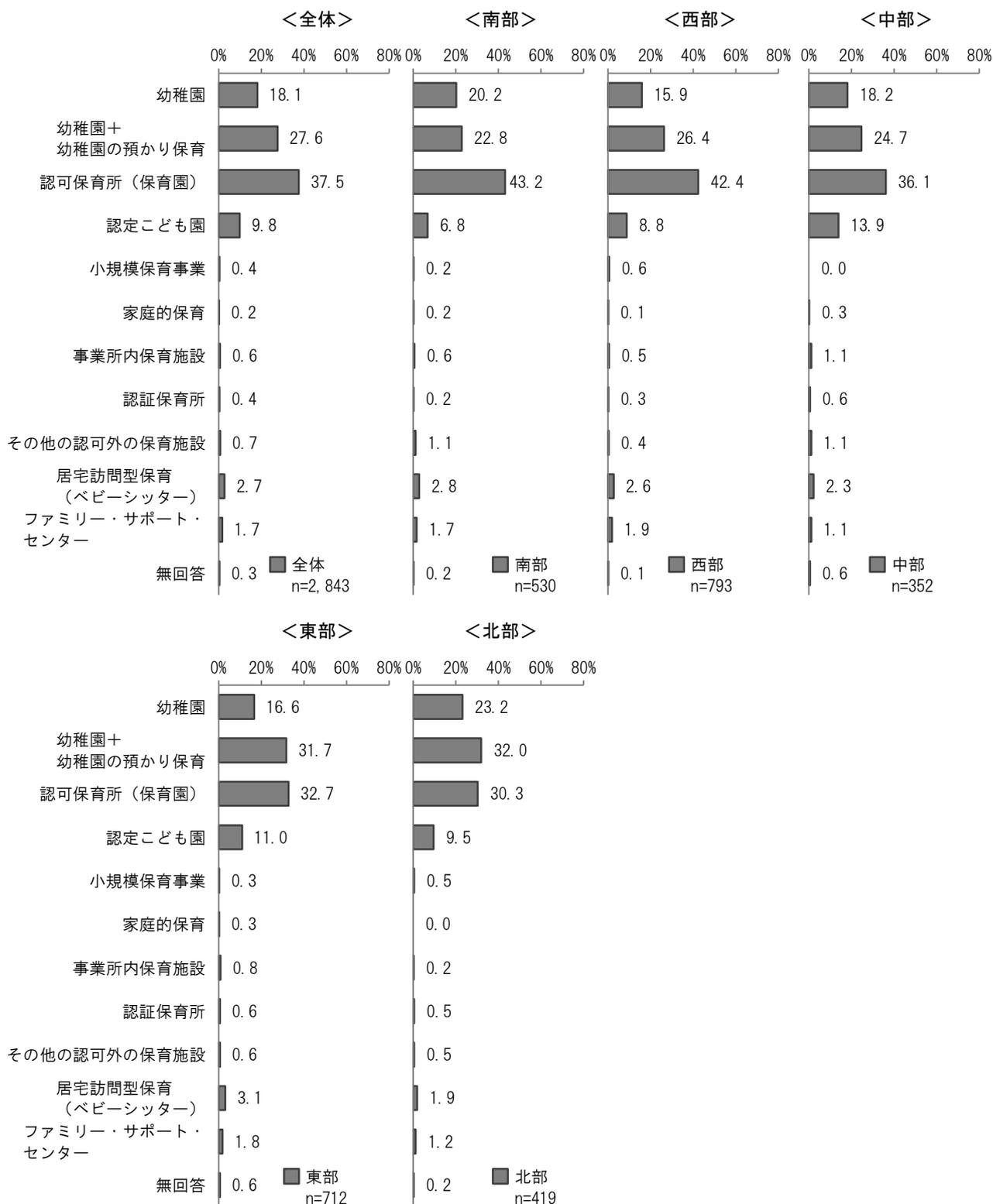
図表 3-13.2 無償化実現後にもっとも利用したい施設等と現在もっとも利用したい施設等の比較
 <年齢3区分別>



Ⅲ 就学前児童調査結果

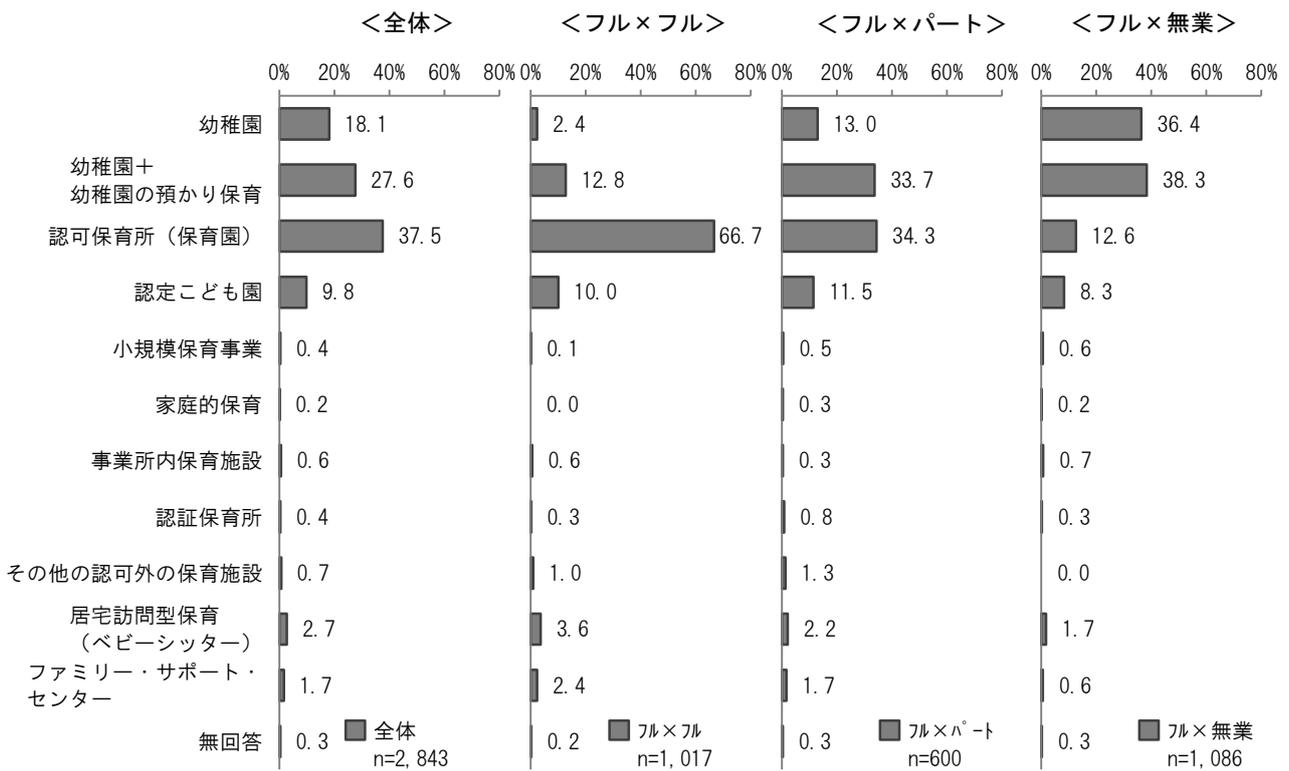
- ・無償化実現後にもっとも利用したい施設等を地区別にみると、「北部」以外の地区では「認可保育所（保育園）」がもっとも高く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」、「幼稚園」となっている。
- ・「北部」では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が32.0%ともっとも高く、次いで「認可保育所（保育園）」が30.3%となっている。
- ・「東部」「北部」では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が30%を超えている。

図表 3-13.3 無償化実現後にもっとも利用したい施設等＜地区別＞



- 無償化実現後にもっとも利用したい施設等を家庭類型別にみると、「フル×フル」では「認可保育所（保育園）」が 66.7%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 12.8%、「認定こども園」が 10.0%となっている。
- 「フル×パート」では「認可保育所（保育園）」が 34.3%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 33.7%、「幼稚園」が 13.0%となっている。
- 「フル×無業」では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 38.3%、「幼稚園」が 36.4%、「認可保育所（保育園）」が 12.6%となっている。

図表 3-13.4 無償化実現後にもっとも利用したい施設等<家庭類型別>

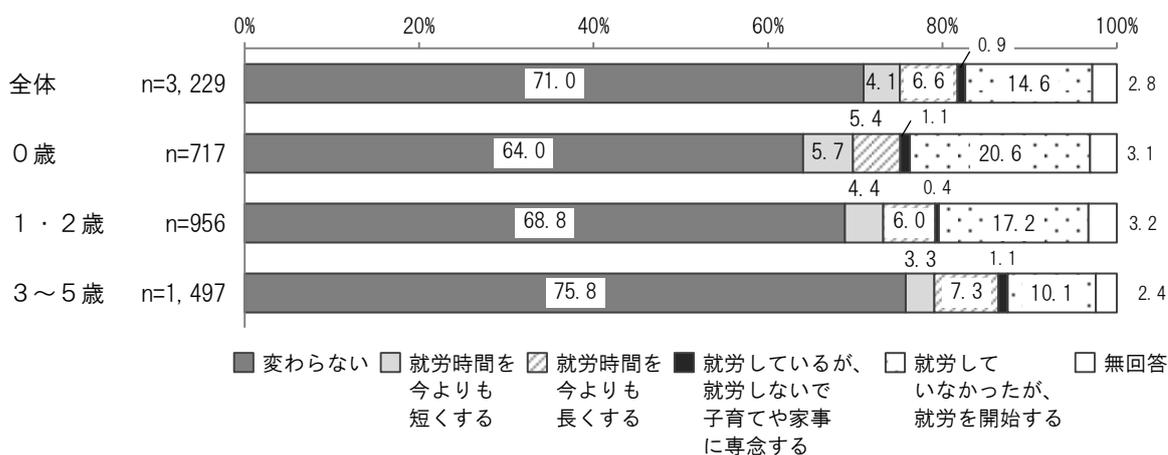


問 13-1 幼児教育・保育の無償化が実現した場合、現在の就労状況は変わりますか。
 ((1)・(2) それぞれ1つに○)

(1) お母さん

- ・無償化実現後の母親の就労状況の変化は、「変わらない」が71.0%と最も高くなっている。
- ・「就労時間を今よりも長くする」と「就労していなかったが、就労を開始する」を合わせた『就労時間を増やす』は21.2%となっている一方、「就労時間を今よりも短くする」と「就労しているが、就労しないで子育てや家事に専念する」を合わせた『就労時間を減らす』は5.0%と16.2ポイントの差となっている。
- ・年齢3区分別にみると、「0歳」では『就労時間を増やす』が26.0%、『就労時間を減らす』は6.8%と19.2ポイントの差、「1・2歳」では『就労時間を増やす』が23.2%、『就労時間を減らす』が4.8%と18.4ポイントの差となっている。

図表 3-13-1.1 【母親】無償化実現後の就労状況の変化<年齢3区分別>



- ・母親の現在の就労状況と無償化実現後に希望する就労形態の関係は、「フルタイム」では「変わらない」が85.5%となっている。「パート等」では「就労時間を今よりも長くする」が22.3%となっており、「無業」では「就労していなかったが、就労を開始する」が35.3%となっている。

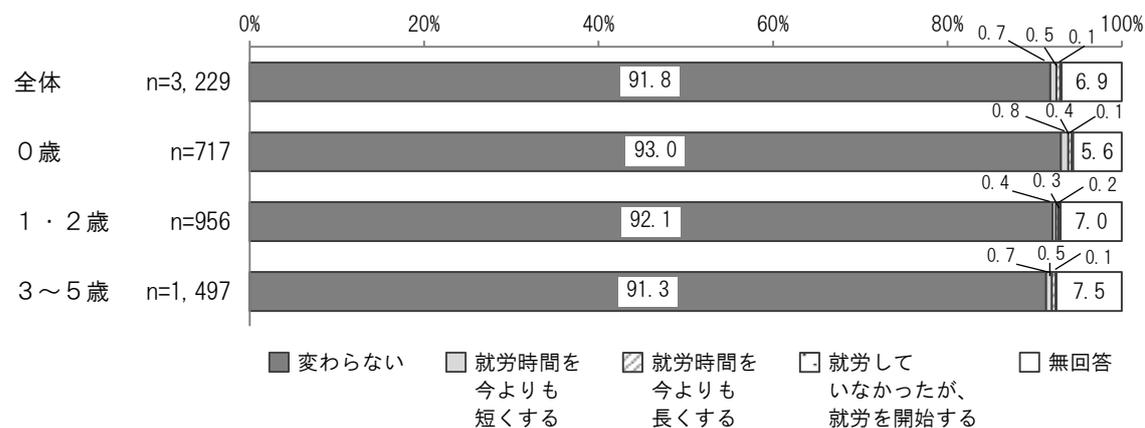
図表 3-13-1.2 【母親】問 10 (現在の就労状況) × 問 13-1 (無償化実現後に希望する就労形態) 上段：人

現在の就労状況 ↓	希望 →	変わらない	就労時間を今よりも短くする	就労時間を今よりも長くする	就労しているが、子育てや家事に専念	就労していなかったが、就労を開始	無回答
全体	3,229	2,292	134	213	29	470	91
	100.0%	71.0%	4.1%	6.6%	0.9%	14.6%	2.8%
フルタイム就労 または産休等	1,203	1,029	92	45	12	5	20
	100.0%	85.5%	7.6%	3.7%	1.0%	0.4%	1.7%
パート等就労 または産休等	714	487	32	159	14	8	14
	100.0%	68.2%	4.5%	22.3%	2.0%	1.1%	2.0%
無業	1,284	762	9	9	3	453	48
	100.0%	59.3%	0.7%	0.7%	0.2%	35.3%	3.7%
無回答	28	14	1	0	0	4	9
	100.0%	50.0%	3.6%	0.0%	0.0%	14.3%	32.1%

(2) お父さん

- ・無償化実現後の父親の就労状況の変化は、「変わらない」が91.8%となっている。
- ・年齢3区分別にみても大きな差はみられない。

図表 3-13-1.3 【父親】 無償化実現後の就労状況の変化<年齢3区分別>



※「就労しているが、就労しないで子育てや家事に専念する」(0.0%)は省略

図表 3-13-1.4 【父親】 問10 (現在の就労状況) × 問13-1 (無償化実現後に希望する就労形態) 上段：人

現在の就労状況 ↓	希望 →	変わらない	就労時間を今よりも		就労しているが、子育てや家事に専念	就労してなかったが就労を開始	無回答
			短くする	長くする			
全体	3,229	2,964	23	15	0	4	223
	100.0%	91.8%	0.7%	0.5%	0.0%	0.1%	6.9%
フルタイム就労または産休等	3,039	2,884	21	14	0	3	117
	100.0%	94.9%	0.7%	0.5%	0.0%	0.1%	3.8%
パート等就労または産休等	24	22	1	1	0	0	0
	100.0%	91.7%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無業	24	20	0	0	0	1	3
	100.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	12.5%
無回答	142	38	1	0	0	0	103
	100.0%	26.8%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	72.5%

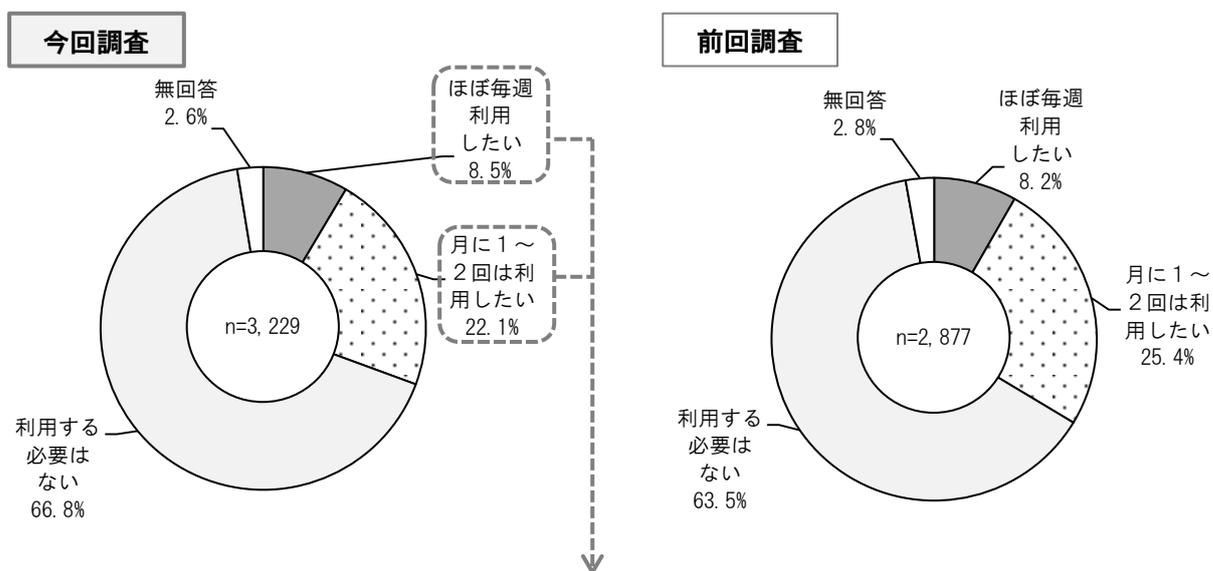
5. 土曜・休日や長期休暇中の施設等の利用について

問 14 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、施設等の定期的な利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯も記入してください。なお、一時的な利用は除きます。

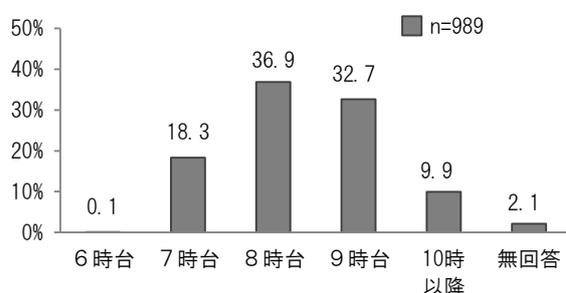
(1) 土曜日

- 土曜日の施設等の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が8.5%、「月に1～2回は利用したい」が22.1%となっている。
- 利用希望者の希望する開始時刻は「8時台」が36.9%と最も高く、次いで「9時台」が32.7%となっている。
- 希望終了時刻は、「17時台」が27.3%と最も高く、次いで「18時台」が26.6%となっている。

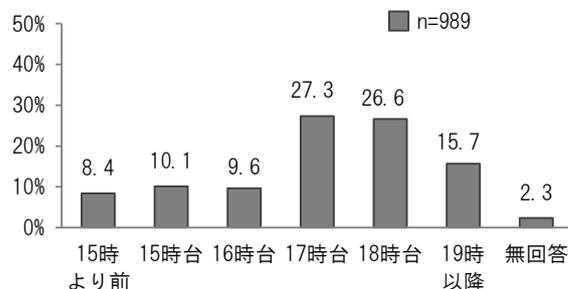
図表 3-14.1 土曜日の施設等の利用希望<経年比較>



図表 3-14.2 土曜日の利用希望開始時刻



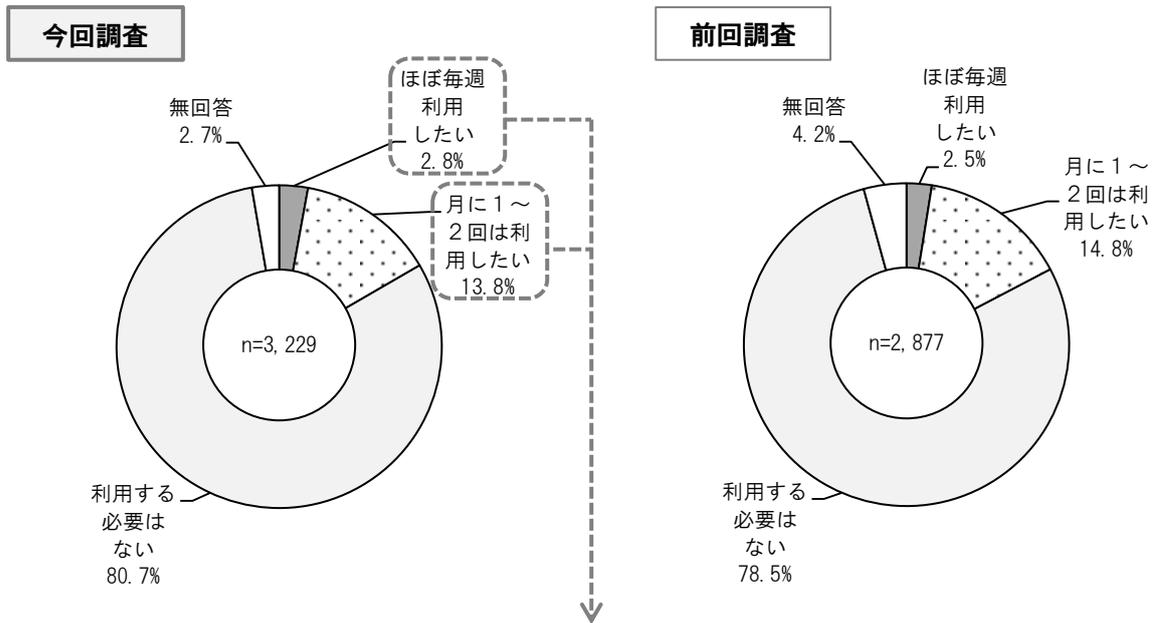
図表 3-14.3 土曜日の利用希望終了時刻



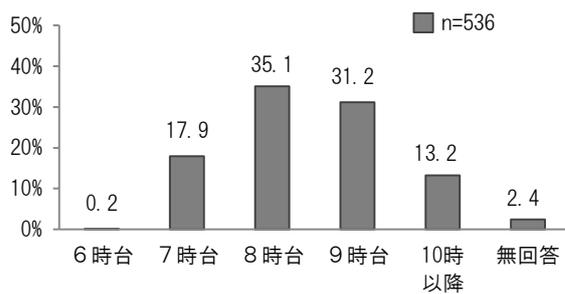
(2) 日曜日・祝日

- 日曜日・祝日の施設等の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が2.8%、「月に1～2回は利用したい」が13.8%となっている。
- 利用希望者の希望する開始時刻は「8時台」が35.1%ともっとも高く、次いで「9時台」が31.2%となっている。
- 希望終了時刻は、「17時台」が27.8%ともっとも高く、次いで「18時台」が27.6%となっている。

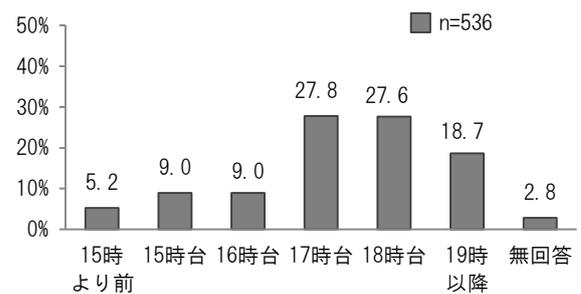
図表 3-14.4 日曜日・祝日の施設等の利用希望<経年比較>



図表 3-14.5 日曜日・祝日の利用希望開始時刻



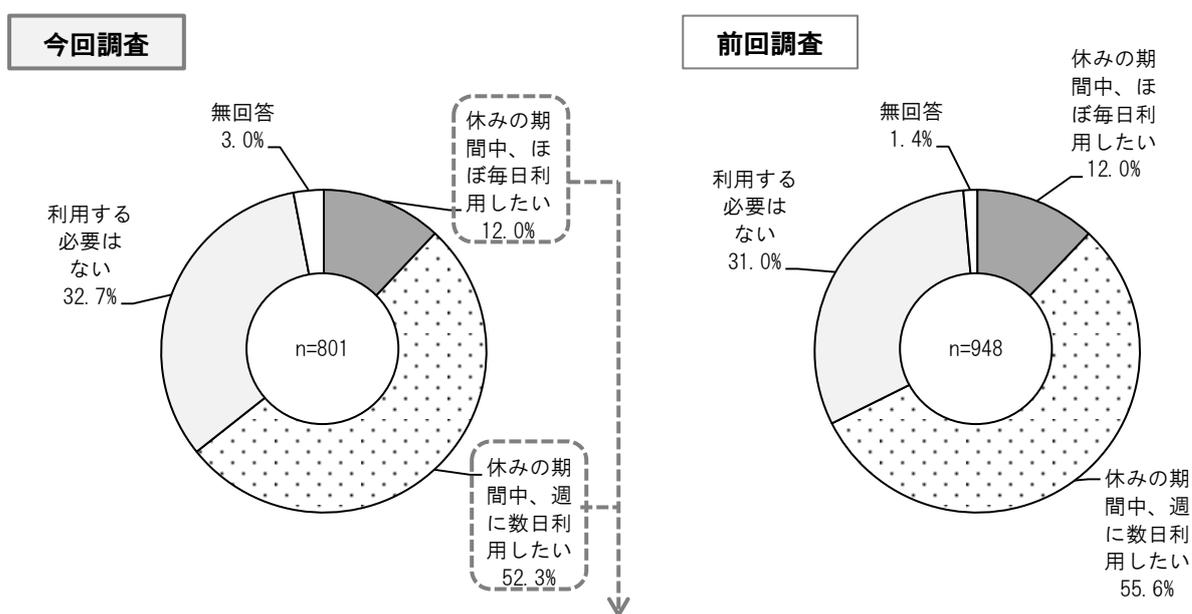
図表 3-14.6 日曜日・祝日の利用希望終了時刻



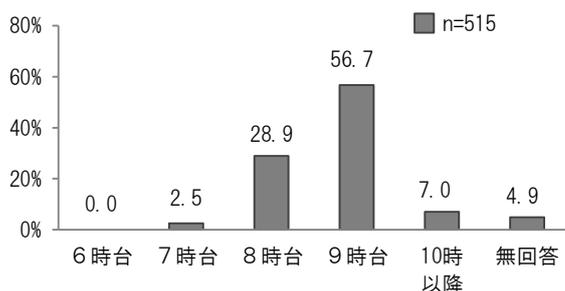
問 15 あて名のお子さんが「幼稚園」を利用している方にうかがいます。夏休み・冬休みなど長期休暇中に施設等の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯も記入してください。（1つに○）

- 長期休暇中の施設等の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」が12.0%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が52.3%となっている。
- 利用希望者の希望する開始時刻は「9時台」が56.7%ともっとも高く、次いで「8時台」が28.9%となっている。
- 希望終了時刻は、「17時台」が24.3%ともっとも高く、次いで「15時台」が23.1%となっている。

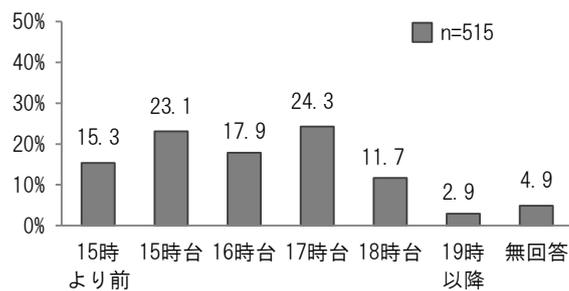
図表 3-15.1 長期休暇中の施設等の利用希望<経年比較>



図表 3-15.2 長期休暇中の利用希望開始時刻



図表 3-15.3 長期休暇中の利用希望終了時刻



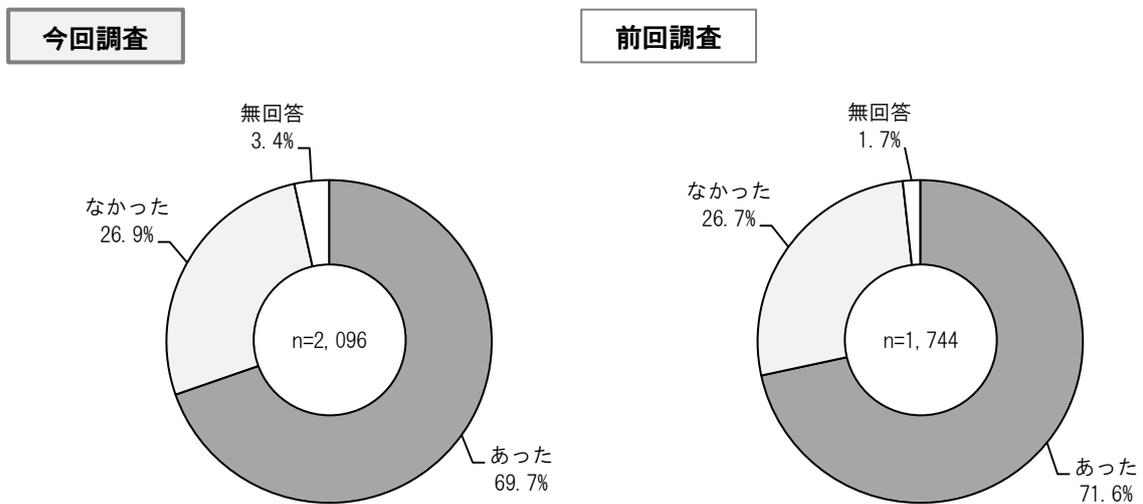
6. 病気やケガの際の対応について

【問 11 (P51) で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

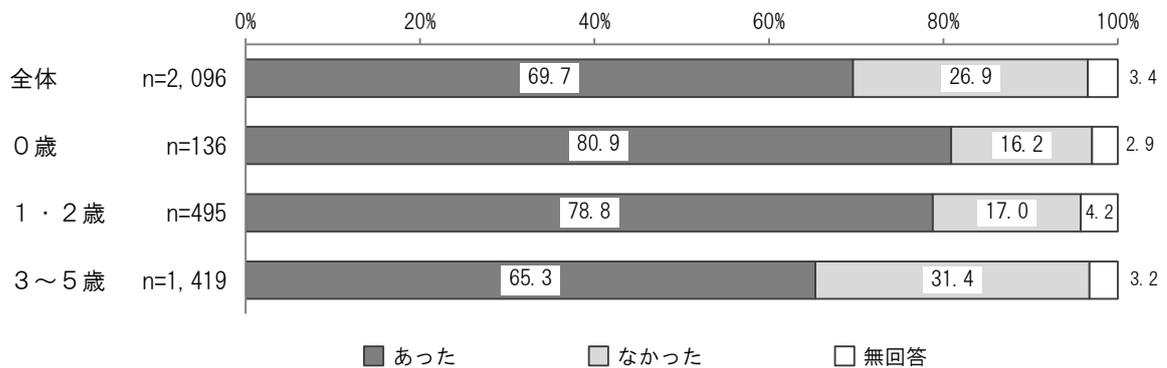
問 16 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している施設等が利用できなかったことはありますか。

- ・この1年間に子どもの病気やケガで施設等が利用できなかったことは、「あった」が69.7%となっている。
- ・前回調査と比べると、大きな差はみられない。
- ・年齢3区分別にみると、「あった」が「0歳」「1～2歳」では約80%、「3～5歳」では65.3%となっている。

図表 3-16.1 子どもの病気等で施設等の利用ができなかったこと<経年比較>

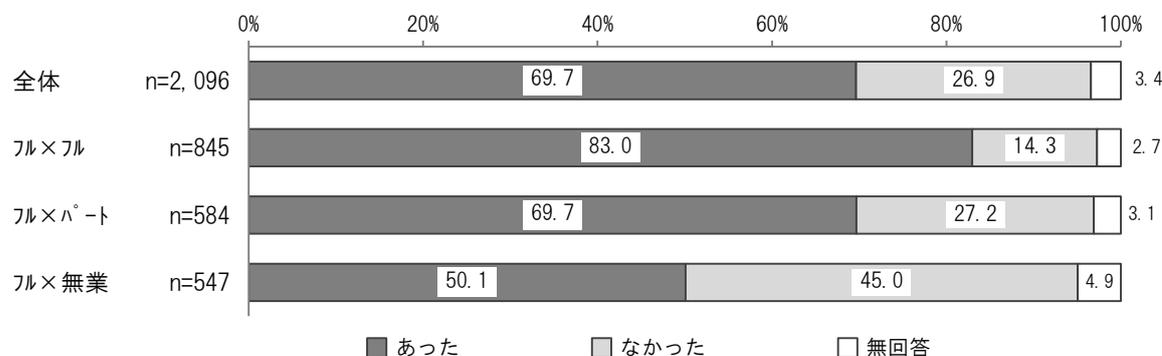


図表 3-16.2 子どもの病気等で施設等の利用ができなかったこと<年齢3区分別>



・子どもの病気やケガで施設等が利用できなかったことを家庭類型別にみると、「あった」が「フル×フル」では83.0%、「フル×パート」では69.7%、「フル×無業」では50.1%となっている。

図表 3-16.3 子どもの病気等で施設等の利用ができなかったこと<家庭類型別>

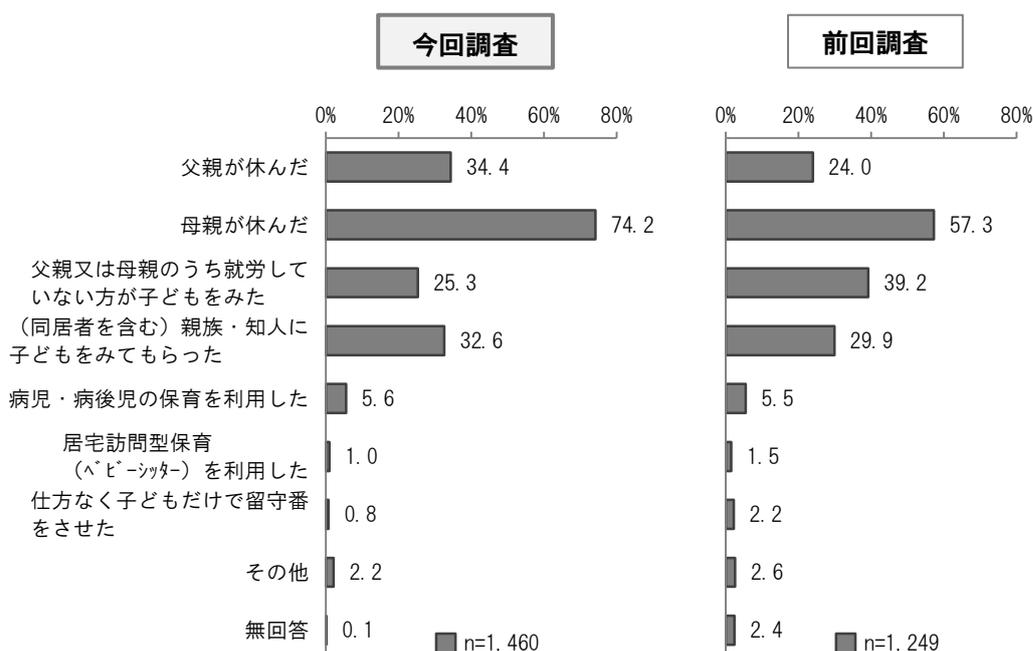


【問 16 で「あった」に○をつけた方にうかがいます。】

問 16-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している施設等が利用できなかった場合に、この1年間にどのように対処しましたか。また、それぞれの日数も記入してください（半日程度の対応の場合も1日とカウント）。（あてはまる番号すべてに○）

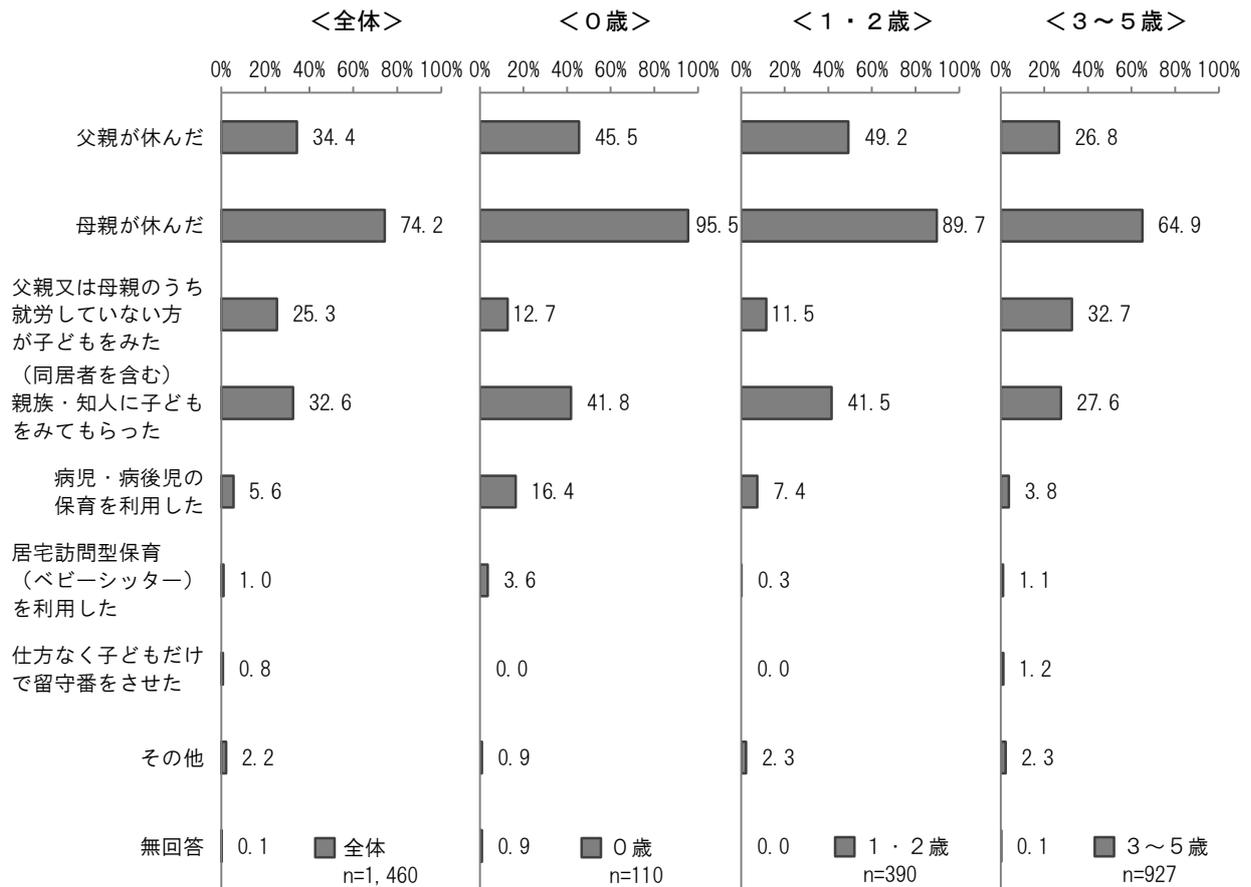
・子どもの病気やケガで施設等が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が74.2%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が34.4%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が32.6%となっている。
 ・前回調査と比べると、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が13.9ポイント減少している一方、「母親が休んだ」が16.9ポイント増加している。

図表 3-16-1.1 子どもの病気等で施設等の利用ができなかった場合の対処方法（複数回答）<経年比較>



- 子どもの病気やケガで施設等が利用できなかった場合の対処方法を年齢3区分別にみると、「母親が休んだ」が「0歳」では95.5%、「1・2歳」では89.7%となっている。「3～5歳」では「母親が休んだ」「父親が休んだ」「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が低くなり、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が32.7%と高くなっている。
- また、「0歳」では「病児・病後児の保育を利用した」が16.4%となっている。

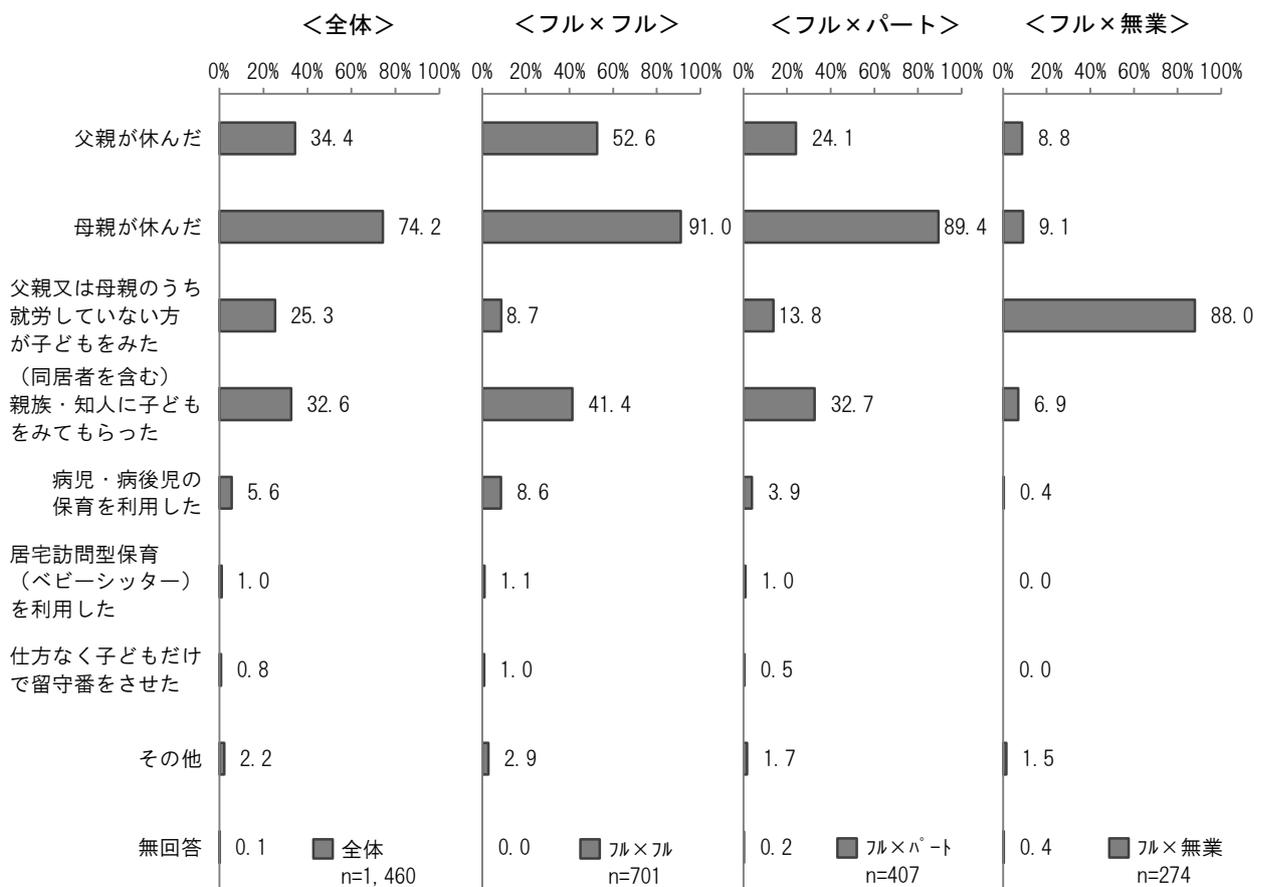
図表 3-16-1.2 子どもの病気等で施設等の利用ができなかった場合の対処方法（複数回答）＜年齢3区分別＞



Ⅲ 就学前児童調査結果

- 子どもの病気やケガで施設等が利用できなかった場合の対処方法を家庭類型別にみると、「フル×フル」では「母親が休んだ」が91.0%ともっとも高く、次いで「父親が休んだ」が52.6%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が41.4%となっている。
- 「フル×パート」では「母親が休んだ」が89.4%ともっとも高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が32.7%となっている。
- 「フル×無業」では「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が88.0%となっている。

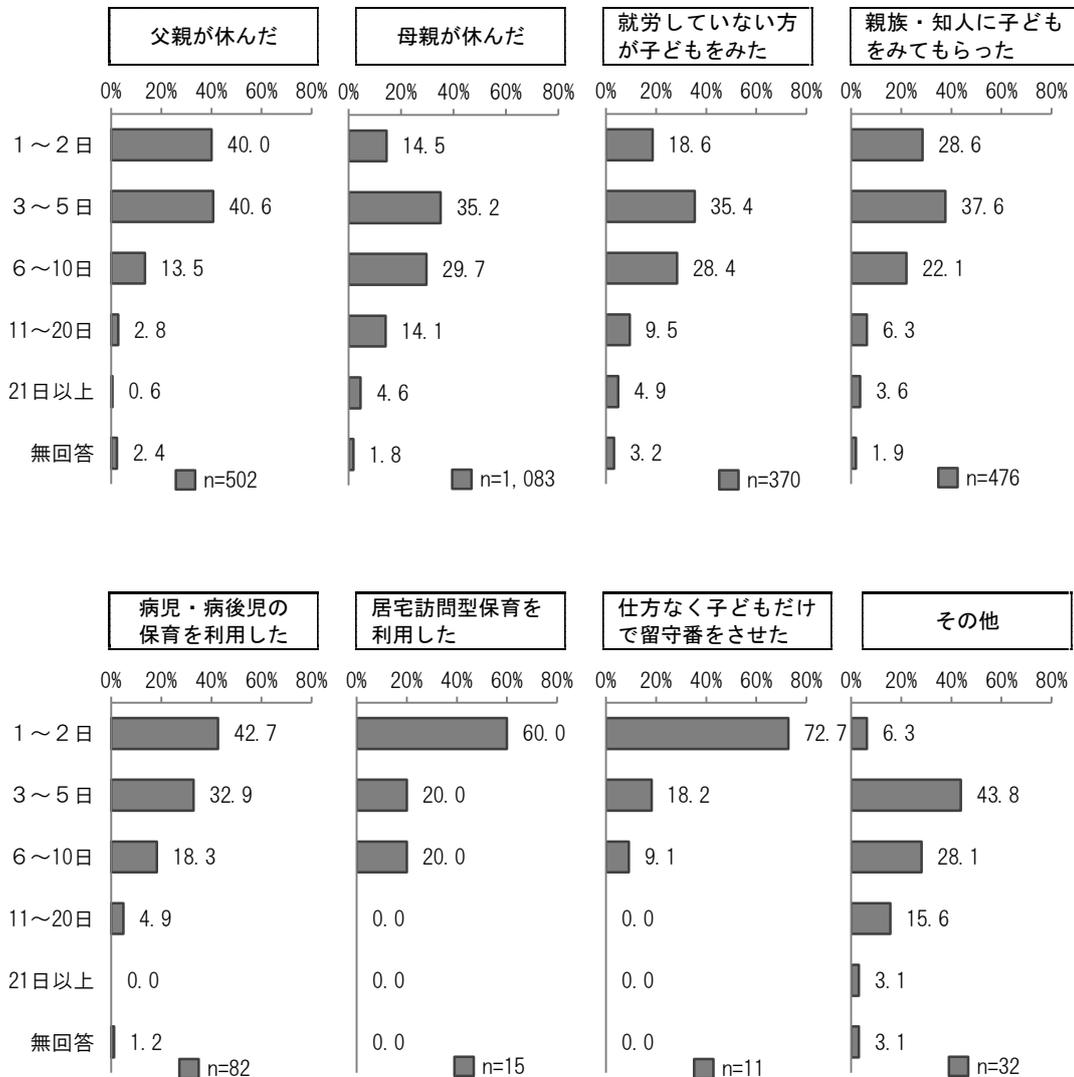
図表 3-16-1.3 子どもの病気等で施設等の利用ができなかった場合の対処方法（複数回答）＜家庭類型別＞



- 子どもの病気やケガで施設等が利用できなかった場合の対処方法別日数について、「父親が休んだ」日数は、1年に「3～5日」「1～2日」がともに約40%となっている。
- 「母親が休んだ」日数は、「3～5日」が35.2%と最も高く、次いで「6～10日」が29.7%となっている。
- 「就労していない方が子どもをみた」日数は、「3～5日」が35.4%と最も高く、次いで「6～10日」が28.4%となっている。
- 「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」日数は、「3～5日」が37.6%と最も高く、次いで「1～2日」が28.6%となっている。
- 「病児・病後児の保育を利用した」日数は、「1～2日」が42.7%と最も高く、次いで「3～5日」が32.9%となっている。

※「居宅訪問型保育を利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」「その他」はコメントを省略。

図表 3-16-1.4 子どもの病気等で施設等の利用ができなかった場合の対処方法別日数



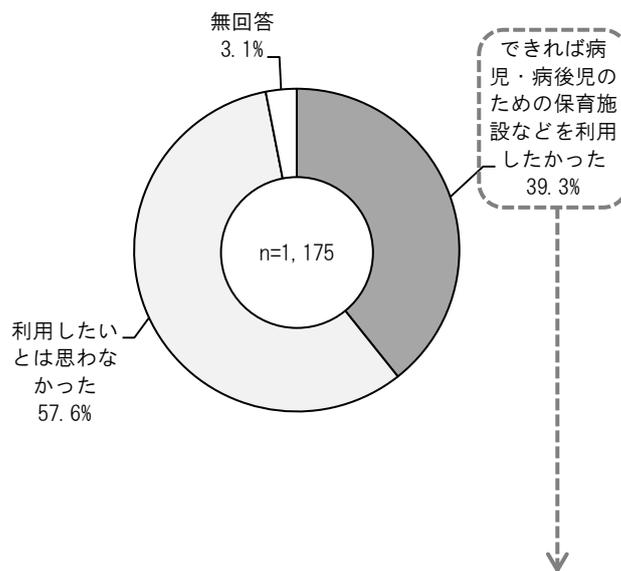
Ⅲ 就学前児童調査結果

【問 16 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に○をつけた方にうかがいます。】

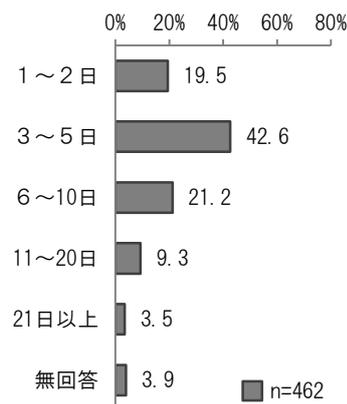
問 16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。また、日数についても記入してください。(1つに○)

- ・ 父母が休む等で対処した際に病児・病後児の保育の利用希望があったかについては、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したかった」が 39.3%となっている。
- ・ 希望日数は、「3～5日」が 42.6%と最も高く、次いで「6～10日」が 21.2%となっている。

図表 3-16-2.1 父母が休む等で対処した際の病児・病後児保育の利用希望



図表 3-16-2.2 父母が休む等で対処した際の病児・病後児保育の利用希望日数

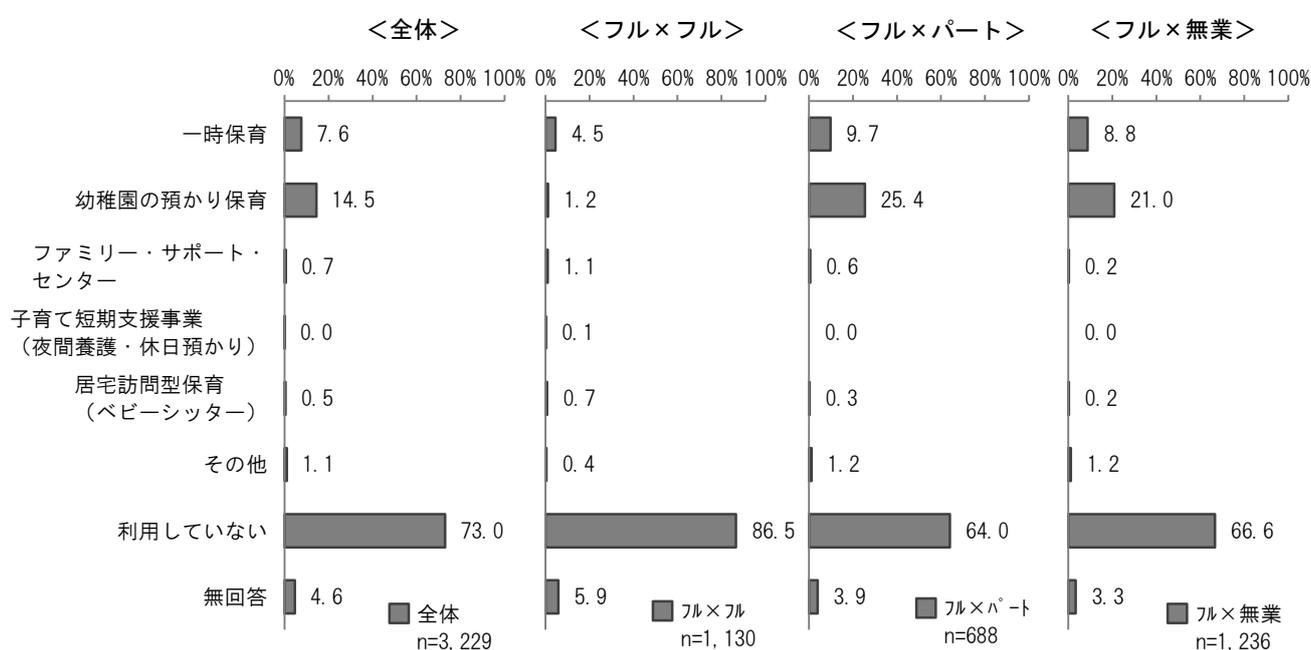


7. 一時預かりなどの利用について

問 17 あて名のお子さんについて、私用、保護者・家族の病気やケガ、就労などの目的で一時預かりなどを利用していますか。また、1年間の利用日数（おおよそ）も記入してください。（あてはまる番号すべてに○）

- ・一時預かりなどの利用状況は、「利用していない」が73.0%となっており、「幼稚園の預かり保育」が14.5%、「一時保育」が7.6%となっている。
- ・家庭類型別にみると、「利用していない」が「フル×フル」では86.5%、「フル×パート」「フル×無業」では60%台となっている。「幼稚園の預かり保育」が「フル×パート」「フル×無業」では20%を超えている。

図表 3-17.1 一時預かりなどの利用状況（複数回答）＜家庭類型別＞

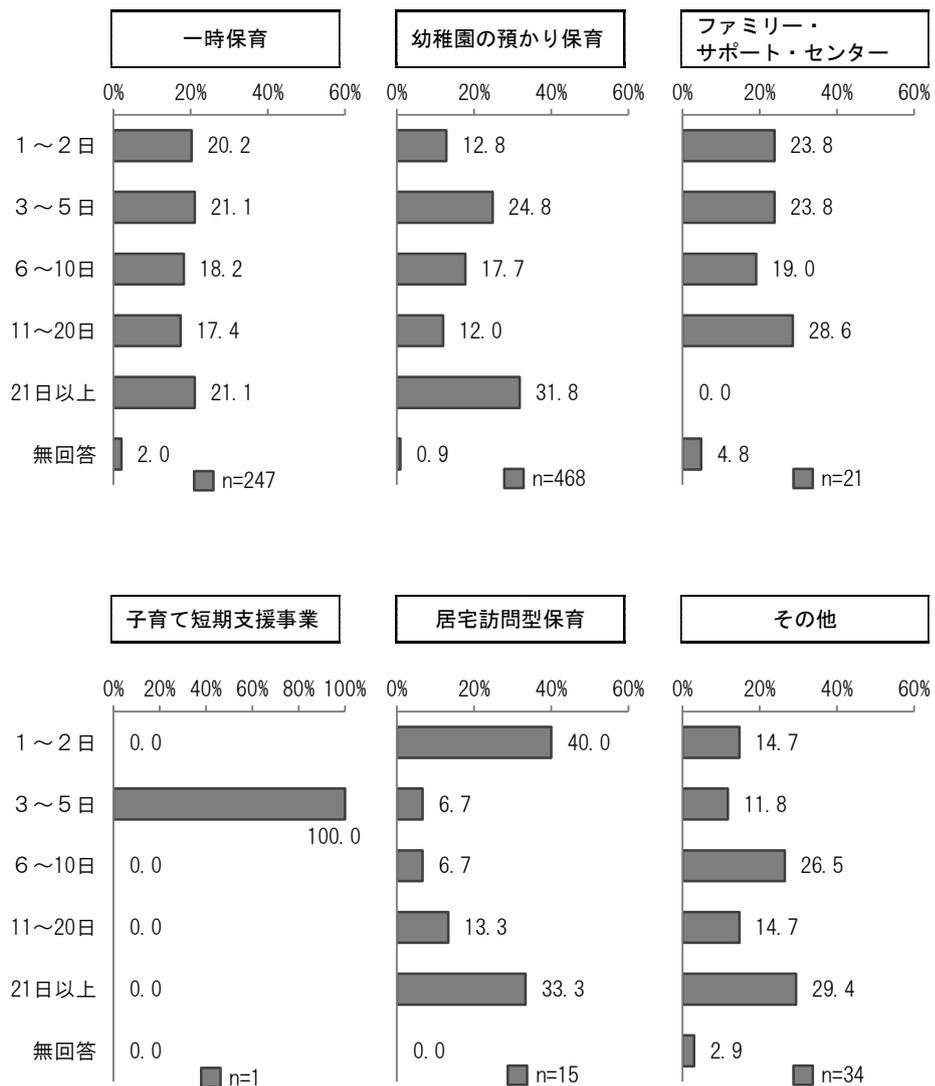


Ⅲ 就学前児童調査結果

- 1年間の「一時保育」の利用日数は、「3～5日」「21日以上」がともに21.1%となっている。
- 「幼稚園の預かり保育」の利用日数は、「21日以上」が31.8%ともっとも高く、次いで「3～5日」が24.8%となっている。
- 「ファミリー・サポート・センター」の利用日数は、「11～20日」が28.6%ともっとも高く、次いで「1～2日」「3～5日」がともに23.8%となっている。

※「子育て短期支援事業」「居宅訪問型保育」「その他」はコメントを省略。

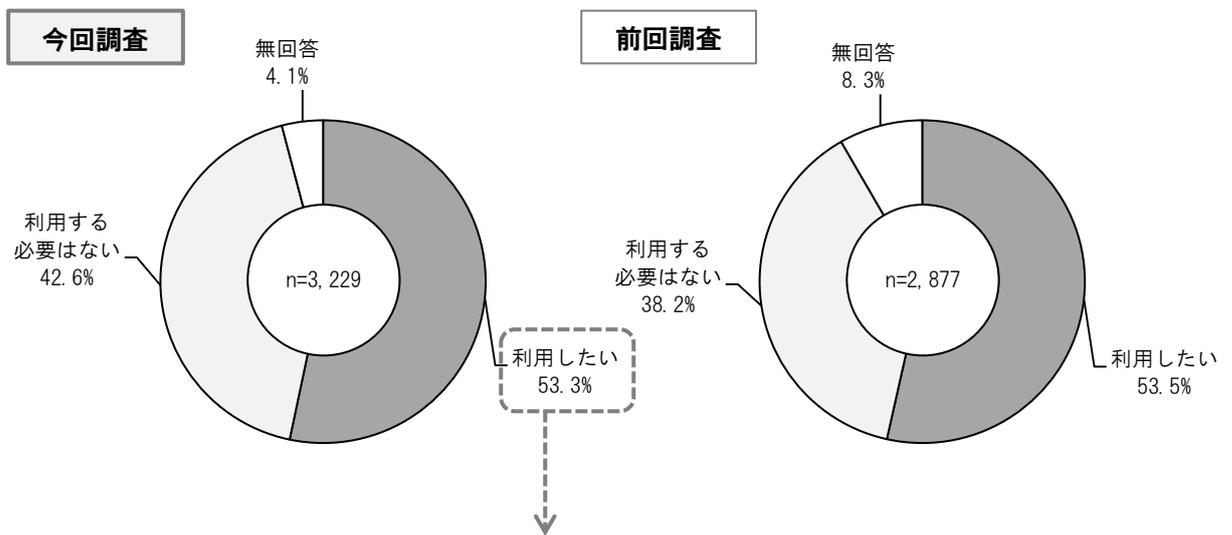
図表 3-17.2 1年間の一時預かりなどの利用日数



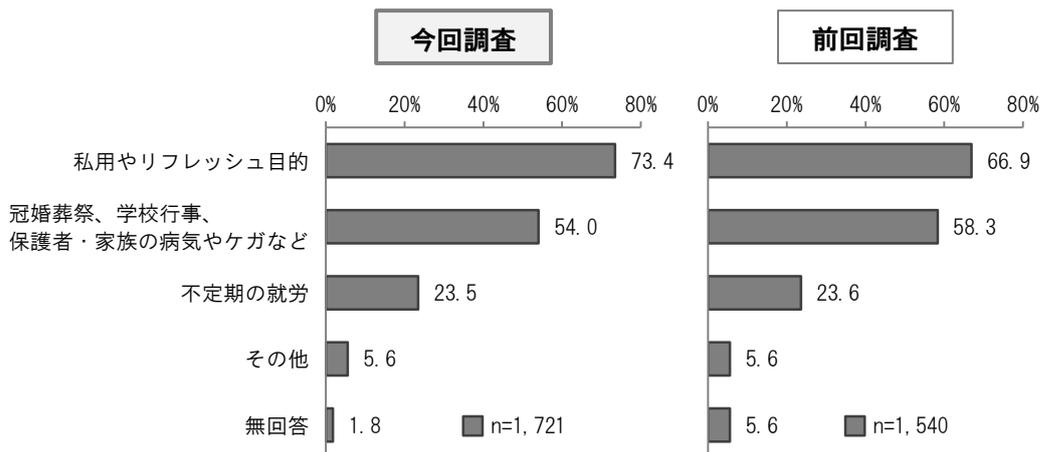
問 18 あて名のお子さんについて、私用、保護者・家族の病気やケガ、就労などの目的で一時預かりなどを利用したいですか。利用したいと思う場合は、利用目的をお答えください。また、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を記入してください。（あてはまる番号・記号に○）

- ・一時預かりなどの利用希望は、「利用したい」が53.3%となっている。
- ・一時預かりなどの利用目的は、「私用やリフレッシュ目的」が73.4%ともっとも高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、保護者・家族の病気やケガなど」が54.0%となっている。
- ・前回調査と比べると、「私用やリフレッシュ目的」が6.5ポイント増加し、「冠婚葬祭、学校行事、保護者・家族の病気やケガなど」が4.3ポイント減少している。

図表 3-18.1 一時預かりなどの利用希望<経年比較>



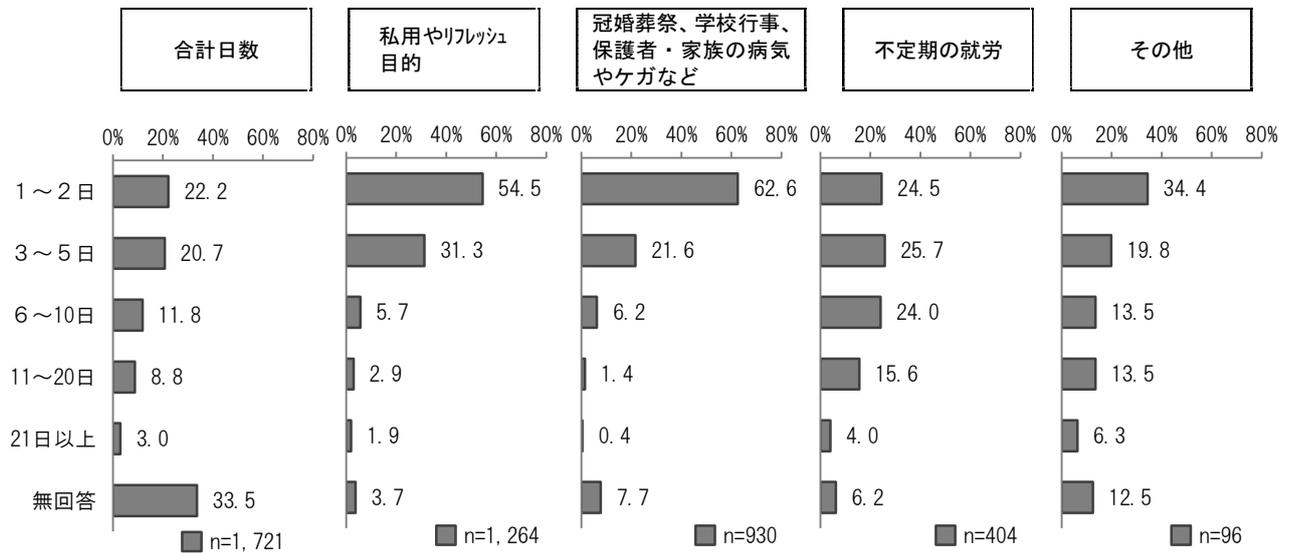
図表 3-18.2 利用目的（複数回答）<経年比較>



Ⅲ 就学前児童調査結果

・「私用やリフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、保護者・家族の病気やケガなど」の利用希望日数は、いずれも「1～2日」がもっとも高く、次いで「3～5日」となっている。
 「不定期の就労」の利用希望日数は、「3～5日」が25.7%と最も高く、次いで「1～2日」が24.5%となっている。

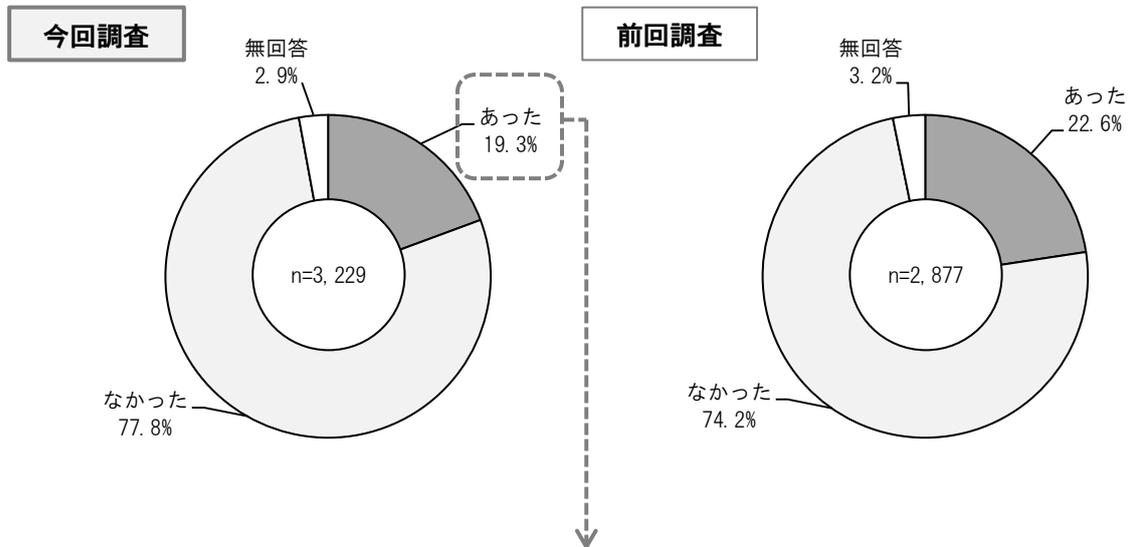
図表 3-18.3 利用希望日数



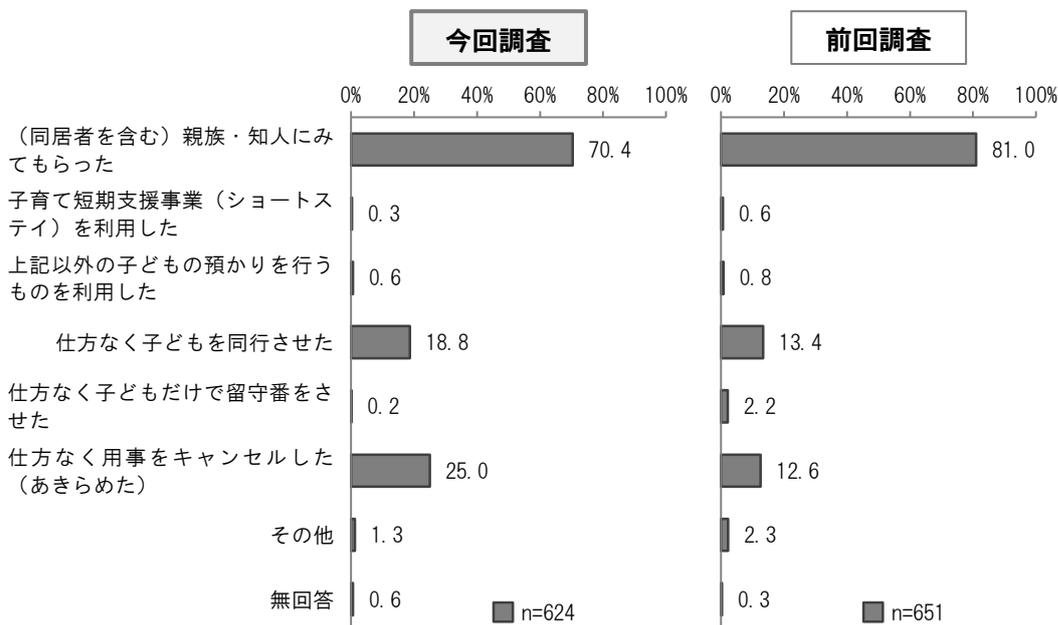
問 19 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気やケガなど）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間にどのように対処したか、それぞれの日数も記入してください。（あてはまる番号・記号に○）

- 1年間に保護者の用事で泊りがけで子どもを預けたことは、「あった」が19.3%となっている。
- 泊りがけで子どもを預けた際の対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が70.4%と最も高く、次いで「仕方なく用事をキャンセルした(あきらめた)」が25.0%となっている。
- 前回調査と比べると、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が10.6ポイント減少し、「仕方なく用事をキャンセルした(あきらめた)」が12.4ポイント増加、「仕方なく子どもを同行させた」が5.4ポイント増加している。

図表 3-19.1 泊りがけで子どもを預けたこと<経年比較>



図表 3-19.2 泊りがけで子どもを預けた際の対処方法（複数回答）<経年比較>

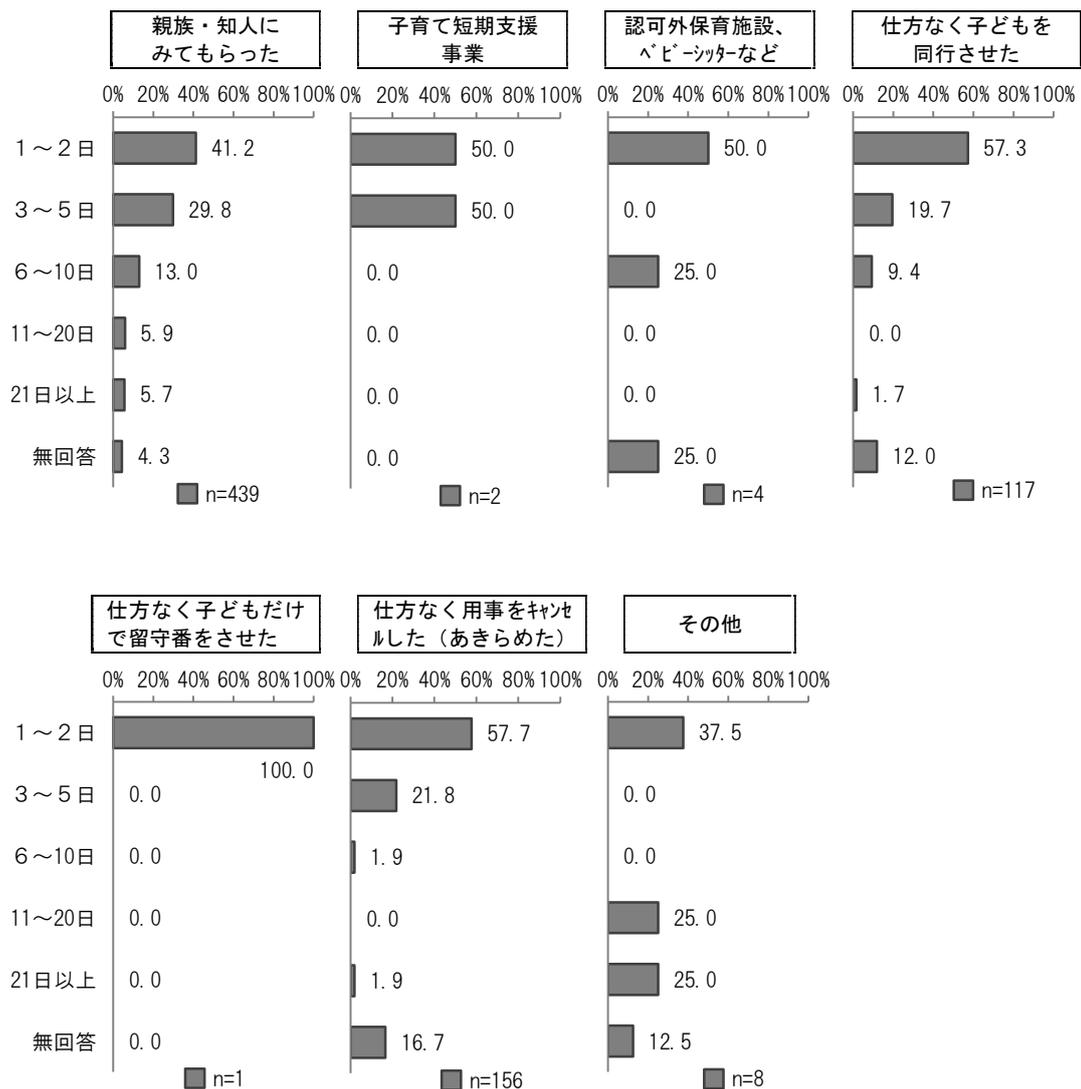


Ⅲ 就学前児童調査結果

- ・泊りがけで子どもを預けた際の対処方法別の日数は、「親族・知人にみてもらった」では「1～2日」が41.2%ともっとも高く、次いで「3～5日」が29.8%となっている。
- ・「仕方なく子どもを同行させた」では「1～2日」が57.3%ともっとも高く、次いで「3～5日」が19.7%となっている。
- ・「仕方なく用事をキャンセルした（あきらめた）」では「1～2日」が57.7%ともっとも高く、次いで「3～5日」が21.8%となっている。

※「子育て短期支援事業」「認可外保育施設、ベビーシッターなど」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」「その他」はコメントを省略。

図表 3-19.3 対処方法別日数



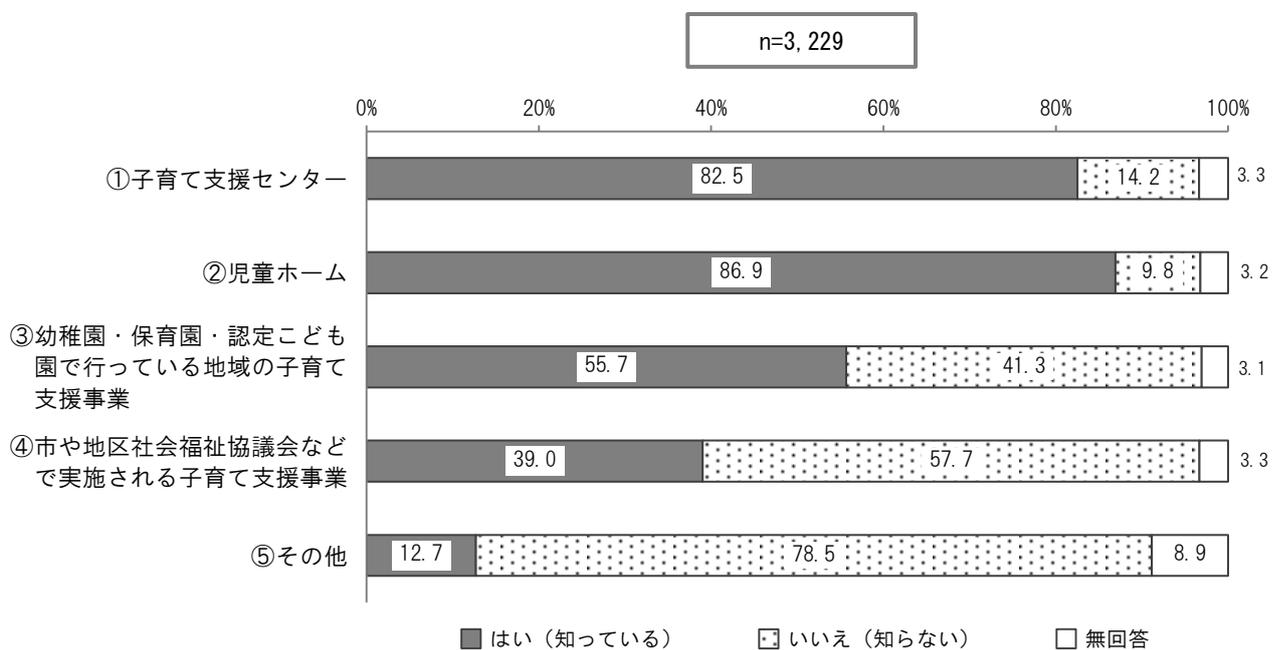
8. 地域の子育て支援事業の利用について

- 問 20 あて名のお子さんは、現在、地域の子育て支援事業を利用していますか。
 ①～③のCで「いいえ」に○をつけた方は、理由も記入してください。また、B・Cで「はい」に○をつけた方は、B・Cの空欄に1ヶ月あたりの回数を記入してください。（①～⑤ごとに、A、B、Cそれぞれ1つに○）

A 知っている

・地域の子育て支援事業の認知度（「知っている」の割合）は、「①子育て支援センター」が82.5%、「②児童ホーム」が86.9%と80%を超えている。

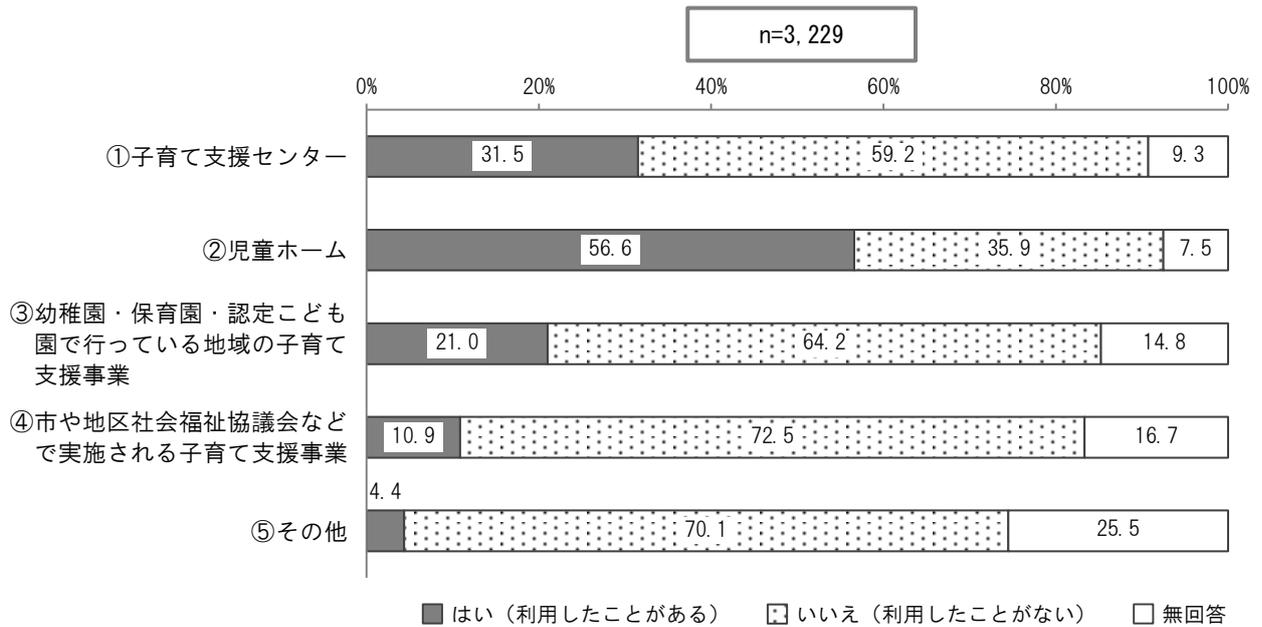
図表 3-20.1 子育て支援事業の認知度



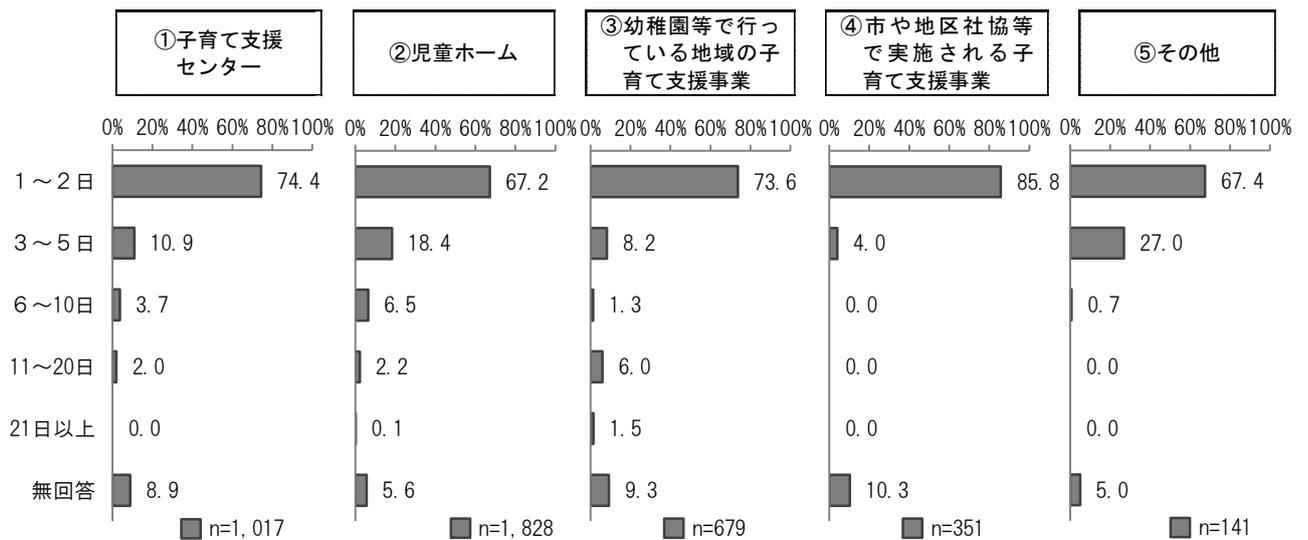
B これまでに利用したことがある

- ・地域の子育て支援事業の利用状況（「利用したことがある」の割合）は、「②児童ホーム」が56.6%ともっとも高くなっている。「①子育て支援センター」は、認知度が80%を超えるものの、利用状況は31.5%となっている。
- ・1ヶ月あたりの利用回数は、いずれも「1～2日」がもっとも高くなっており、「児童ホーム」では「3～5日」が18.4%となっている。

図表 3-20.2 子育て支援事業の利用状況



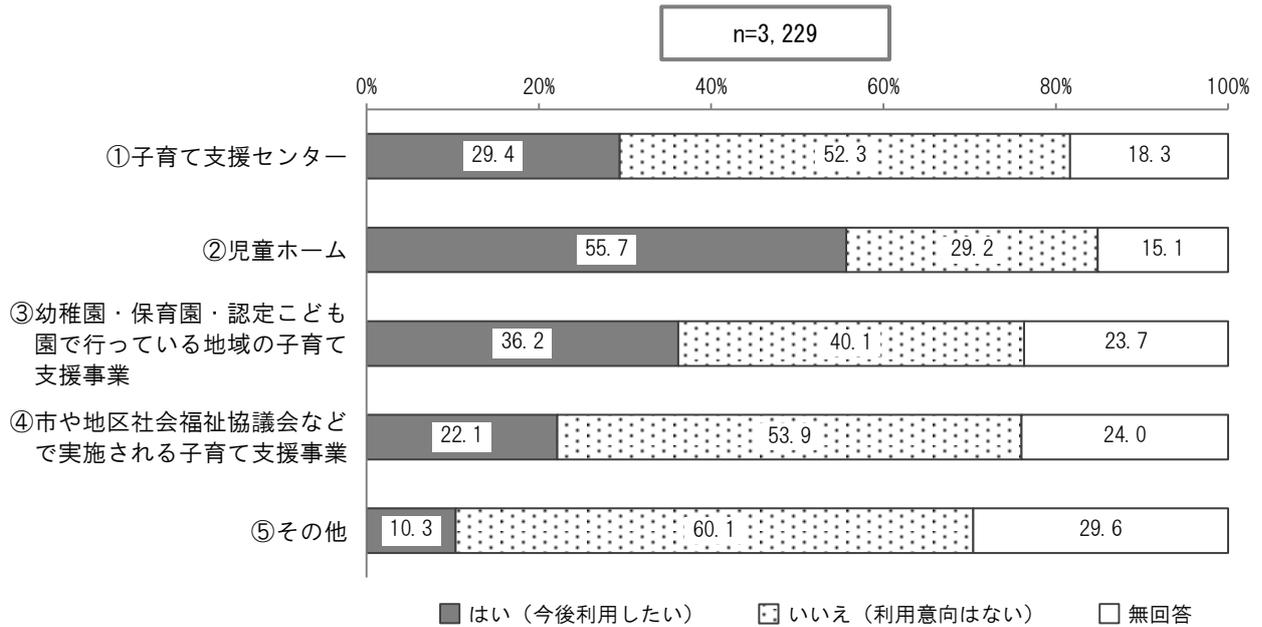
図表 3-20.3 1ヶ月あたり利用回数



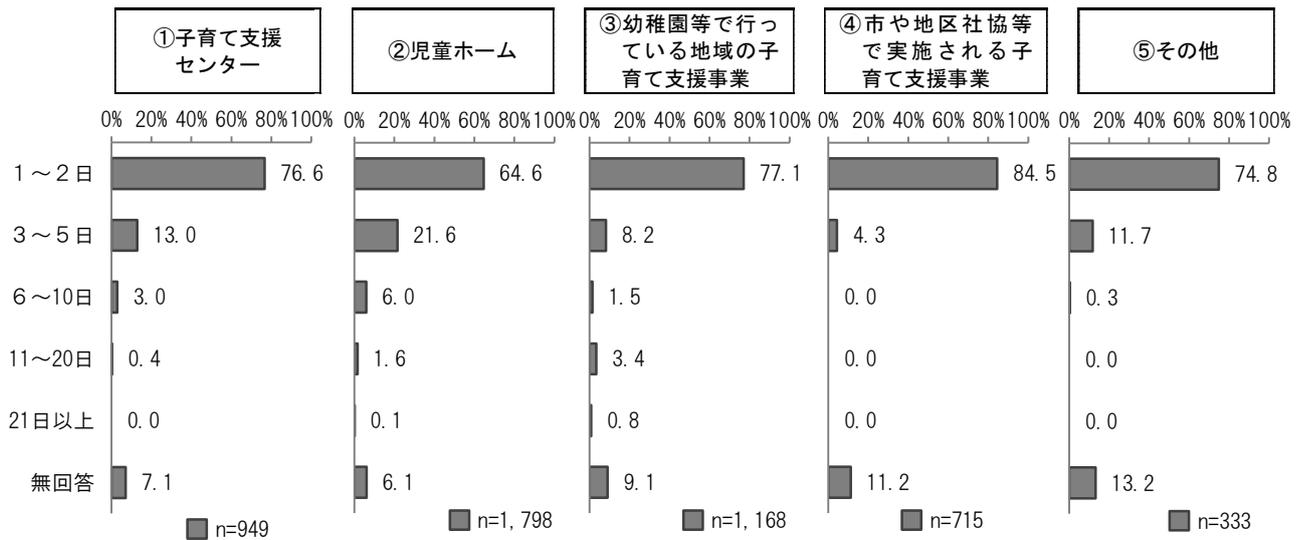
C 今後利用したい+現在も利用しているが、今後も利用したい

- 地域の子育て支援事業の利用希望(「今後利用したい」の割合)は、「②児童ホーム」が55.7%と最も高く、次いで「③幼稚園・保育園・認定こども園で行っている地域の子育て支援事業」が36.2%、「①子育て支援センター」が29.4%となっている。
- 1ヶ月あたりの利用希望回数は、いずれも「1～2日」がもっとも高くなっており、「児童ホーム」では「3～5日」が21.6%と他の事業より高くなってきている。

図表 3-20.4 子育て支援事業の利用希望



図表 3-20.5 1ヶ月あたり利用回数



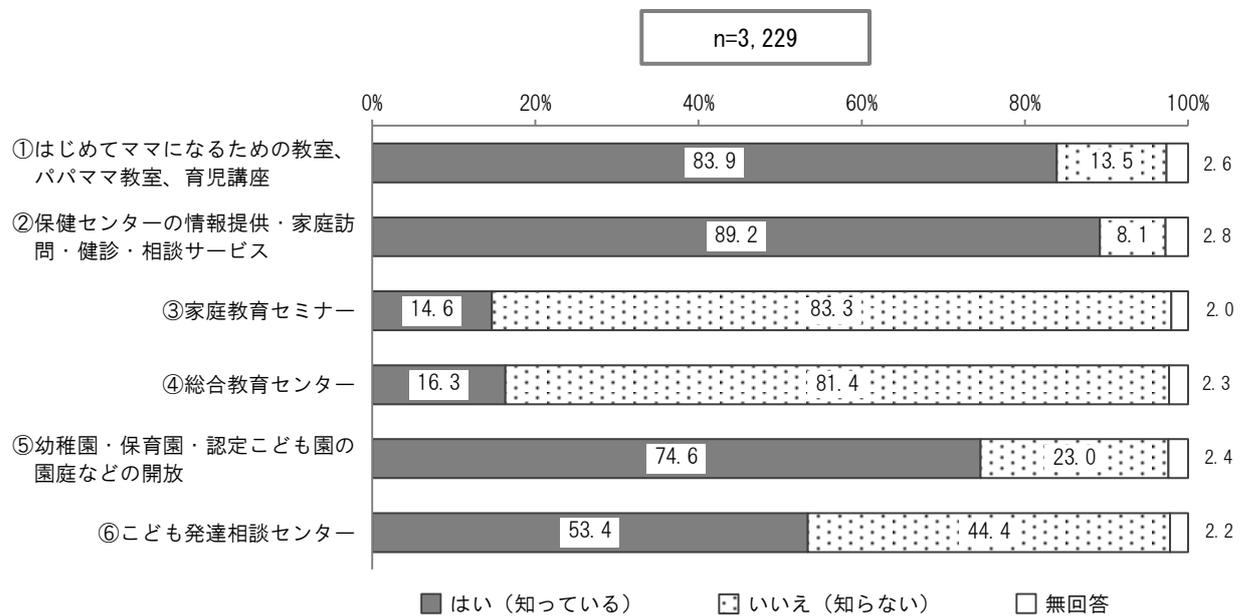
問 21 以下の①～⑥で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、また、今後利用したいと思うものはありますか。

(①～⑥ごとに、A、B、Cそれぞれ1つに○)

A 知っている

・子育て関係のサービス等の認知度（「知っている」の割合）は、「①はじめてママになるための教室、パパママ教室、育児講座」が83.9%、「②保健センターの情報提供・家庭訪問・健診・相談サービス」が89.2%と80%を超えている。
 ・一方、「③家庭教育セミナー」は14.6%、「④総合教育センター」は16.3%と、認知度が10%台となっている。

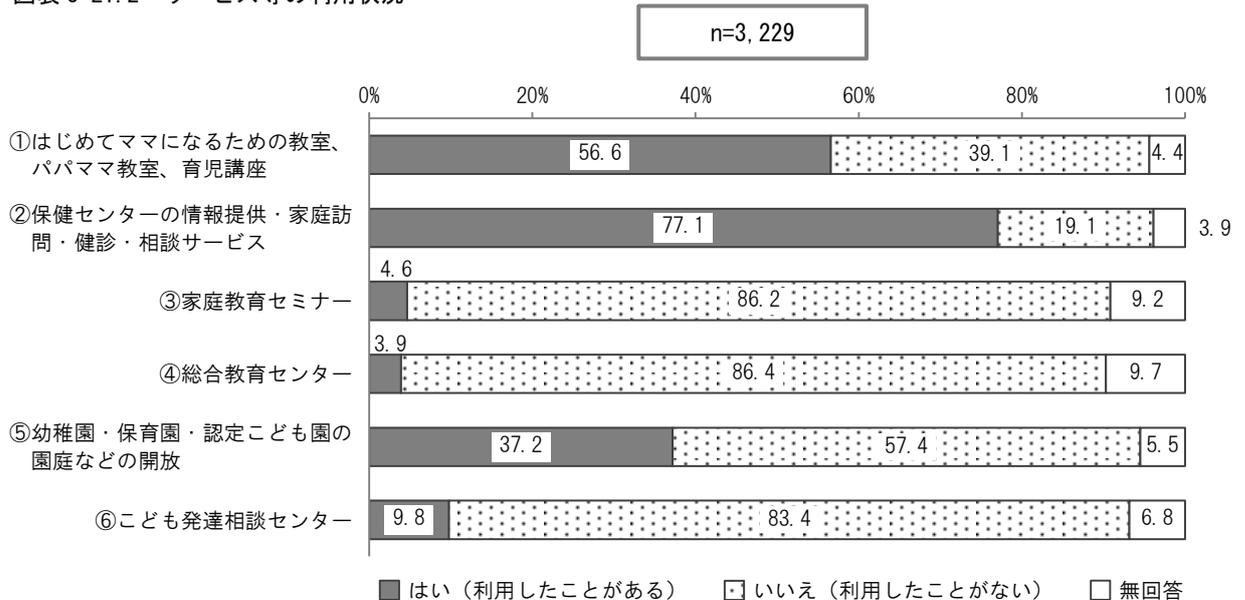
図表 3-21.1 サービス等の認知度



B これまでに利用したことがある

- 子育て関係のサービス等の利用割合（「利用したことがある」の割合）は、「②保健センターの情報提供・家庭訪問・健診・相談サービス」が77.1%、「①はじめてママになるための教室、パパママ教室、育児講座」が56.6%となっている。
- 一方、「③家庭教育セミナー」は4.6%、「④総合教育センター」は3.9%と、利用割合が5%を下回っている。

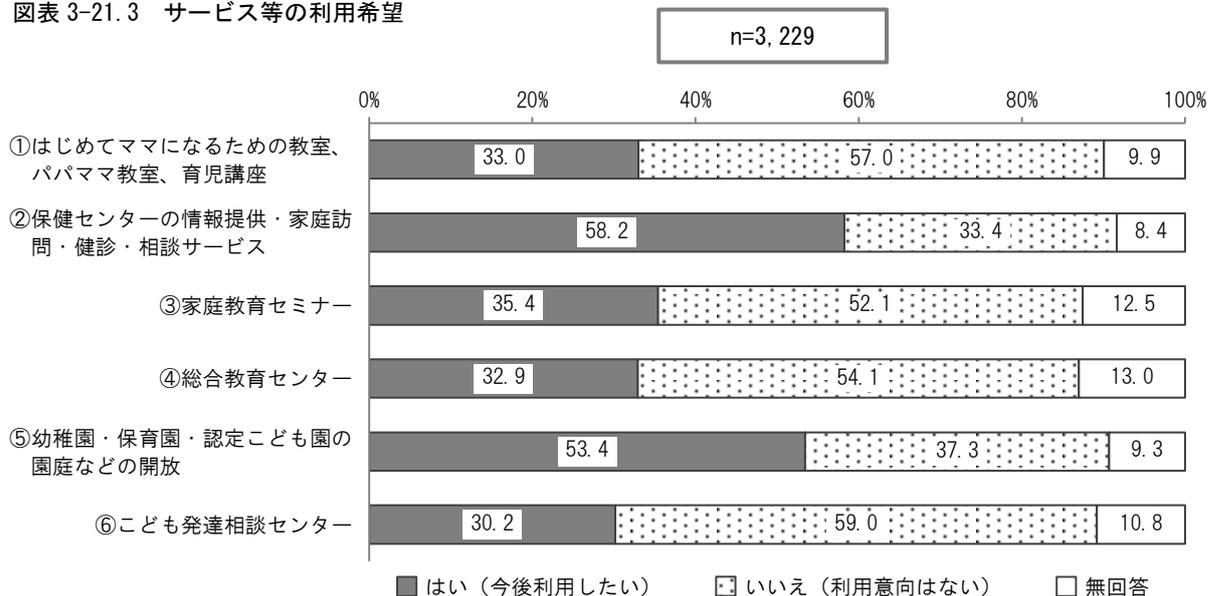
図表 3-21.2 サービス等の利用状況



C 今後利用したい+現在も利用しているが、今後も利用したい

- 子育て関係のサービス等の利用希望（「今後利用したい」）の割合は、「②保健センターの情報提供・家庭訪問・健診・相談サービス」が58.2%、「⑤幼稚園・保育園・認定こども園の園庭などの開放」が53.4%と50%を超えている。
- それ以外のサービス等の利用希望は30%台となっている。

図表 3-21.3 サービス等の利用希望



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳以上）

【あて名のお子さんが5歳以上である方】

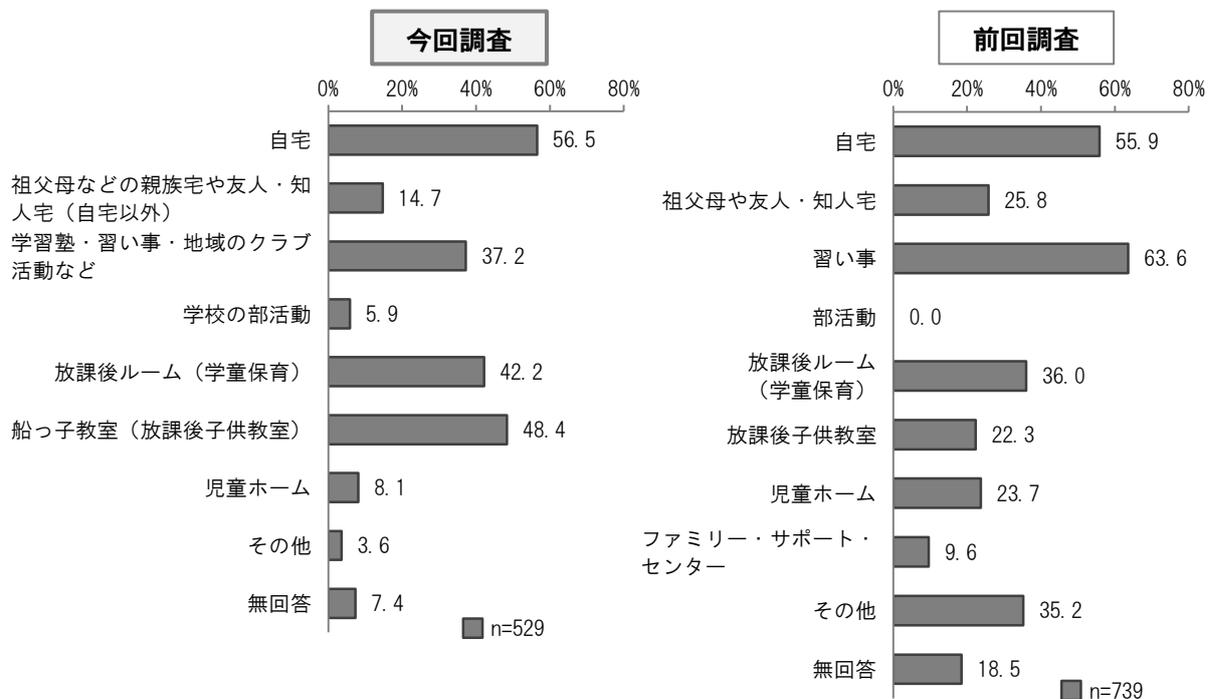
問 22 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、主にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（（1）・（2）それぞれあてはまる番号3つまでに○）

（1）小学校低学年（1～3年生）のうちの利用希望

- 低学年のうちに放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」が56.5%ともっとも高く、次いで「船っ子教室（放課後子供教室）」が48.4%、「放課後ルーム（学童保育）」が42.2%となっている。
- 前回調査は設問内容が異なるため参考比較とするが、「習い事」が63.6%ともっとも高く、次いで「自宅」が55.9%、「放課後ルーム（学童保育）」が36.0%となっている。

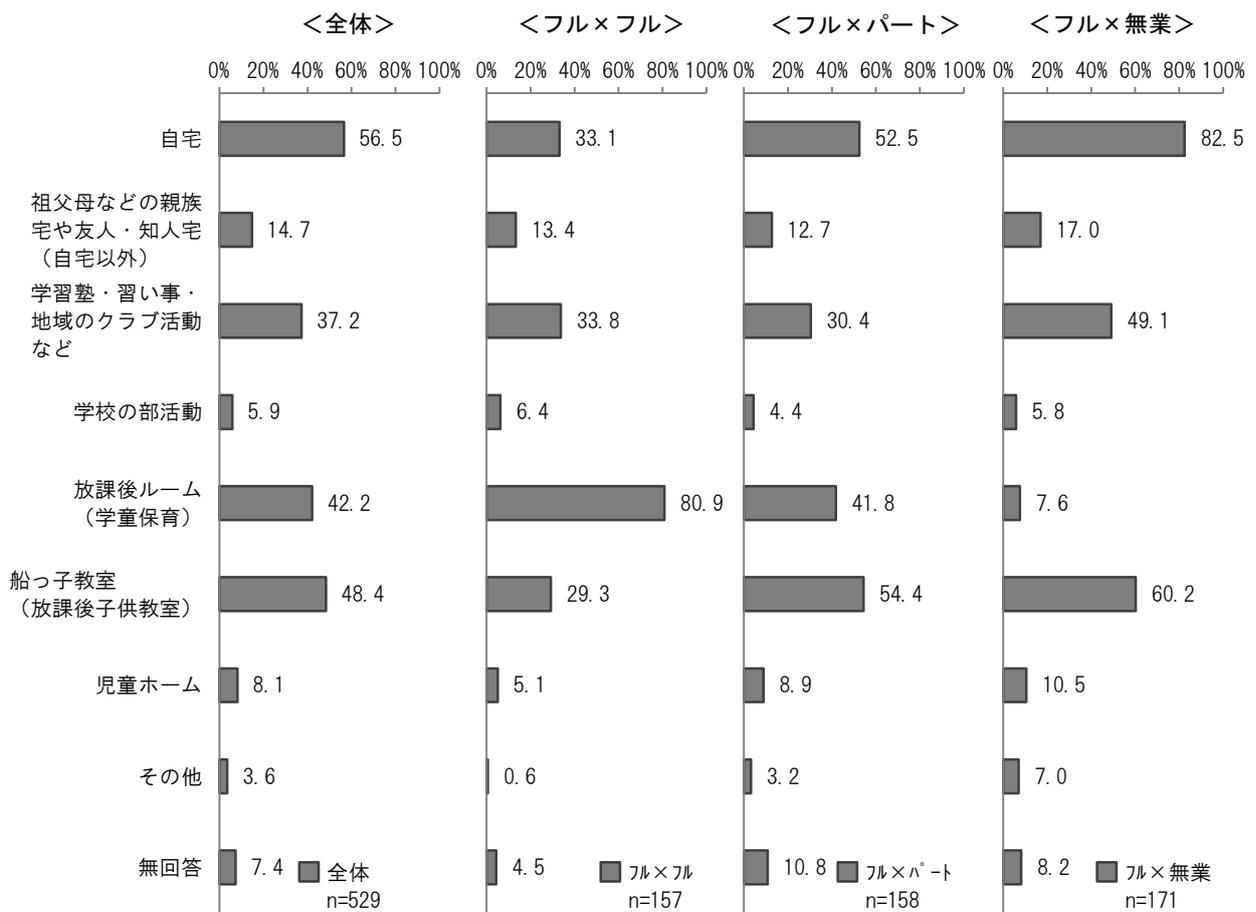
図表 3-22.1 低学年のうち、放課後過ごさせたい場所（3つまで）＜経年比較＞



※前回調査は、あてはまる番号すべてに○

- 低学年のうち放課後を過ごさせたい場所を家庭類型別にみると、「フル×フル」では「放課後ルーム（学童保育）」が80.9%と最も高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が33.8%となっている。
- 「フル×パート」では「船っ子教室（放課後子供教室）」が54.4%と最も高く、次いで「自宅」が52.5%となっている。
- 「フル×無業」では「自宅」が82.5%と最も高く、次いで「船っ子教室（放課後子供教室）」が60.2%となっている。

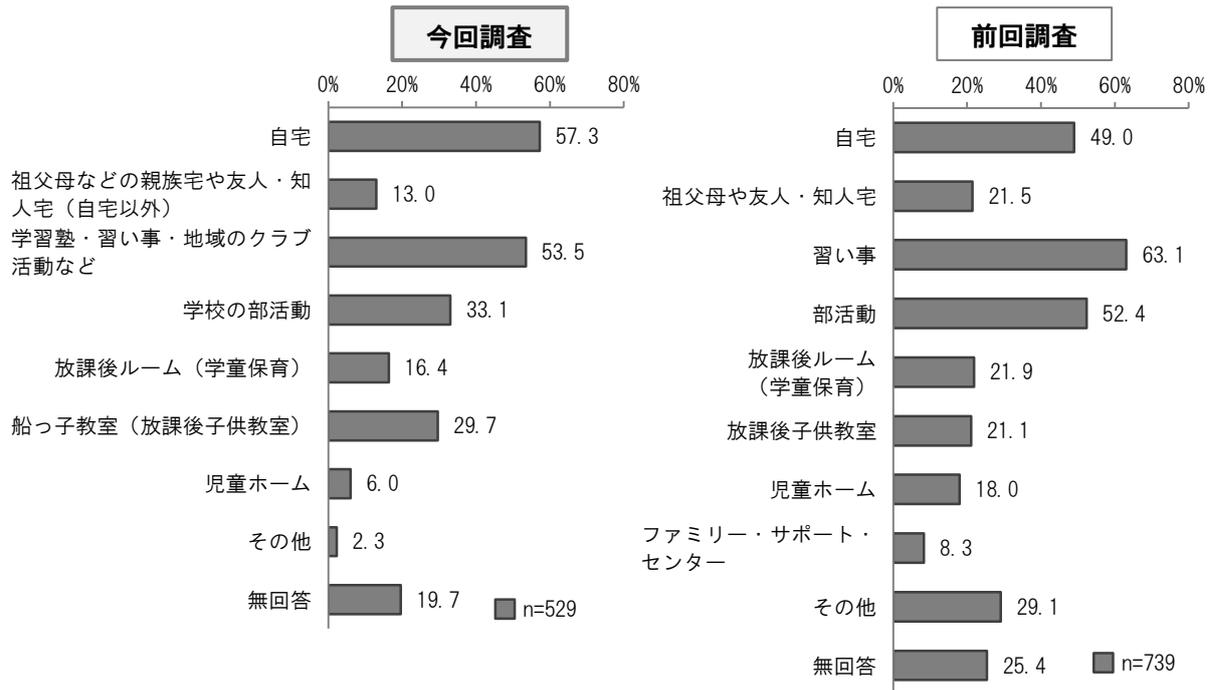
図表 3-22.2 低学年のうち、放課後過ごさせたい場所（3つまで）＜家庭類型別＞



(2) 小学校高学年（4～6年生）のうちの利用希望

- ・高学年のうちに放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」が57.3%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が53.5%、「学校の部活動」が33.1%となっている。
- ・前回調査は設問内容が異なるため参考比較とするが、「習い事」が63.1%ともっとも高く、次いで「部活動」が52.4%、「自宅」が49.0%となっている。

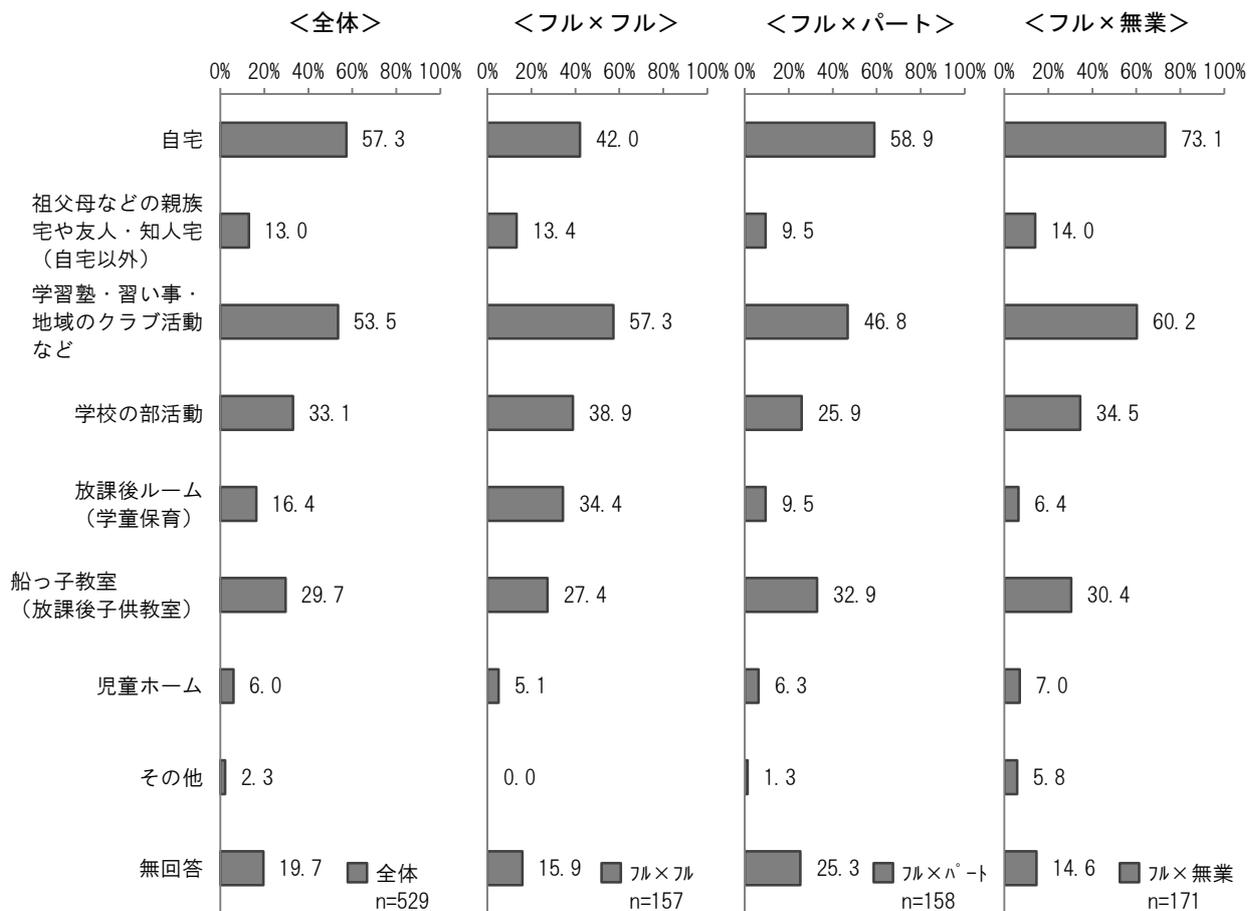
図表 3-22.3 高学年のうち、放課後過ごさせたい場所（3つまで）＜経年比較＞



※前回調査は、あてはまる番号すべてに○

- 高学年のうち放課後を過ごさせたい場所を家庭類型別にみると、「フル×フル」では「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が57.3%と最も高く、次いで「自宅」が42.0%となっている。また、「放課後ルーム（学童保育）」が34.4%と他の家庭類型に比べて高くなっている。
- 「フル×パート」では「自宅」が58.9%と最も高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が46.8%となっている。
- 「フル×無業」では「自宅」が73.1%と最も高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が60.2%となっている。

図表 3-22.4 高学年のうち、放課後過ごさせたい場所（3つまで）＜家庭類型別＞



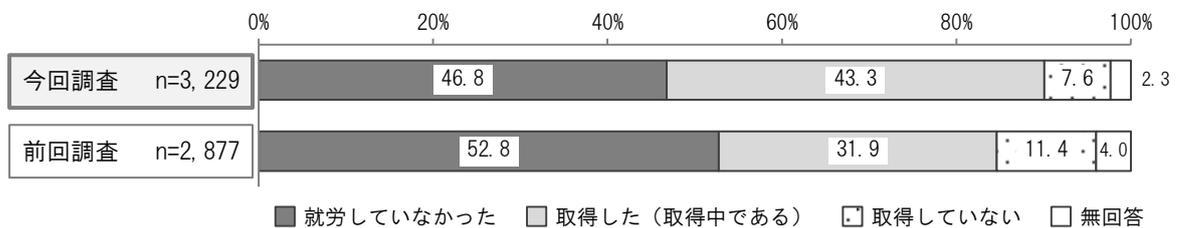
10. 育児休業など、職場の支援制度について

問 23 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。((1)・(2) それぞれ1つに〇)

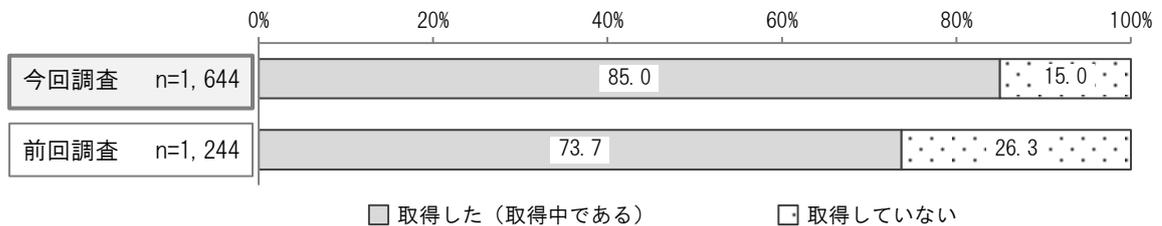
(1) お母さん

- ・母親の育児休業の取得状況は、「取得した(取得中である)」が43.3%、「取得していない」が7.6%となっており、「取得した(取得中である)」は、「就労していなかった」と「無回答」を除いた『就労者』の85.0%となっている。
- ・前回調査における「取得した(取得中である)」は、『就労者』の73.7%となっており、10ポイント以上増加している。

図表 3-23.1 【母親】 育児休業の取得状況<経年比較>



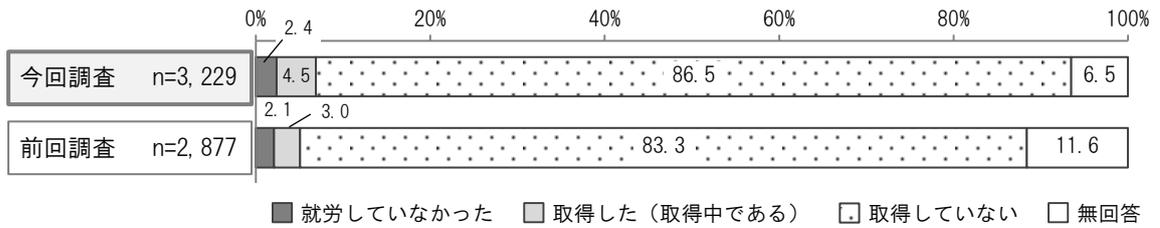
図表 3-23.2 【母親】『就労者』の育児休業の取得状況<経年比較>



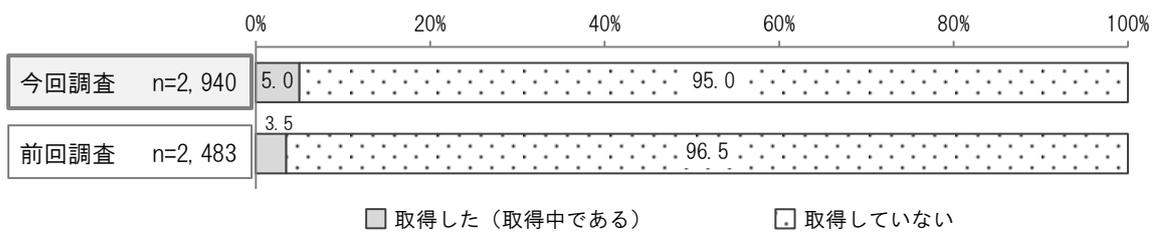
(2) お父さん

- 父親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が4.5%、「取得していない」が86.5%となっており、「取得した（取得中である）」は、「就労していなかった」と「無回答」を除いた『就労者』の5.0%となっている。
- 前回調査における「取得した（取得中である）」は、『就労者』の3.5%となっている。

図表 3-23.3 【父親】 育児休業の取得状況<経年比較>



図表 3-23.4 【父親】『就労者』の育児休業の取得状況<経年比較>



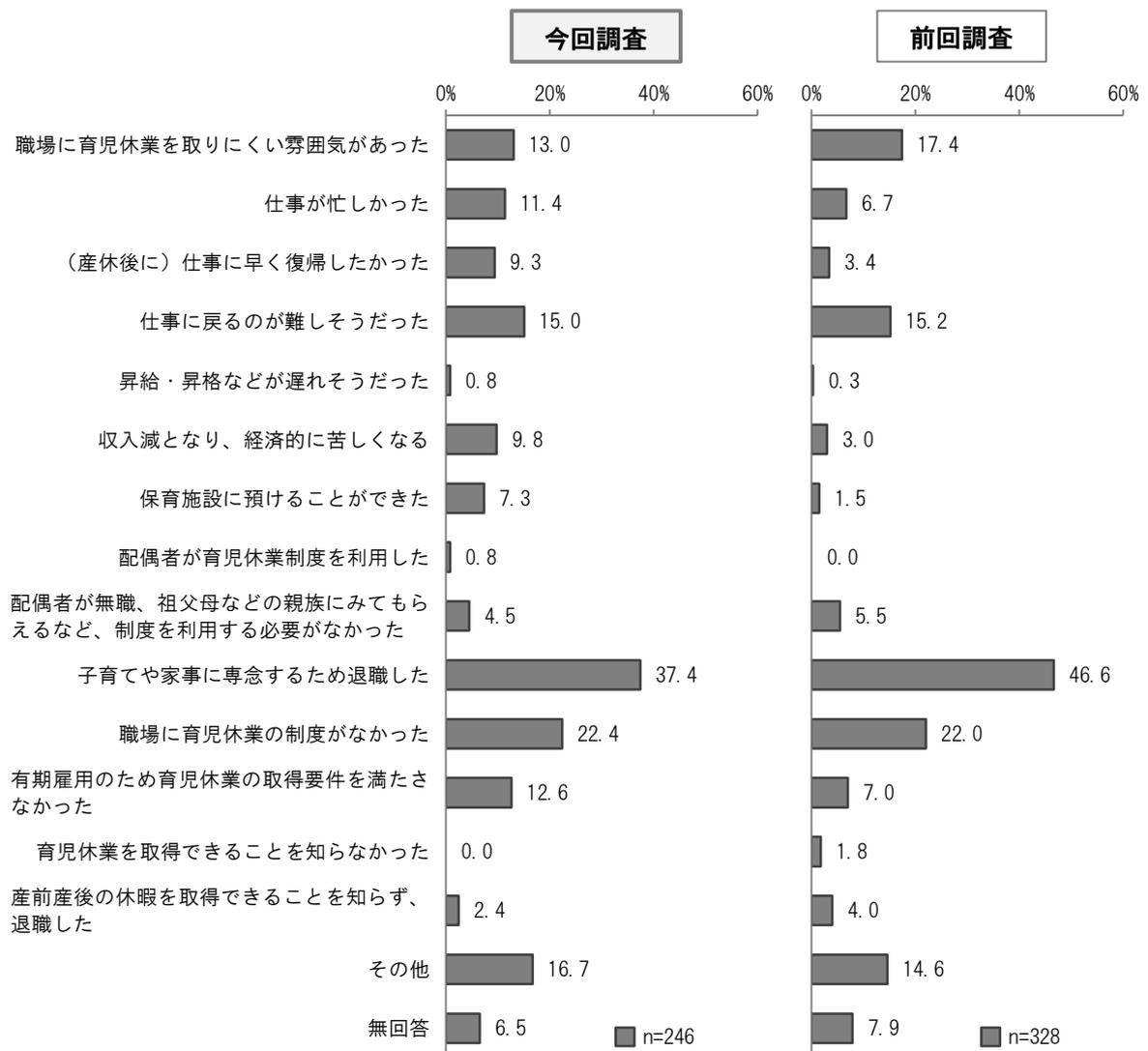
【問 23 で「取得していない」に○をつけた方にかがいます。】

問 23-1 あて名のお子さんについて、育児休業を取得していない理由をお答えください。（（１）・（２）それぞれあてはまる番号すべてに○）

(1) お母さん

- 母親の育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が 37.4%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が 22.4%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が 15.0%となっている。
- 前回調査と比べると、「子育てや家事に専念するため退職した」が 9.2 ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 4.4 ポイント減少している。
- 一方、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 6.8 ポイント、「(産休後に) 仕事に早く復帰したかった」が 5.9 ポイント、「保育施設に預けることができた」が 5.8 ポイント、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が 5.6 ポイント増加している。

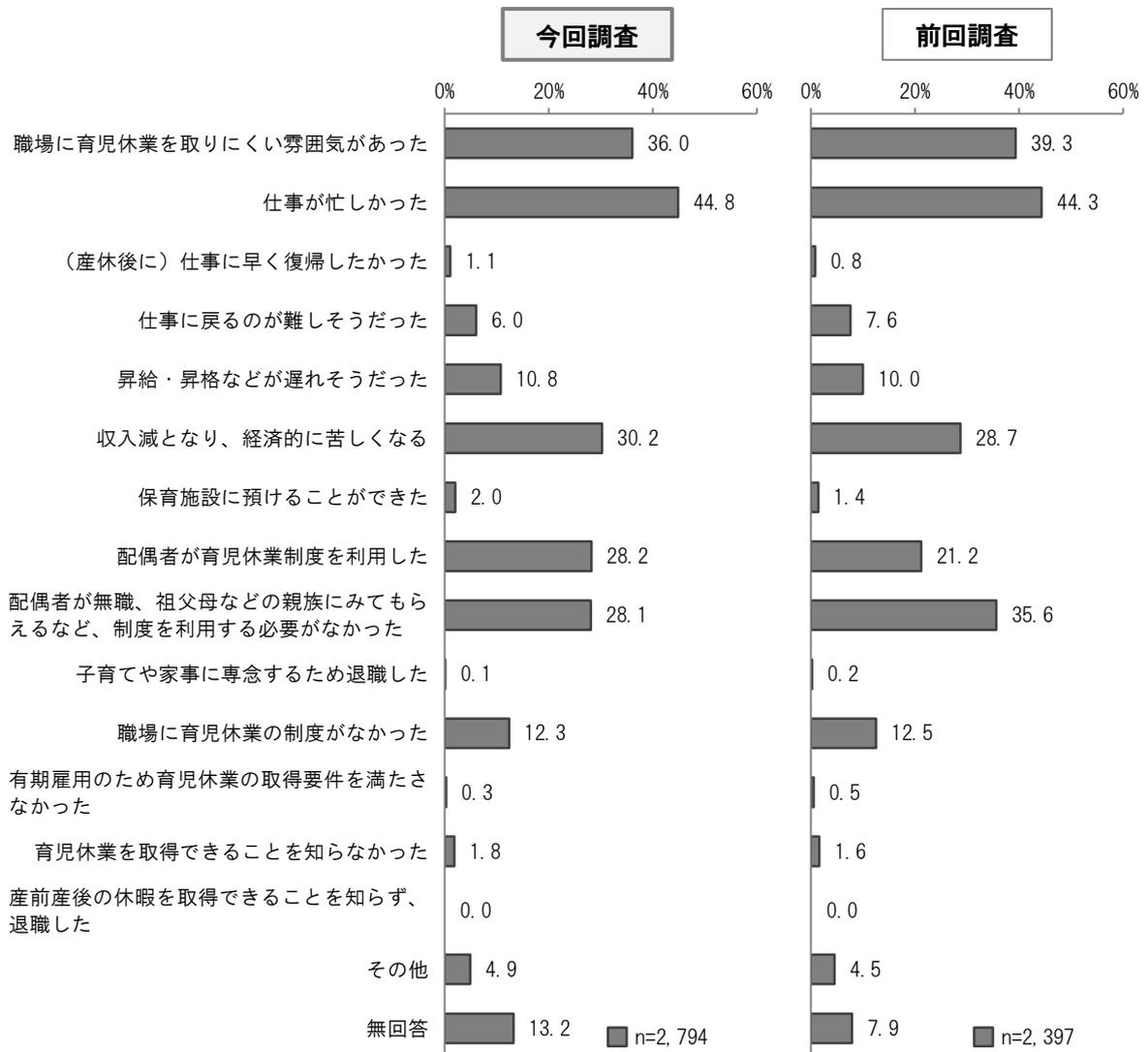
図表 3-23-1.1 【母親】 育児休業を取得していない理由（複数回答）＜経年比較＞



(2) お父さん

- 父親の育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が44.8%ともっとも高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が36.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が30.2%となっている。
- 前回調査と比べると、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が7.5ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が3.3ポイント減少している。
- 一方、「配偶者が育児休業制度を利用した」が7.0ポイント増加している。

図表 3-23-1.2 【父親】 育児休業を取得していない理由（複数回答）＜経年比較＞



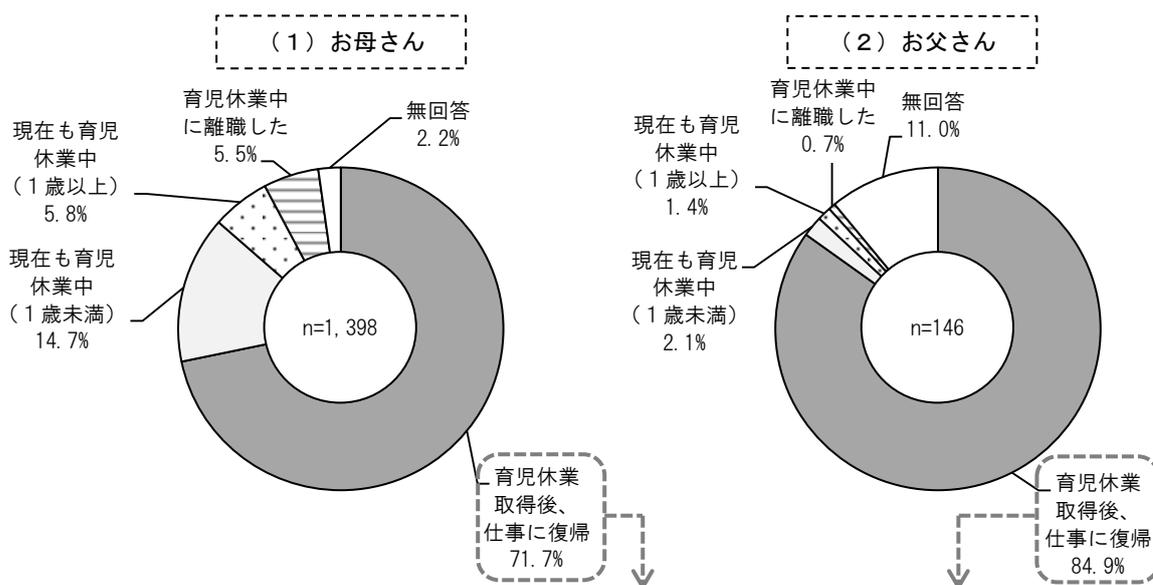
【問 23 で「取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。】

問 23-2 あて名のお子さんの育児休業取得後、仕事に復帰しましたか。

（（1）・（2）それぞれ1つに○）

- 母親の育児休業取得後の仕事復帰は、「育児休業取得後、仕事に復帰」が71.7%となっており、「育児休業中に離職した」が5.5%となっている。
- 父親の育児休業取得後の仕事復帰は、「育児休業取得後、仕事に復帰」が84.9%となっており、「育児休業中に離職した」は0.7%となっている。

図表 3-23-2 育児休業取得後の仕事復帰

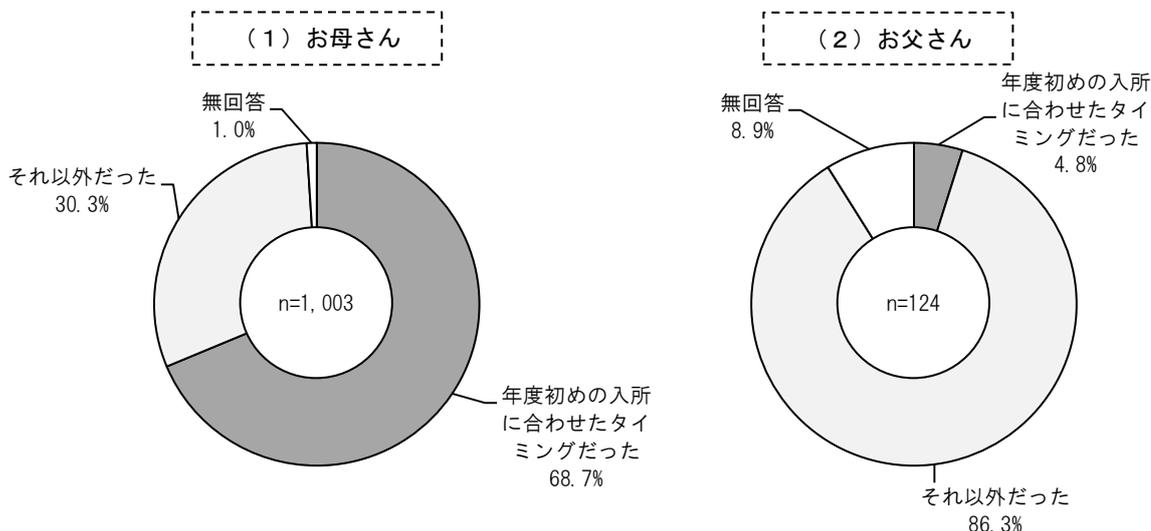


【問 23-2 で「育児休業取得後、仕事に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。】

問 23-3 あて名のお子さんの育児休業から仕事に復帰したのは、年度初めの保育施設への入所に合わせたタイミングでしたか。（（1）・（2）それぞれ1つに○）

- 母親の仕事復帰のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が68.7%、「それ以外だった」が30.3%となっている。
- 父親の仕事復帰のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が4.8%、「それ以外だった」が86.3%となっている。

図表 3-23-3 仕事復帰のタイミング



【問 23-2 で「育児休業取得後、仕事に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。】

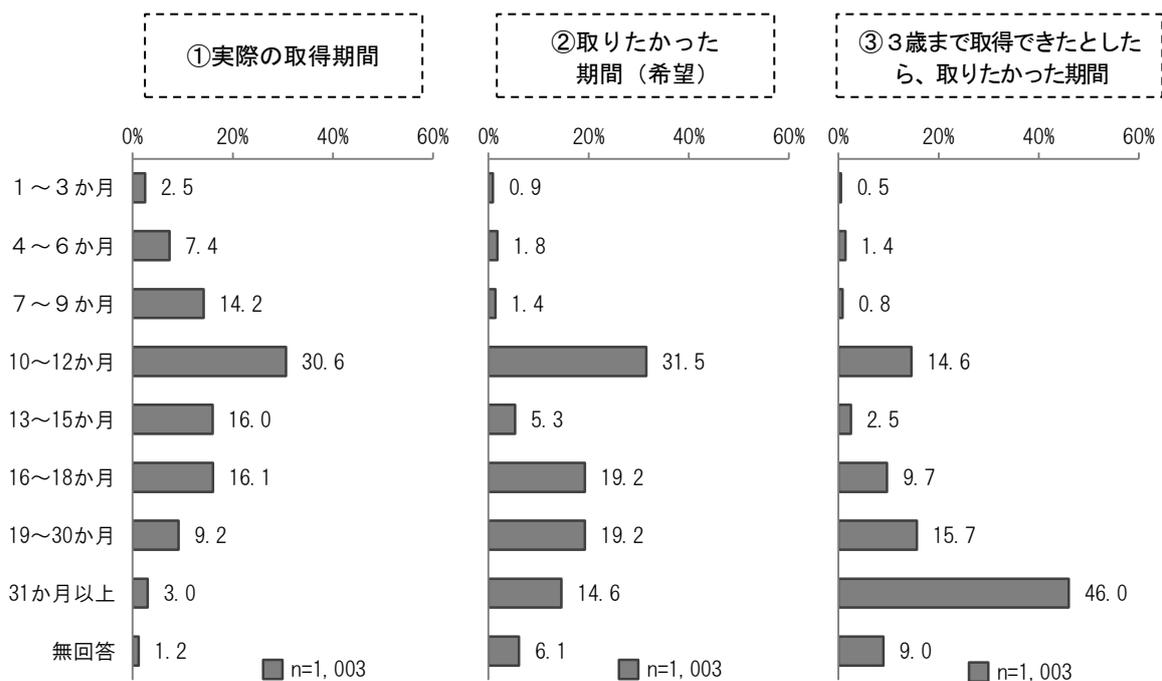
問 23-4 あて名のお子さんの育児休業について、①～③をお答えください。

- ①お子さんが何歳何ヶ月のときまで取得しましたか。
- ②希望としては、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
- ③勤務先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があったとしたら、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

(1) お母さん

- 母親の育児休業取得期間について、①実際の取得期間は「10～12 か月」が 30.6%ともっとも高く、次いで「16～18 か月」が 16.1%、「13～15 か月」が 16.0%となっている。
- ②取りたかった期間は、「10～12 か月」が 31.5%ともっとも高く、次いで「16～18 か月」「19～30 か月」がともに 19.2%となっている。
- ③3歳まで取得できたとしたら、取りたかった期間は、「31 か月以上」が 46.0%ともっとも高く、次いで「19～30 か月」が 15.7%、「10～12 か月」が 14.6%となっている。

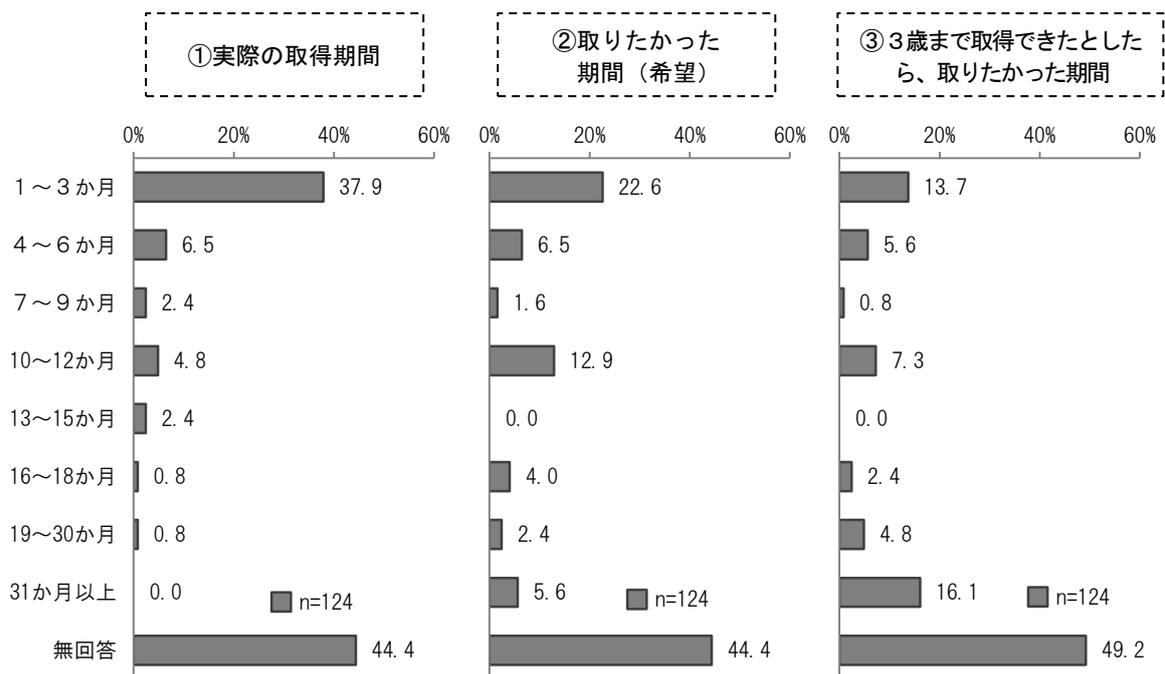
図表 3-23-4.1 【母親】 育児休業取得後、仕事に復帰した状況



(2) お父さん

- 父親の育児休業取得期間について、①実際の取得期間は「1～3か月」が 37.9%ともっとも高く、次いで「4～6か月」が 6.5%となっている。
- ②取りたかった期間は、「1～3か月」が 22.6%ともっとも高く、次いで「10～12か月」が 12.9%となっている。
- ③3歳まで取得できたとしたら、取りたかった期間は、「31か月以上」が 16.1%ともっとも高く、次いで「1～3か月」が 13.7%となっている。

図表 3-23-4.2 【父親】 育児休業取得後、仕事に復帰した状況



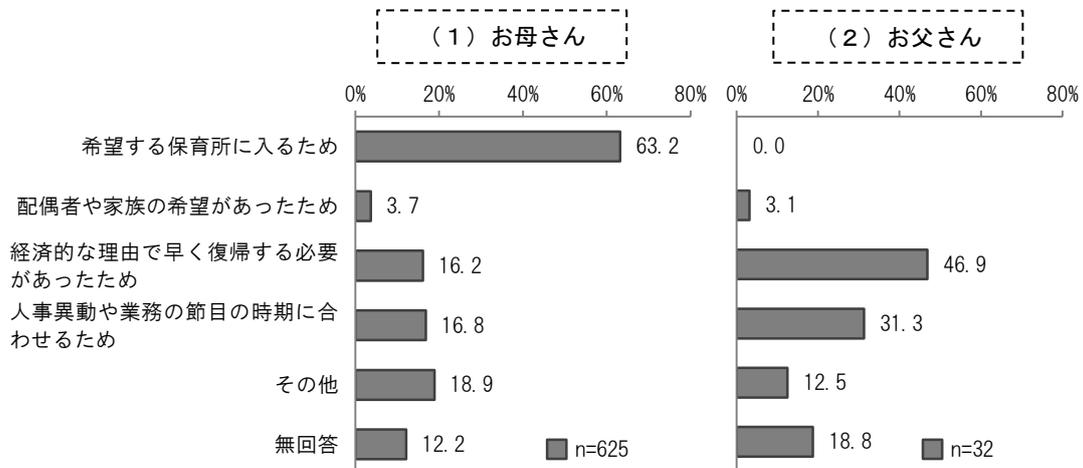
【問 23-4 で①の実際の取得期間と②の希望が異なる方にうかがいます。】

問 23-5 希望の時期に仕事に復帰しなかった（できなかった）理由についてうかがいます。（（1）・（2）それぞれあてはまる番号すべてに○）

①「希望」より早く復帰した方

- ・母親の希望より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が63.2%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が16.8%となっている。
- ・父親の希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が46.9%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が31.3%となっている。

図表 3-23-5.1 希望より早く復帰した理由（複数回答）

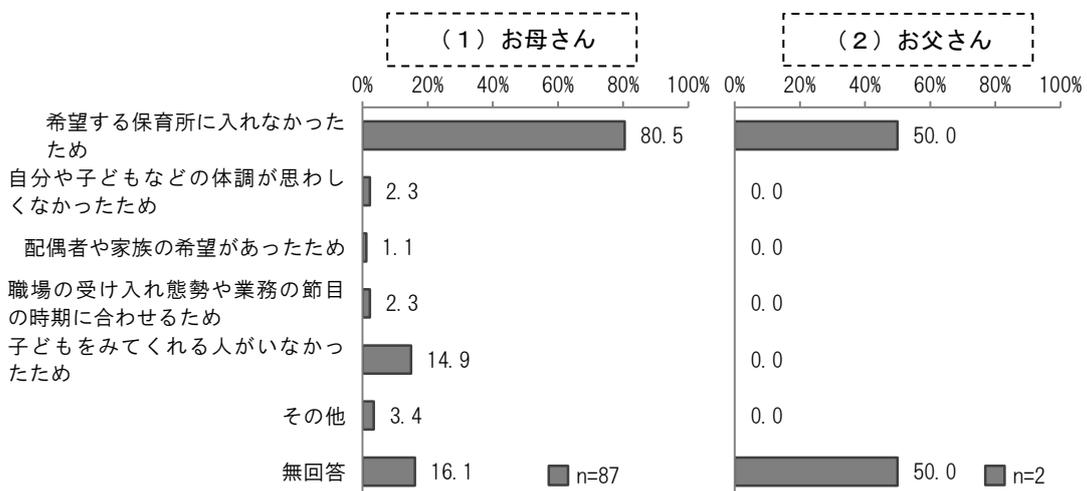


②「希望」より遅く復帰した方

- ・母親の希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が80.5%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が14.9%となっている。

※父親の理由はコメントを省略。

図表 3-23-5.2 希望より遅く復帰した理由（複数回答）



Ⅲ 就学前児童調査結果

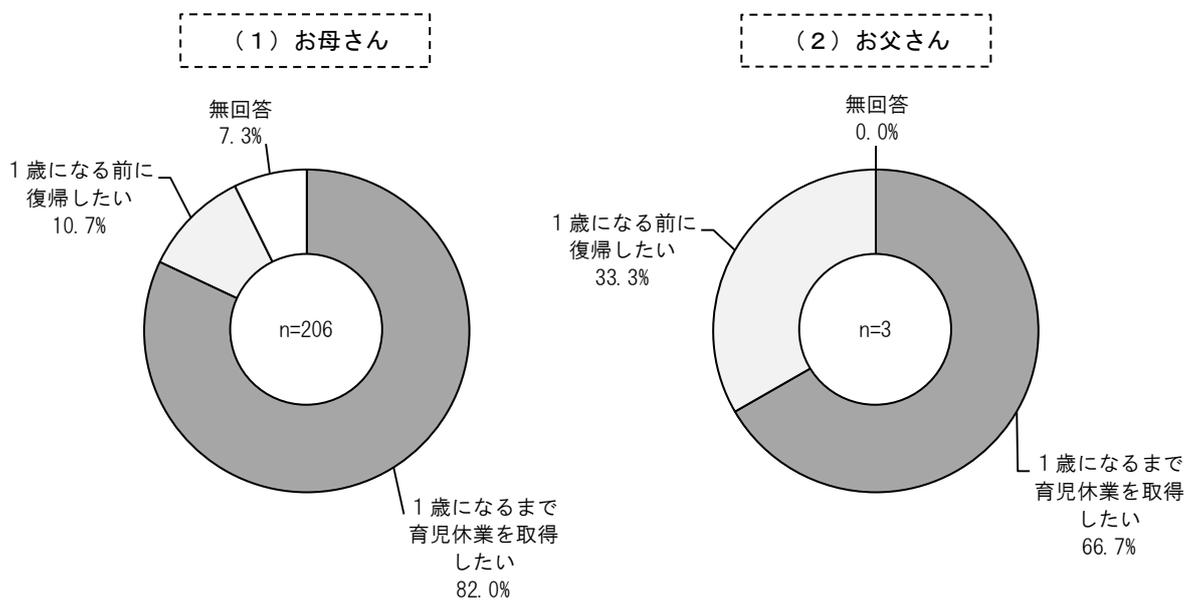
【問 23-2 で「現在も育児休業中である（あて名のお子さんが1歳未満）」に○をつけた方にうかがいます。】

問 23-6 もし、あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育施設があるとすれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。それとも、預けられても1歳になる前に仕事に復帰しますか。
（（1）・（2）それぞれ1つに○）

・1歳になったときに必ず利用できる保育施設があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、母親の希望は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が82.0%となっている。

※父親の理由はコメントを省略。

図表 3-23-6 1歳になるまでの育児休業取得希望



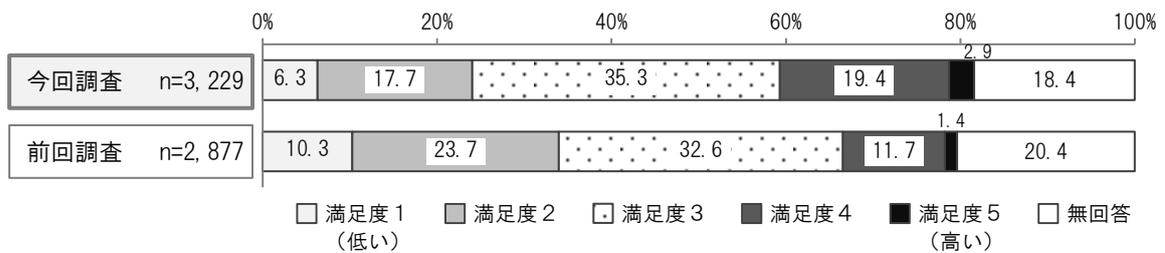
11. 子育て環境や支援について

問 24 船橋市における子育ての環境や支援への満足度についてうかがいます。
(1つに○)

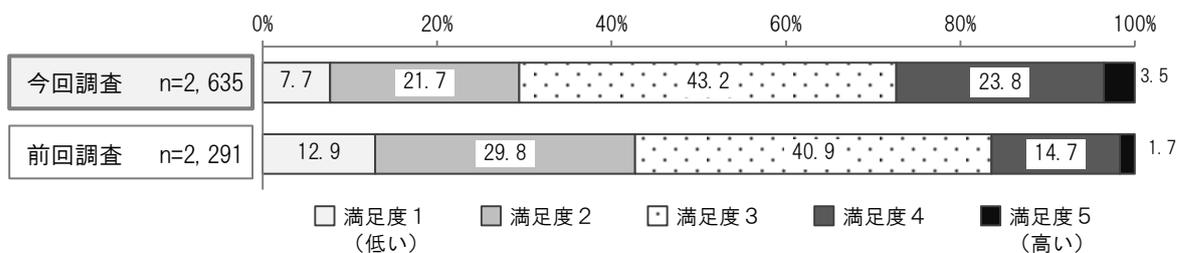


- 船橋市における子育て環境や支援への満足度は、「満足度3」が35.3%と最も高く、次いで「満足度4」が19.4%、「満足度2」が17.7%となっている。
- 「満足度4」「満足度5（高い）」を合わせると22.3%、「満足度1（低い）」「満足度2」を合わせると24.0%となっている。
- 無回答を除いた割合は、「満足度4」「満足度5（高い）」を合わせると27.3%であり、前回調査の16.4%より10.9ポイント増加している。

図表 3-24.1 子育て環境や支援への満足度＜経年比較＞



図表 3-24.2 子育て環境や支援への満足度＜経年比較・無回答除く＞



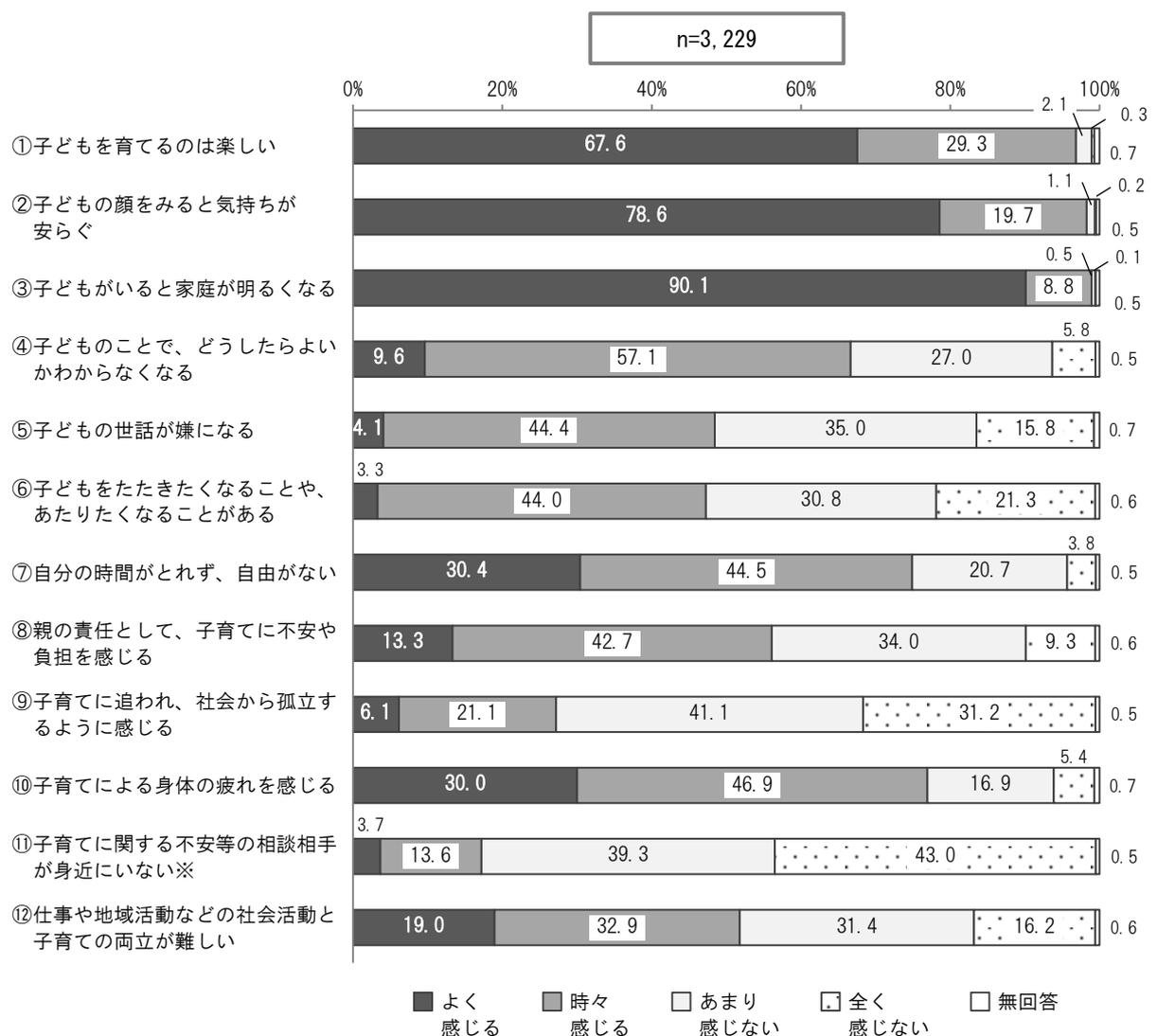
Ⅲ 就学前児童調査結果

問 25 現在、子育てをする上で次のようなことを感じることはありますか。

(①～⑫それぞれ1つに○)

- 子育てをする上で感じることにについて、「①子どもを育てるのは楽しい」「②子どもの顔をみると気持ちが安らぐ」「③子どもがいると家庭が明るくなる」は、「よく感じる」が60%以上であり、「時々感じる」を合わせると90%以上となっている。
- 一方、「⑦自分の時間がとれず、自由がない」「⑩子育てによる身体の疲れを感じる」は、ともに「よく感じる」が約30%となっており、「時々感じる」を合わせると70%を超えている。
- 「④子どものことで、どうしてもよいかわからなくなる」は、「時々感じる」が57.1%であり、「よく感じる」を合わせると66.7%となっている。

図表 3-25 子育てをする上で感じること



※⑪子育てに関する不安や悩みを気軽に相談できる相手が身近にいない

問 26 以下の(1)～(12)について、あなたはどのように感じていますか。あなたの考えにもっとも近いと思う番号を選んでください。
 ((1)～(12) それぞれ1つに〇)

・市の子ども・子育て支援施策については、「できている」「まあまあできている」を合わせた『できている』の割合は、「(4) 母子保健の充実」が67.1%ともっとも高く、次に「(5) 親子のふれあいの場づくり」が57.0%、「(2) 子どもの居場所づくり」が51.5%となっている。

・一方、「あまりできていない」「できていない」を合わせた『できていない』の割合は、「(1) 幼児期の学校教育・保育の充実」が25.6%ともっとも高く、次に「(12) 仕事と家庭の両立支援の推進」が22.0%となっている。

図表 3-26 市の子ども・子育て支援施策に感じること

